

- 一、國民教育ニ關スル施設ノ研究及調査
- 二、學術技藝ニ關スル講習講話及討議
- 三、學校教育ト家庭教育ノ聯絡ニ關スル研究及講話
- 四、社會風教ニ關スル講究講話及施設
- 五、會報及圖書ノ發行
- 六、其他教育上有益ナル事項

會員數及分布狀況

會員數 七〇〇名

分布狀況

郡内各小學校補習學校及中等學校等ノ教職員全部並ニ各町村ノ有志者

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 岡田 誠道

ロ、職員

主 事 大和 春三

資産 (種目別)

一、基金

定期預金 千三百五十五圓
有價證券 百五十圓
二、器具其他物品 三十五圓
三、印刷物 百六十圓

維持方法

會費補助金寄附金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 五、〇九三、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 三、五五八、一二

昭和三年度豫算額 歳入 四、四八五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

縣補助金 八百三十圓 昭和二年度

郡内町村 千五百三十九圓 同 二年度

縣補助 六百四十六圓 同 三年度

郡内町村 五百九十五圓 同 三年度

(昭和三年十二月迄ノ歳入高)

備考

郡内町村ヨリノ補助金額ハ年度内

千五百圓ノ豫定ナリ

名稱 天理教下關市聯合會

事務所々在地 下關市長崎町天理教下關分教會

創設年月日 明治四十二年十一月二十日

経理主體又ハ代表者 代表者 袋谷 米造

沿革概要

明治四十二年天理教下關市及附近ノ教師毎月一回會合シテ親睦ヲト信念ノ向上ヲ計リ相互提携シテ教勢ノ發展ニ資シ信徒及一般社會教化善導ニ努メ來リシカ大正四年六月天理教下關市教友會ト改稱シ、大正十二年十一月トシ會名ヲ天理教下關市聯合會ト改、日ニ至ルモノナリ本會ハ創立以來毎月一回下關市本教々師及信徒ノ會合ヲ勵行シ思想善導ノ講演ヲ行ヒ、國民精神作興詔書ノ聖旨普及徹底ニ關シテ例會ニ於テ毎月詔書捧讀聖旨布衍ノ講演

ヲナス外市内各所ニ於テ詔書講演等ヲ開催シ徹底實踐ニ努力セリ、尙思想善導活動寫眞會ヲ催シ同講演會ヲ開キ天災地變ノ救恤出征軍人慰問袋ノ發送出征軍人觀送迎建國祭參列等ニ卒先多數參加實行シ勤儉貯蓄ヲ獎勵シ是亦相當ノ數字ニ上ル成績ヲ示シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的、教祖立教ノ本義ヲ發揚シ社會教化事業ニ貢獻

スルヲ以テ目的トス

ロ、事業種類 講習會、講演會、活動寫眞、社會事業、會報發行、救恤其他必要ナル事業

會員數及分布狀況

會員數 百二十八名

本會加盟教會ハ下關市天理教各教會ニシテ左記ノ通りナリ

下關分教會	馬關支教會	關生支教會
硯海支教會	關門支教會	福關宣教會
高關宣教會	關陽宣教會	福榮宣教會
長關宣教會	紅石宣教會	堺關宣教會

早稲宣教所 豊長宣教所 赤間關宣教所
 關道宣教所 關真宣教所 西關宣教所
 生美宣教所 生武宣教所 關立宣教所
 肥之關宣教所 福紅宣教所

主ナル役職名並其氏名

會長 袋谷米造
 相談役 袋谷ミネ
 理事 安部源平 同 原田金三郎
 參事 市川一郎 同 松本謹一
 同 大高サク 同 大本新治
 同 板井若松 同 三谷多四郎

維持方法
會員ノ納付スル會費ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額 歳入 三〇〇、〇〇
 歳出 三四五、二二
 昭和二年度決算額 歳入 二四二、六四
 歳出 三五〇、〇〇
 昭和三年度豫算額 歳入 三五〇、〇〇
 歳出

口、事業

- 一、各村教化事業ノ統一ヲ圖ル
- 二、毎年各村巡回講演會ヲ開催ス
- 三、釋放者保護思想ノ宣傳ヲナス
- 四、教化ニ關スル施設ヲナス
- 五、其他教化ノ目的ヲ達スル事項

會員數及分布狀況

佐波郡北部各村各宗寺院住職二十八人
 本部佐波郡出雲村昌福寺
 支部
 出雲村支部 八坂村支部 柚野村支部
 嶋地村支部 和田村支部 串村支部

主ナル役職名並其氏名

團長 金澤文雄
 風教部長 林哲雄
 理事 市井原良祐 同 大西良潤

イ、役員

名稱 佐波郡北部佛教團風教部

事務所所在地 佐波郡出雲村昌福寺内
 創設年月日 明治四十三年三月
 經營主體又ハ代表者 代表者 金澤文雄
 沿革概要

明治四十三年三月佐波郡北部各宗聯合會ヲ設立シ毎年各村ニ於テ講演會ヲ開催シテ民力涵養國民精神ノ作興ノ教化ヲナシツ、アリシモ各村ノ統一ナク自然不振ノ状態ニ陥入り更ニ大正九年本團ニ風教部ヲ設ケテ各村ノ教化事業ノ統一ヲ圖ルコト、ス

目的及事業種類

1、目的 地方ノ風教ヲ振作シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ目的トス

理事 三浦順桑 同 櫻田延隆
 同 町田鐵舟 同 坂本古典

資産（種目別）

現在資産金九十七圓十九錢五厘
 維持方法 寄附金補助金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 一九〇、二四五
 歳出 一六一、〇六〇
 昭和二年度決算額 歳入 一六三、五六〇
 歳出
 獎勵金補助金下附ノ有無
 毎年各六ヶ村ヨリ二十圓宛合計金百二十圓ノ補助アリ

名稱 豊浦郡教育會

事務所所在地 豊浦郡長府町
 創設年月日 大正元年十一月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 内田重成
沿革概要

大正元年十一月總裁ニ長府毛利子爵副總裁ニ清末毛利子爵ヲ推戴教育振興ノ爲メ努力各般ノ施設ヲ爲シ其内圖書館ノ經營ヲナス圖書館ハ長府町ニ讓渡セシモ順年改善ヲ加ヘ今日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 本郡教育ノ改善上進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、教育ニ關スル諸般ノ研究調査
- 二、學術技藝ニ關スル講習講話及討論
- 三、社會風教ニ關スル講話施設
- 四、郡青年團及郡處女會ノ助成
- 五、會報及圖書ノ發行
- 六、其他教育上有益ナル事項

會員數及分布狀況

全郡世帯主ハ皆會員ナリ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

總裁子爵	毛利元雄
副總裁子爵	毛利元恒
會長	内田重成
幹事	北村卯一 同 南清左衛門
同	野上完一 同 椿 總一
同	繁富松一
常務幹事	松木彦次郎

ロ、職員

書記 高島波二

資産（種目別）

一、公債 三千一百圓
一、債券 一千五百圓
一、現金 一千圓
合計 五千六百圓

維持方法

町村ヘ分賦金及基本財産利子並ニ縣費補助ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	四、九三六、〇〇
	歳出	四、五四四、六一
昭和二年度決算額	歳入	四、二三六、一九
	歳出	四、八三六、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	四、八三六、〇〇
	歳出	四、八三六、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無		
縣費ヨリノ補助金	昭和二年度	
同	上	同 三年度

名稱 都濃郡佛教團

事務所々在地 都濃郡下松町鷲頭寺内

創設年月日 大正二年十一月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 厚 東 旭 應

沿革概要

大正二年十一月五日都濃郡南部各宗寺院協和會ヲ設立シ
慈濟部ヲ設ケ免囚保護事業ヲ經營、大正四年四月八日本

部各宗寺院ト合併シテ都濃郡佛教團ト改稱シテ免囚保護事業及ヒ各種ノ教化事業社會事業ヲ經營シテ現今ニ至レ

目的及事業種類

イ、目的 本團ハ都濃郡佛教各宗僧侶信徒和衷共同シテ

佛教ノ根本義ニ基キ濟世利民ノ本分ヲ盡シ且

ツ各宗派共通事項ヲ審議處辨スルヲ以テ目的

トス

ロ、事業

- 一、免囚保護
- 二、人事相談
- 三、講演會
- 四、慶弔法要
- 五、罹災救助
- 六、其他社會事業調査研究

會員數及分布狀況

團員數ハ都濃郡内一百二十二ヶ寺ノ寺院住職ナリ
主ナル役職名並其氏名 (團長目中缺員)

幹事 長 厚 東 旭 應
保護部主任 有 馬 堅 隆
人事部主任 河 村 契 眞
會計部主任 田 中 一 應
講演部主任 末 武 立 行
庶務部主任 山 城 徐 行
同 内 山 龍 順

資産 (種目別)

一、基 本 金 五千一百一圓七十八錢
一、器具其他物品 四十五圓
一、印刷物 四圓五十錢
合計 五千一百五十一圓二十七錢

維持方法

基本金利息、寄附金、補助金、助成金、獎勵金、團員離出金、
其他ノ收入ニ依ル

名稱 都濃郡神社會

事務所所在地 都濃郡徳山町役場

創設年月日 大正三年三月六日

經營主體又ハ代表者 代表者 本 城 嘉 守

沿革概要

大正三年一月時ノ郡長田中省吾郡内神職ノ參集ヲ求メ神
社ノ隆昌ト敬神崇祖ノ思想普及徹底ヲ圖ルヘキ方法ヲ協
議シタル結果其ノ具體的方法トテ都濃郡内神職ヲシテ都
濃郡神職會ヲ組織スルコト、シ同三月六日之ヲ設立シタ
リ爾來歴代ノ郡長ヲ會長トシ専ラ斯道獎勵ニ努メタリシ
カ大正十五年六月郡制廢止ト共ニ其ノ會則及名稱ヲ都濃
郡神社會ト改稱シ郡内一圓神社氏子總代崇敬者總代ヲ會
員ニ加ヘ現ニ會員三百五十九名ヲ有シ今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 神社ノ隆昌ヲ圖リ地方民風ノ作興改善ヲスル
ヲ以テ目的トス

昭和二年度豫算額 歲入 七一七、三九

昭和二年度決算額 歲入 八五〇、七三

昭和三年度豫算額 歲入 五二一、三七

昭和三年度決算額 歲入 八二五、六一

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

金一百圓 宮内省下賜金 昭和二年二月十一日

金三十圓 司法省獎勵金 同二年三年同額下附

金四百二十五圓縣町村補助金 同二年三年同額下附

備考

宮内省下賜金大正十二年三月十一日ヨリ昭和二年二月十一日迄

累計金九百圓下賜之レハ蓄積シ有之司法省獎勵金大正九年ヨリ

昭和二年迄二百三十七圓之レハ年々ノ經費ニ使用セリ

補助金 大正五年ヨリ十年迄年々二百圓宛

同十一年ヨリ昭和三年迄年々四百二十五圓宛

累計四千一百七十五圓之レハ年々ノ經費ニ使用セリ

ロ、事業

一、神社中心社會教化ノ施設ヲシ又之ヲ勸奨

二、神社關係事項ニ就キ調査研究

三、其ノ他民風作興思想善導上適切ナル事業ヲ爲ス

會員數及分布狀況

會員三百五十九名

都濃郡内一圓

(神職及郡内神社氏子崇敬者總代トス)

主ナル役職員並其氏名

會 長 本 城 嘉 守

副會長 黑 神 吾 太 郎

幹 事 内 田 虎 一

同 山 縣 善 七

資産 (種目別)

基 金 現金七百十三圓三十二錢

(銀行預金)

維持方法

神社分賦金町村補助金其他ノ収入ヲ以テ維持

昭和二年度豫算額	歳入	一、一九一、〇〇〇
	歳出	一、二八七、〇二二
昭和二年度決算額	歳入	九九五、八八〇
	歳出	二、一六六、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	
	歳出	

名稱 熊毛郡神職會

事務所々在 熊毛郡田布施町役場内

創設年月日 大正三年十一月二十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 宮司 恒雄

沿革概要

本會ハ三大詔勅ノ主題ニ據リ神社ノ尊嚴斯道ノ發達ヲ計リ國民道德ヲ鼓吹シ地方自治民育ノ改善ニ努力シテ神職ノ品位ヲ向上スルヲ以テ目的トス

目的及事業種類

イ、目的

一、奉務規則ヲ勵行シ其筋ノ諮問ニ應ヘ且隨時視察

員ヲ各神社ニ巡回セシム

二、地方改良ニ資スル爲メ毎年二回以上郡内町村ニ

於テ講演會ヲ開催スルコト

三、講師ノ養成ヲナスコト

四、善行者功勞者ヲ表彰スルコト

ロ、事業

郡内各町村巡回講演會、郡内戦死者招魂祭、

郡内出身軍隊慰問、郡内戦病死者遺族代表

(毎年四名)靖國神社參拜、氏子總代会

會員數及分布狀況

會員數 三十四名

顧問 三名

會員ハ郡内神職ヲ以テ組織ス

顧問ハ熊毛郡教育會長、熊毛郡内町村長、同副集會長

主ナル役職名並其氏名

會長 宮司 恒雄 (奉任待遇神職)

副會長 西村 一民

理事 林 正樹

同 石原 璋

常務幹事 林 義雄

資産 (種目別)

基本金五千圓造成中

既ニ金三千圓ヲ完成ス

維持方法

會員分擔金五百十三圓

郡内二十六ヶ町村補助金三百二十五圓

昭和二年度豫算額 歳入 八一八、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 八一八、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 八三八、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

熊毛郡二十六ヶ町村ヨリ補助セラル

此金三百二十五圓

名稱 山口縣大島郡佛教團

事務所々在 大島郡久賀町久屋寺内

創設年月日 大正六年十一月二十九日

經營主體又ハ代表者 代表者 川西 惠信

沿革概要

大正六年十一月一日郡内有志寺院住職會合シ佛陀ノ本旨

ニ基キ時代精神ヲ改善シ尊皇護國ノ實ヲ舉ケンコトヲ協

議シタル結果同年十一月二十九日コレヲ設立セリ

目的及事業種類

イ、目的 佛陀ノ本旨ニ基キ時代精神ヲ改善シ尊皇護國

ノ實ヲ舉クルヲ目的トス

ロ、事業

一、教育ニ關スル勅語聖旨ヲ奉體シ國民道德ノ振興

ヲ謀ルコト

一、郡内各種團體ト提携シ郡民ノ指導啓發ヲ励ムル
コト

三、内外須要ノ事項ヲ調査研究スルコト

會員數及分布狀況

郡内各宗寺院住職ヲ團員トス
其ノ數五十三名

主ナル役職名並其氏名

團長 長川 西 惠 信
常務幹事 金子 默 丈
幹事 白鳥 天 然
同 松尾 眞 善

資産 (種目別)

現在 現金百三十七圓八十八錢

維持方法

團員ノ團費寄附金及ソノ他ノ收入

昭和二年度決算額 歳入 五三、〇〇
歳出 五三、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 五三、〇〇
歳出 五三、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 五三、〇〇
歳出 五三、〇〇

名 稱 山口縣大津郡各宗聯合佛教團

事務所所在地 大津郡日置村光安寺内

創設年月日 大正七年三月三月創設

經營主體又ハ代表者 代表者 鴛 山 卓 爾

沿革概要

歐洲大戦カ精神、物質、兩界ニ深大ノ影響ヲ齎ラスヘキニ就キ戰後國運發展ヲ期スヘク國力充實思想統一ハ高唱セラレ社會現狀ハ道義日衰ヘ利己不信ニ趨リ堅實勤儉ノ風月ニ損レテ怠慢奢侈ニ流レントス人心動搖不安ノ状態アルヲ鑑ミ茲ニ各宗提携一團ヲ組織シ佛祖矜哀ノ教訓ニ則リ聊カ國家民人ノ爲メニ竭スアランコトヲ期シテ大正七年二月十日創立會ヲ開キ滿場一致可決設立セルモノナ

リ

目的及事業種類

イ、目的 本團ハ佛教ノ本旨ニ則リ和衷協同以テ濟世利民ヲ目的トス

ロ、事業

- 一、教化事業ノ聯合提携ヲ圖ルコト
- 二、教化事業ニ關スル調査研究ヲナスコト
- 三、毎年一回巡回講演ヲナスコト
- 四、教化事業ノ獎勵助成ヲナスコト
- 五、教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト
- 六、教化事業振興ニ關スル施設ヲ講スルコト
- 七、其他前條ノ目的達成上必要ナリト認めラル、事項

會員數及分布狀況

本團加盟團員ハ目下六十四名トス
而シテ大津郡九ヶ町村ニ支部ヲ置ク即チ左ノ如シ

- 一、津具村
- 二、宇津賀村
- 三、菱海村

- 四、日置村
- 五、深川町
- 六、俵山村
- 七、仙崎町
- 八、通 村
- 九、三隅村

主ナル役職名並其氏名

團長	鴛 山 卓 爾
支部長	一 柳 盧 舟 同 上 田 迦 城
同	上 山 城 守 同 林 吐 雲
同	藤 津 哲 秀 同 上 原 勝 乘
同	末 澤 復 俊 同 森 龍 城
同	齋 藤 宗 拙

資産 (種目別)

基金 三〇、四〇〇

維持方法

寄附金、團員離出金、其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 六七、九〇
歳出 六七、九〇

昭和三年度決算額 歳入 八〇、〇〇
歳出 八〇、〇〇

名稱 下關佛教同盟濟世會

事務所所在地 下關市西之端町七五教法寺内

創設年月日 大正八年八月

經營主體又ハ代表者 代表者 多田道然

沿革概要

下關ニハ古キ歴史ヲ有スル各宗同盟會ナルモノ有各寺住職相集社會教養ニ或ハ宗教研究ニ聊カ社會ニ貢獻セントスル所多シカ時恰モ歐洲大戰後所謂危險思想ハ全世界彌蔓シ我民心爲ニ甚シク惡化動搖シ國家轉タ寒心ニ堪エサルノ慨アリ、是カ政治ノ策ヲ講スル第一歩トシテ大正七年十一月免囚保護ノ目的ヲ以テ下關佛教同盟會保護部ヲ設置シ遂ニハ大正八年八月下關佛教同盟濟世會ヲ創設シ社會事業中ノ一部トシテ釋放者直接收容又ハ間接保護ヲナシ同年十月十四日人事相談部ヲ實設シ大正十二年四月ヨリ託兒所ヲ設置引續キ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、目的 本會ハ時代思潮ニ鑑ミ左記各號ノ社會事業ヲ經營スルヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、精神講話
- 二、人事相談部
- 三、幼兒保育部
- 四、釋放者保護部
- 五、其ノ他社會問題調節上必要ト認メタル事業

會員數及分布狀況

名譽會員 一 特別會員 一五
正會員 三九 賛成會員 六六

下美市及彦島町在住者

主ナル役職名並其氏名

會長 多田道然
理事長 藤井赫然
理事會計 中尾法眼

理事保護部長官 川春雄 同保育部長旭 眞乘
同 人事部長柳井惠篤 同講演部長清成智禰
同 會計監督辻弘道 同 仁來邊春耕
保育部委員 船木實英 講演部委員吉國尉哉
理事 補陀活龍 同 山本龍成
同 西島文明 同 岸信道

資産 (種目別)

一、基本金 五千二百七十七圓六十八錢
一、建物 二千七百五十八圓

(釋放者保護所建物見積額)

合計 八千三十五圓六十八錢

維持方法

會員會費、托鉢收入金、寄附金補助金獎勵金及其他ノ收入

昭和二年度豫算額 歳入 五、五〇六、七三
歳出 四、六八九、七八
昭和二年度決算額 歳入 三、八〇二、二二
歳出 三、八〇七、五六
昭和三年度豫算額 歳入 三、八〇七、五六
歳出 三、八〇七、五六
獎勵金補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

名稱 宇部市聯合報徳會

事務所所在地 宇部市役所内

創設年月日 大正八年九月

經營主體又ハ代表者 代表者 宇部市長

沿革概要

大正八年九月教育勅語ノ聖旨ヲ遵奉シ智恩報徳ノ大道ニ卒由シ報本反始ノ觀念ヲ養成スル目的ヲ以テ市内各區毎ニ報徳會ヲ組織セシメ八年中ニハ六十ヶ所ノ報徳會組織ナリ翌年ニハ市内殆ト全部ニ亙リ百以上ニ達シ爾來逐次

二百圓 昭和四年二月十一日宮内省御下賜金
二百圓 同上 山口縣
六百圓 同上 下關市
六十五圓 同上 司法省獎勵金
六十五圓 同上 輔成會助成金

増加シ炭坑會社等ヲ通シ百八九十ヲ算ス、之レヲ總括統御スルモノヲ宇部市聯合報德會ト稱ス

目的及事業種類

目的

報德會ヲシテ市民徳性ノ涵養並ニ成人教育常識修養自治ノ向上ヲ圖ルヲ以テ目的トシ市内各學校教員、市吏員、警察官、神官、僧侶、其他知識階級ヲ網羅シ、百名以上ノ常設講師ヲ任命シ各報德會ニ配當シ教化指導ニ努力シ民心ノ精神作興及自治ノ向上ヲ圖ル

會員數及分布狀況

會員數 三萬八千人

報德會數市内各區全部並ニ炭坑會社等ヲ通ジ百九十二達ス

主ナル役職名並其氏名

代表者 宇部市長

外ニ評議員十四名アリ

維持方法

在住スル者ヲ以ツテ會員トス

會員數二百名内外ノ所漸次増募ノ結果現在ニテハ千二百名ノ會員ヲ有スルニ至ル從ツテ事業ニ於テモ今ヤ各種團體ノ後援ハ勿論進ンテ種々ナル教化事業ヲ行ヒ、徳山町ノ進展ニ多大ノ貢獻ヲナシツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 徳山町教育ノ進展ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、社會教化ニ關スル後援
- 二、青年團處女會ノ後援
- 三、青年訓練所學校教育ノ後援
- 四、報德會ノ後援
- 五、民衆體育ニ關スル施設
- 六、善行者ノ表彰
- 七、其ノ他教育上必要ト認ムル事業

會員數及分布狀況

一ヶ年間八百圓ノ市ノ補助ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	八〇〇、〇〇
	歳出	八〇〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	七〇七、九〇
	歳出	七〇七、九〇
昭和三年度豫算額	歳入	八〇〇、〇〇
	歳出	八〇〇、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無		
八百圓	市ノ補助金	昭和三年度

名稱 徳山町教育會

事務所々在地 徳山町小學校内

創設年月日 大正九年四月十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 竹村強祐

沿革概要

大正九年四月十二日私立都濃郡教育會徳山町支部ヲ徳山町教育會ト改稱ス、但シ都濃郡教育會員ニシテ徳山町ニ

會員數 一二〇〇名町内各部落ニ亙ル

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 竹村強祐

副會長 弘兼幸止

ロ、職員

幹事 藤村金道

維持方法

會員ヨリ徴收スル會費(一人年五十錢)

徳山町ヨリノ補助金、寄附金ニ依リ維持

昭和二年度豫算額	歳入	七八五、〇〇
	歳出	七八五、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	九七〇、一一
	歳出	五〇九、九二
昭和三年度豫算額	歳入	一一〇、〇〇
	歳出	一一〇、〇〇

名稱 富田町教育會

事務所所在地 富田町二千六百九十二番地

創設年月日 大正九年十月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 道源 權治

沿革概要

大正九年十月三十日教育勅語御下賜五十年ヲ記念トシテ之ヲ設置セリ、爾來會員逐次増加シ大正十三年七月規程ヲ改正シ本町全戸主ヲ以テ會員トシ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 富田町教育ノ普及發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
ロ、事業 總會支會例會教化事業

會員數及分布狀況

千四百名

主ナル役員名並其氏名

會長 長道 源 權治
副會長 山中 幸一
幹事 貞弘 一雄

幹事 大島 榮藏

維持方法

寄附金、補助金會費等ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	一三五、〇〇
	歳出	一三四、二九
昭和二年度決算額	歳入	一三四、二九
	歳出	一三〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一三〇、〇〇
	歳出	一三〇、〇〇

名稱 山口縣玖珂郡佛教團

事務所所在地 岩國町西福寺内

創設年月日 大正十二年六月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 山本 成道

沿革概要

大正十二年四月佛教ノ本義ニ依リ國民ノ時代思想ヲ指導誘掖シ濟世利民ノ實ヲアクルタメ、郡内各宗有志住職ノ

參集ヲ求メ其ノ方法ヲ協議シ玖珂郡佛教團ヲ組織スルコトヲ決定シ同年六月十五日コレヲ設立シ現今ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ本義ニ依リ國民ノ時代思想ヲ指導誘掖シ濟世利民ノ實ヲアクルコト

ロ、事業

- 一、巡回講演
- 二、感化救済
- 三、地方改良
- 四、各種公共團體ト提携シテ教化運動

會員數及分布狀況

會員 二百二十九名

分布

各町村ニ支部ヲ置キ本部ニ於テ之ヲ統一ス

主ナル役員名並其氏名

會長 山本 成道
副會長 三谷 勝圓

幹事	三谷 忍暉	同	弘中 義啓
同	上 司 關 月	同	井上 將興
同	廣 兼 護 城	同	秋本 得成
同	岡 崎 純 皎		

資産 (種目別)

基本金 三百圓

維持方法

團費及寄附金ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	二二二、五〇
	歳出	二二二、五〇
昭和二年度決算額	歳入	二三五、五五
	歳出	二三五、五五
昭和三年度豫算額	歳入	二四二、五〇
	歳出	二四二、五〇

名稱 天理教都濃郡聯合會

事務所所在地 福川町天理教福川支教會内

創設年月日 大正十二年十一月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 古川 新一

沿革概要

大正十二年十一月二十六日別記ノ目的ニヨリ郡内天理教々友會ヲ組織シ後大正十四年十一月二十六日天理教郡聯合會ト改稱シ大正十五年八月山口縣社會課ニ設立セラレタル山口縣教化事業聯合會ニ加盟シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 教祖立教ノ本義ヲ發揚シ協力一致以テ社會教化事業ニ貢獻スルヲ目的トス

ロ、事業

- 一、教化ニ關スル講演會
- 二、教化ニ關スル活動寫真ノ公開
- 三、社會的勞力奉仕
- 四、其他前條ノ目的ヲ達成上必要ト認メラル、事項

會員數及分布狀況

イ、會員數 六十三名

ロ、分布狀況

郡内各町村所在ノ二十一ヶ所ノ教會長及重役ヲ以テ會員トス

主ナル役職名並其氏名

會長 古川 新一
 理事 宮本榮太郎
 同 稻倉惣吉
 同 藤本梅之進

維持方法

會員ノ會費及寄附金ニヨル其他必要ニ應シ會員ヨリ支出

昭和二年度豫算額	歳入	一五三、〇〇
	歳出	〇
昭和二年度決算額	歳入	一四八、五〇
	歳出	〇
昭和三年度豫算額	歳入	一八五、〇〇
	歳出	〇

名稱 長府町報德會聯合協議會

事務所々在地 豊浦郡長府町役場内

創設年月日 大正十三年二月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 原 田 政 佳

沿革概要

大正四年以來京都府伏見桃山報德會ノ主旨ニ依リ知恩報德ノ大義ニ基キ教育ニ關スル御勅語並ニ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ戴シ其實行ヲ期スル目的ノ許ニ本町内ノ各部落ニ報德會ヲ設ケ漸次普及其數三十七ニ及ヒ尙大正十三年二月二十五日本聯合協議會ヲ設ケ毎年二回其部落報德會幹部ノ集會ヲ催シ斯會ノ進展ヲ圖リツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 京都府伏見桃山報德會ノ主旨ニ依リ知恩報德ノ大義ニ基キ教育ニ關スル御勅語並ニ國民精神作興ニ關スル御詔書ノ御趣旨ヲ奉戴シ其實

行ヲ期シ地方ノ風教自治ニ資スルコト

ロ、事業各部落ニ報德會ヲ設ケ毎月一回若クハ隔月ニ報德會ヲ開催ス

會員數及分布狀況

會員數 三千六百人

長府町三十七ヶ所ニ報德會アリ各會毎ニ目的ノ許ニ毎月一回或ハ隔月ニ開設ス

主ナル役職名並其氏名

幹 事 原 田 政 佳
 同 椿 總 一
 同 原 田 武 一
 評議員 福原榮太郎
 同 山賀成亮
 同 白石直介

維持方法

本會ノ經費ハ有志ノ寄附金及長府町ヨリノ補助金ヲ以テ支辨ス

昭和二年決算額 歳入 二一、〇〇
 歳出 二一、〇〇
 昭和三年決算額 歳入 三〇、〇〇
 歳出 三〇、〇〇
 奨励金並補助金下附ノ有無
 約五十圓 長府町ヨリ補助金

名稱 山口縣吉敷郡南部神職支會

事務所所在地 吉敷郡鑄錢司村
 創設年月日 大正十三年三月十五日
 經營主體又ハ代表者 代表者 松村 豊範

沿革概要
 大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書渙發セラルル社會局長官ハ郡下教化團體代表者ノ參集ヲ求メ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘキ方途ヲ協議シタル結果其ノ具體的方法トシテ教化團體聯合會ヲ組織スルコトニ決シ翌年三

月十五日之ヲ設立セリ

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、教化事業ノ聯合提携ヲ計ルコト
- 二、教化事業ニ關シ調査研究ヲナスコト
- 三、其ノ他前條ノ目的達成ニ必要ナリト認メラル、

事項

會員數及分布狀況

主ナル會員十八名

主ナル役職名並其氏名

- 支會長 松村 豊範
- 幹事 藤家 政一
- 同 濱藤 幹彦

資産(種目別)

基本金 一百五十圓

維持方法

寄附金
 昭和二年決算額 歳入 四〇、〇〇
 歳出 四〇、〇〇
 昭和二年決算額 歳入 五〇、〇〇
 歳出 五〇、〇〇
 昭和三年決算額 歳入 五〇、〇〇
 歳出 五〇、〇〇

名稱 天理教山口縣聯合會

事務所所在地 吉敷郡山口町大字下字野令千四百二十二番
 地天理教山陽分教會内

創設年月日 大正十四年六月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 山田 清次郎

沿革概要

明治四十年頃本教ノ統一ヲ計ル爲メ組合ヲ組織シ教義ノ宣布ト共ニ社會教化ニ努メツ、アリシカ教勢ノ發展ト時

運ノ進展ニ伴ヒ實ニ郡市ニ於ケル統一機關ノ必要ヲ認メ大正十四年六月郡市又ハ二三郡市併合ノ聯合會ヲ組織シ實ニ之レヲ統一スル爲メ縣聯合會ヲ組織セリ

目的及事業種類

目的 教義ノ宣布、社會教化

會員數及分布狀況

會員組織ヲ改正シ目下新會員募集中ナルカ其豫定數分布狀況左ノ如シ

郡市別	特別	通常
下關市	三八	一一四
宇部市	七	二一
厚狹美郡	二〇	六〇
吉敷郡	一五	四五
佐波郡	一一	三六
都濃郡	二二	六六
玖珂熊毛	二八	八四
阿武大津	二六	七八
大島	七	二一

會員中特別ハ各教會擔任教師及特志者通常ハ一般教師及信徒ト

主ナル役職名並其氏名

- 會長 山田清治郎
- 幹事 山瀬好朗
- 同 弘長幾太郎
- 同 北出善太郎
- 同 古川新一
- 同 袋谷幾造

維持方法

會員ノ會費及寄附金

昭和二年度豫算額	歳入	三九五、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	三八五、二七
	歳出	
昭和三年度豫算額	歳入	三二五、〇〇
	歳出	

四、其他前條ノ目的達成上必要ト認メラルル事項

會員數及分布狀況

全村一圓

主ナル役職名並其氏名

- 會長 磯部輪一
- 副會長 武居謙助
- 主事 古木猛士

維持方法

寄附金、補助金

昭和二年度豫算額	歳入	六〇、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	六〇、〇〇
	歳出	
昭和三年度豫算額	歳入	六〇、〇〇
	歳出	
獎勵金並補助金下附ノ有無		
六十圓	村費補助金	

名稱 久保村教育會社會部

事務所々在地 都濃郡久保村東陽小學校内

創設年月日 大正十四年七月一日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 久保村 教育會

沿草概要 ロ、代表者 古木猛士

大正十四年七月從來村内ニアル各種ノ會ヲ綜合統一シテ之ヲ一教育會ニ纏メ五部門ヲ設ケソノ一トシテ社會部ヲ置キ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ目的トス

- ロ、事業
 - 一、教化事業ノ助成獎勵ヲナスコト
 - 二、教化ニ關スル施設ヲナスコト
 - 三、教化ニ關スル調査研究ヲナスコト

名稱 豊浦郡神社協會

事務所々在地 豊浦郡長府町

創設年月日 大正十五年六月十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 鳴瀬嘉貞

沿草概要

從前豊浦郡神職會ト稱シ神社ノ隆昌ト斯道ノ發展並相互親睦ヲ圖ルヲ目的トスル神職團體ナリシガ時世ノ進運ニ伴ヒ内容ノ充實ヲ圖ルト同時ニ社會的施設ニ貢獻スルヲ目的トスル會名ノ變更及ヒ會則ノ修正ヲ大正十五年六月十八日總會ニ於テ可決シ本會ヲ創設ス以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 神社ノ隆昌、國民道德ノ振興ヲ圖リ社會風教ニ資スルヲ以テ目的トス

- ロ、事業
 - 一、神宮大麻並曆ノ頒布普及

二、國民精神作興ニ關スル講演會及講習會ノ開催並印刷物ノ配布

三、其他前掲目的達成上適切ナル施設

會員數及分布狀況

正會員 四十七名
 正會員ハ豊浦郡内神職
 特別會員 ハ同郡内町村長、小學校長、氏子並崇敬者總代共
 他
 名譽會員 學識經驗アルモノ又ハ本會ニ對シ特ニ功績アルモノ

主ナル役職名並其氏名

1、役員

會長 鳴瀬嘉貞
 副會長 林 豊弼
 幹事 廣田正信 同 柴田欽事
 同 西島 瑛 同 渡邊武清
 同 林 岩龜 同 林 哲治
 幹事一名缺員

口、職員

主 事 佐伯通香 書記 西島守夫

資産（種目別）

一、基本金 一千四十二圓二十三錢五厘
 二、退職死亡給與準備金積立 百七十二圓五十錢

維持方法

正會員ノ離出金及篤志者寄附金ニヨル

昭和二年度豫算額

歳入 二、三二六、一八五
 歳出 二、三〇二、四一五

昭和三年度決算額

歳入 一、七七四、八二五
 歳出 一、五三五、五〇〇

昭和三年度豫算額

歳入 二、五三五、五〇〇
 歳出 二、五三五、五〇〇

名稱 天理教大島郡聯合會

事務所々在地 大島郡小松町大字小松二八〇番地

天理教中小松支教會内

創設年月日 大正十五年七月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 古川新一

沿革概要

大正十四年四月二十六日天理教中國聯合會山口縣聯合會ノ下ニ玖珂熊毛大島三郡聯合會組織サレシカ、大島郡ハ地勢關係上、大正十五年七月五日玖珂熊毛二郡ヨリ分離シ、天理教大島郡聯合會創設同時ニ縣教化事業聯合會ニ加入ス

昭和三年八月一日天理教中國聯合會々則改正

新規ニヨリ役員任命

(但一部昭和四年度ヨリ實施)

目的及事業種類

1、目的 教祖立教ノ本義ヲ發揚シ本郡内布教ノ聯絡ヲ圖リ併テ社會教化事業ニ貢獻スルヲ以テ目的トス

口、事業

一、協議會ヲ開催スルコト

一、講演會ヲ開催スルコト

一、縣聯合會事業ニ翼賛スルコト

一、其他目的達成上必要ト認メタル事業

會員數及分布狀況

郡内 七教會 四滯在所
 分布狀況
 小松町 天理教中小松支教會
 久賀町 天理教久賀支教會
 安下庄町 天理教安下庄宣教所
 同 天理教安下庄滯在所
 和田村 天理教屋代島宣教所
 屋代町 天理教大屋島宣教所
 沖浦村 天理教沖浦宣教所
 久賀町 天理教由島宣教所
 同 天理教對久滯在所
 家室西方 天理教沖家室滯在所
 油田村 天理教油字滯在所

主ナル役職名並其氏名

1、役員

創設年月日 大正十五年七月

經營主體又ハ代表者 代表者 進藤端堂

沿革概要

豊浦郡保護會ハ大正八年頃ノ創立ニシテ郡長會長トナリ
町村長ヲ支部長トシテ郡役所内ニ於テ間接保護ノ事務ヲ
取扱ヒ居タリシカ大正十五年六月限り郡役所廢止ニ付同
七月一日ヲ以テ本團ニ引繼ヲ受ケ豊浦郡保護會ヲ豊浦郡
聯合佛教團ト改稱スルニ至レリ、而シテ覺苑寺境内ニ約
三千圓ノ豫算ヲ以テ三十四坪五合ノ本團附屬收容所ヲ建
築シ直接保護ヲナシツ、アリ

目的及專業種類

イ、目的 國民精神ノ作興ト思想善導ヲ以テ目的トス

口、事業

一、教化事業トシテ郡内各所ニ定期講演ヲ開催スル

コト

一、郡内各町村ニ毎年一回司法保護思想宣傳講演會

名稱 豊浦郡聯合佛教團

事務所々在地 豊浦郡長府町覺苑寺内

維持方法

協議會申合ニヨル豫出金(昭和四年度ヨリ會費制)及篤志ノ寄
附金ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	三六、〇〇
	歳出	四一、五〇
昭和二年度決算額	歳入	三六、四四
	歳出	四一、〇六
昭和三年度豫算額	歳入	四一、〇六
	歳出	四一、〇六

ヲ開催スルコト

一、本郡在籍者ノ司法保護ヲナスコト

會員數及分布狀況

本團ハ加盟團體ハ本郡三十ヶ町村ノ佛教團ヲ以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

團長	進藤端堂
副團長	片山賢乘
理事	谷實成 同 宗岡雲海
	大野哲文 同 波田道隆
	齊靈時 同 原知象
	眞鍋道圓

資産(種目別)

- 一、基本金 一千七百圓
- 一、御下賜金 百二十圓
- 一、建物收容所 二千六百圓
- 一、器具其他物品 百五十圓
- 合計 四千五百七十圓

維持方法

名稱 天理教厚美聯合會

事務所々在地 厚狹郡二俣瀬村大字木田六三四

創設年月日 昭和二年三月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 山田清治郎

沿革概要

郡内百六十ヶ寺ノ豫出金但シ一ヶ寺割當金八圓
其他基金利子及寄附金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額	歳入	四九〇、〇〇〇
	歳出	四一六、四四〇
昭和二年度決算額	歳入	四一四、一二五
	歳出	四二〇、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、四二〇、〇〇〇
	歳出	一、四二〇、〇〇〇

昭和三年度ニ於テ豫算ノ膨脹セシハ直接保護收容所ノ開設ニ依
ル

奨勵金並補助金下附ノ有無
金百圓 御下賜金 大正十四年二月十一日

昭和二年三月三十日縣教化事業聯合會ニ加盟シ同年八月二十六日發會式ヲ舉行シ爾來縣教化事業講習會毎ニ代表者ヲ出席セシメ社會教化ノ研究ヲナシ來リ前任上原中國聯合會長昭和三年七月轉任シ同年八月十八日後任山田清治郎會長トナリタル爲來縣ノ時會則變更トナリ同時ニ役員變更トナリ事務所移轉トナリ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ我教團精神ノ統一ヲ計リ況ク及シテハ地方民衆ノ精神ヲ計ルヲ目的トス

ロ、事業

- 一、縣教化事業ト連絡提携スル事
- 二、縣教化事業ニ關スル研究ヲナス事
- 三、地方教化事業振興ニ關スル方法ヲ講スルコト
- 四、町村民教化ノ爲メ思想善導講演會ヲ隨時ニ開催スル事

會員數及分布狀況

厚美聯合會ハ十八ヶ所ノ團體ニシテ其名稱ヲ舉クレハ左ノ如シ

赤郷宣教所	宇大宣教所	共和宣教所
美郡宣教所	大嶺宣教所	上小川宣教所
厚西宣教所	厚狹宣教所	舟木宣教所
天意宣教所	芽出宣教所	長千宣教所
小野田宣教所	長厚宣教所	厚場宣教所
眞長田宣教所	厚東支教會	

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會 長 山 瀬 好 朗
常務理事 鶴 棹 傳 一

ロ、職員

參 事 淺 川 幸 槌
同 西 村 德 三 郎

資産 (種目別)

一、積立金二十圓
但シ三年度積立金

維持方法

寄附金

昭和三年度豫算額

歳入 二四、五〇
歳出 二四、五〇

四 國

愛媛縣教化團體聯合會 (加盟團體 一六六)
高知縣社會事業協會教化部 (加盟團體 四一)

名稱 愛媛縣教化團體聯合會

事務所所在地 愛媛縣廳社會課

創設年月日 昭和三年十月十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 常賀松之助

沿革概要

昭和三年十月十六日創立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ教化團體並教化事業關係者ノ聯絡提携

ヲ圖リ斯業ノ改善發達ニ資スルヲ目的トス

ロ、事業 一、社會教化ニ關スル調査研究及講演會開催

二、其他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項

主ナル役員名並其氏名

會長 常賀松之助

幹事長 中村元治

幹事 松本熊衛

同 菅 誠壽

維持方法

縣費補助其他團體ヨリノ交附金及寄附金會費等ニヨリ維持ス

昭和二年度豫算額 歲入 六一〇、〇〇 円

歲出

名稱 財團法人愛媛保護會

事務所所在地 松山市大字柳井町百九十番地

創設年月日 明治二十八年七月創立

大正四年法人許可

經營主體又ハ代表者 經營主體 財團法人

代表者 市村慶三

沿革概要

愛媛保護場及愛媛縣保護協會ノ合同ニヨリ成立シ前者ハ

明治二十八年七月後者ハ大正二年六月ノ創立ニ係リ兩者

合同シテ大正四年四月財團法人設立ノ許可ヲ受ケ同年六

月現在ノ事務所及收容所ヲ建築シタリ

目的及事業種類

1、縣下司法保護團體ノ統一ヲ圖リ事業ノ改良發達ヲ期スルヲ以テ目的トシ且ツ直接ニ事業ヲ經營ス

口、事業ノ種類 司法保護事業

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ二十二團體ニシテ其ノ名稱左ノ如シ

西新佛 教團	宇和島報恩會
松山履信會	喜多郡明昭會
西字和郡護友會	東字和郡普濟會
東字和郡義昭會	三間齊修會
越智郡福田會	風早風信會
津島報始會	南宇和郡慈教會
利生會	上浮穴郡慈濟會
伊豫郡明道會	周桑佛敎團
宇摩郡佛敎團	東新佛敎會
吉田慈德會	西温佛敎會
慈照會	報・公會

主ナル役職名並其氏名

總裁	市村 慶三
會長	福岡 安次
副會長	松本 一次
理事	境澤彌太郎 同 常賀松之助
同	松崎謙二郎 同 御手洗忠孝

資産(種目別)

地所	五百九十二圓五十錢
家屋	四千八百八十一圓二十錢
什器	三百四十二圓八十九錢
基本金	二萬五千六百六十四圓
經費	一千八百七圓七十八錢
計	三萬二千八百八十四圓三十七錢

維持方法

獎勵金補助金及財産收入ニ依リ事業ヲ經營ス

昭和二年年度豫算額	歳入	三、九五六、八三〇
昭和二年年度決算額	歳入	四、三四五、五九〇
	歳出	

昭和三年年度豫算額 歳入 三、七九二、二二〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

三百圓	宮内省御下賜金	二年度
五百五十圓	司法省獎勵金	二年度
五百圓	愛媛縣補助金	三年度
五百圓	同上	三年度

名稱 愛媛縣温泉郡正岡村治進會

事務所所在地 温泉郡正岡村大字八番地 正岡村役場

創設年月日 明治四十年一月

經營主體又ハ代表者 代表者 門田 方武

沿革概要

明治三十七八年ノ頃正岡村長同役場吏員正岡小學校長職員ハ村治ノ改善ト共ニ教育ノ進歩ヲ圖リ或ハ風紀ノ刷新ヲ力メ村内ノ福利ヲ増進センニハ此等ノ諸員一堂ニ會シ

氣脈相通シ意見ヲ交換シ以テ相議スルノ必要アリトシ、隔月一回茶話會ヲ開催セシカ同四十年ニ至リ單リ役場吏員學校職員ノ會合ノミニテハ各等ノ目的ヲ達スル上ニ於テ遺憾トスル所尠カラストシ同會變議ニヨリ本村有志者(神職僧侶村會議員大守總代及名望家有志)ヲ網羅シ明治四十年一圓ヲ以テ創立シ後村民戶主全員ヲ以テ會員トスルコトニ組織ヲ變更シテ今日ニ至ル

目的及事業種類

1、目的 本會ハ正岡村有志ノ氣脈ヲ相通シ智識ヲ交換シ風俗ノ改善ヲ圖リ勤儉相力メ村内ノ福利ヲ増進スルヲ以テ目的トス

口、事業種類

- 一、集會 一、尙齒會
- 一、講話會 一、勸儉貯蓄組合
- 一、門標一定調製 一、時間勵行ト時報
- 一、宴會献酬廢止

會員數及分布狀況

會員數	四一三
大字草 地	一一一
同 中西外	一二八
同 院 內	二二五
同 神 田	二八
同 中西內	六〇
同 寺 谷	一六
同 波 田	三五

聖ナル役職名並其氏名

會 長	門 田 方 武
副會長	石 丸 勝 太 郎
幹 事	重 松 類 三 郎
同	德 永 清 次 郎
同	山 本 雅 知

資資(種目別)

現金基本金 四百九十八圓

維持方法

村 費 補 助

昭和二年度決算額 歲入 一八〇、〇〇 歲出 一八〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一八〇、〇〇 歲出 一八〇、〇〇

昭和三年度決算額 歲入 一八〇、〇〇 歲出 一八〇、〇〇

名 稱 喜多郡明昭會

事務所々在地 喜多郡大洲町大禪寺内

創設年月日 大正元年十二月廿三日

經營主體又ハ代表者 代表者 河 野 玄 要

沿革概要

明治四十五年七月三十日明治天皇御崩御アラセラレ大正天皇ノ深キ御聖慮ニ依リ一時ニ恩典出獄者多數アリシ爲メ本會設立ノ起因トナリ大正元年十二月廿三日創立ス始メ會員中ヨリ會長ヲ選舉シ來リシカ大正四年喜多郡長ヲ會長ニ推戴シ郡内各町村長ノ援助ヲ得テ大ニ會務ノ發展ヲ計リシカ大正九年郡役所廢止ト共ニ創立委員タリシ河野玄要氏會長ニ推サレ爾來勤讀其間大ニ會務ノ成績見ル

キモノアリ縣下二十二教團中優良教團トシテ認メラレ大正十二年大正十三年ノ兩年度宮内省ヨリ御獎勵ノ思召ヲ以テ金壹百圓宛ヲ拜受スルニ至ル

目的及事業種類 釋放者保護

會員數及分布狀況

正會員數 九九名

普通會員數 五〇〇名

分布狀況

喜多郡内ヲ四區ニ頒ツ

川上區 内山區 川下區 中央區

聖ナル役職名並其氏名

會 長	河 野 玄 要
副會長	保 龍 海 同 林 正 道
常務理事	河 野 文 嶺 同 五 葉 德 峯
保護主任	河 野 玄 要 同 泰 山 峨 嶽
同	土 居 重 則 同 河 野 俊 龍
同	山 田 宗 弘

評議員	宇 都 宮 觀 道 同 木 村 宗 文
同	玉 木 道 仙 同 泰 山 峨 嶽
同	關 達 秀 同 大 國 諦 阿
同	和 田 來 成 同 山 本 道 勇

資産(種目別)

一、愛媛農工銀行債券 五百圓

一、大洲銀行株券 五百圓

維持方法

一、正會員ハ毎年金二圓宛ヲ贈金シ

二、普通會員ハ一時金一圓五十錢ヲ贈金ス

三、郡内各町村費補助金

昭和二年度決算額 歲入 一、八一〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲出 一、二三三、〇〇

昭和三年度決算額 歲入 一、七九〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭昭二、三年度)

金一百圓 大正十二年度 宮内省下賜

金一百圓 大正十三年度 同 上

名 稱 西豫一心會

事務所所在地 西宇和郡神山町大字八代二番地

王子文庫内

創設年月日 大正七年二月十一日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 西豫一心會

口、代表者 清家 中枝

沿革概要

- 一、西豫一心會誕生 大正七年二月十一日恰モ舊正月元日即陰陽合一ノ日ヲトシ西宇和郡神山山村四圍山頂明治天皇遙拜場落成式舉行同時ニ主催者清家中枝ニ於テ滿場ノ協賛ヲ經テ毎年七月三十日遙拜式執行十一月三日遙拜式ノ際献書(忠愛ノ志氣ヲ表ハス文句)並ニ學童角力獻納ノ旨宣誓
- 二、西豫一心會生長 大正十四年七月皇上銀婚式記念ニ王子洗心道場(清家中枝所有地)内ニ明治大正皇上頌德碑竝武德殿ヲ建設シ青少年團處女會學生童團心身

武德殿公開活用シテ青少年團處女會學生

(童)團ノ心身ヲ鍛練スルコト

四、會報發行、皇道宣傳

會員數及分布狀況

四七四

西宇和郡内一四二二ヶ町村

就中中央部七ヶ町村多數ヲ占ム

主ナル役職名並其氏名

- 主 幹 清 家 中 枝
- 崇敬社惣代 菊池清太郎 同 菊池富次郎
- 同 平 田 恭 三
- 名譽顧問 若 林 資 藏 同 古 海 巖 潮
- 會計顧問 井 上 豊 松

維持方法

篤志家ノ献金ヲ主トス

主幹清家中枝教職員退職料年額四百五十六圓ノ四分一補填ス

昭和二年度決算額 歳入 一五、〇〇

歳出 一五、〇〇

鍛練場ニ充ツ大正甲子歳冬乃木神社遙拜神謹植西豫中央青年團共國修築。昭和二年冬多摩摩陵遙拜神謹植

三、西豫一心會發展 昭和三年十一月御大典記念頌德碑(設立ノ趣旨 昭和大典ニ際シ御聖德ヲ敬仰シ奉リ兼テ故人奉公者ノ遺德ヲ通慕表彰センカ爲メ) 昨秋官許ヲ得テ着手本年紀元節ニ落成除幕式ヲ最壯嚴ニ舉行。

目的及事業種類

- イ、目的 皇室中心主義實行團先導 大日本一心團首盟主唱 故人奉公者遺德追慕表彰
- 口、事業 一、神社又ハ遙拜所ニ祭典遙拜式謹行特ニ宮城一周ノ精神ヲ以テ天王宮一周會實行 二、故人奉公者ノ慰靈祭並遺墨展覽會舉行 特ニ西豫遺香ノ上梓完成ヲ期ス 三、王子洗心道場發展策ヲ講シ既設ノ文庫竝

昭和二年度決算額 歳入 一四、二〇

昭和三年度決算額 歳入 一五、〇〇

(右歳入歳出ハ明治天皇遙拜場ニ關スルモノ、ミ)

獎勵金並補助金下附ノ有難(昭和二、三年度)

昭和二年度 五四八十錢

昭和三年度 六四八十錢

愛媛縣神職會西宇支會補助

名 稱 大日本四恩協會

事務所所在地 温泉郡三津濱町

創設年月日 大正七年十一月二十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 高 橋 常 雄

沿革概要

歐洲戰亂平和克復ヲ紀念シテ組織ス

月刊雜誌「慈悲の國」ヲ大正十年ヨリ發行ス

全國支那朝鮮ニ亙リテ會員八千名アリ

會員ニハ「慈悲の國」ヲ郵送ス

現今大分縣別府温泉地帯「鐵輪」温泉町ニ「四恩精舍」ト名稱スル屋舎ヲ建築シ入湯ノ人々ニ「信心」ヲ涵養スル方法トシテ聞、恩、修、ノ三ヲ學修スル道場ヲ開キツツアリ

目的及事業種類

イ、目的 天皇、祖先、國家、三寶ノ四恩ヲ感謝シ報恩セシムルニアリ

ロ、事業 一、佛教ヲ根底ニシタ「信心」ヲ涵養セシメコ

ノ信心ヨリ流出スル行爲トシテ四恩ヲ感謝報恩セシムル爲雜誌「慈悲の國」ヲ毎月

會員ニ頒ツ

二、全國的ニ講師ヲ派シテ講話會開催

三、各地ニ四恩會支部ヲ設ケ、現今五十二ヶ

所

四、禁酒宣傳ヲナス

會員數及分布狀況

會員 八千餘名

岐阜縣	二、三〇〇	福岡縣	二、〇〇〇
愛媛縣	三〇〇	廣島縣	三〇〇
大分縣	三〇〇	熊本縣	三〇〇
富山縣	三〇〇	新潟縣	三〇〇
石川縣	三〇〇	青森縣	三〇〇
朝鮮	三〇〇	其他各縣下少數ゾ、アリ	

主ナル役員名並其氏名

會長	高橋 常雄
理事	田村 要
書記	成尾 喜四郎
會計	高橋 はつ子
其他	五名

資産（種目別）

一、基本金 三千五百圓

維持方法

一、會員ハ一ケ年一圓三十錢ヲ納ム

二、著書ヲ發行シテソノ收益ニヨル

三、講話出張ノ報酬金

昭和二年年度決算額 歳入 一、三〇〇、〇〇

昭和三年年度決算額 歳入 一、八〇〇、〇〇

備考

大分縣別府温泉地帯「鐵輪温泉」町ニ建築セル「四恩精舍」ヲ中心ニ今後益々四恩報答ノ精神ヲ普及シ青年處女ヲ日當ニ進出スルニ準備中

名稱 財團法人喜多郡自治協會

事務所所在地 喜多郡大洲町大字大洲壹番地

創設年月日 大正十一年六月十二日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 財團法人

代表者 足達 儀國

沿革概要

大正十一年郡制廢止ニ際リ從來郡ニ於テ施設計畫セシ事業中縣又ハ町村ノ委讓ニ適セサルモノヲ繼承シテ地方共同ノ利益ヲ増進センカ爲メ創設シ役員中評議員ハ從來郡會議員ノ選舉區域ニハ廿四名ヲ選出センが大正十三年三十名ニ増員シ郡内各町村長ノ職ニ在ルモノニ囑託スルコトニ改メ又理事中一名ハ喜多郡長ノ職ニ在ルモノニ囑託スルノ制ナリシカ郡役所ノ廢止ニ伴ヒ之ヲ改正シ以テ今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 地方自治ノ振興並ニ教育産業ノ發達ヲ圖ルヲ

目的トス

ロ、事業 一、民力涵養ノ普及徹底ヲ圖リ其實ヲ舉クル

ニ努ムルコト

二、國民教育公民教育ノ向上發達ヲ圖ルコト

三、各種團體組合ノ活動ヲ促シ其輔導誘掖ニ努ムルコト

四、地方改良功勞者又ハ篤行者ノ表彰ヲ爲スコト

五、本郡出身中等學校卒業者トシテ高等教育ヲ受ケムトスルモノニ對シ學資貸與ノ途ヲ講スルコト

六、其他本會ノ目的ヲ遂行スルタメ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

喜多郡各町村公民ヲ以テ會員トスルヲ以テ三十ヶ町村ニ分布シ本會ノ總旨ヲ實踐スルモノトス

空ナル役職名並其氏名

理事 足達 儀 國 同 吉元 誠 一郎
同 宮田 愛 明 同 金岡 重 吉
同 龜岡 哲 夫 同 西村 兵 太郎

名稱 社團法人南豫文化協會

事務所々在 宇和島市廣小路通拾五番地

創設年月日 大正十二年四月十四日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社 團 法 人

口、代表者 伯爵 二荒芳徳

沿革概要

大正十一年十一月廿五日 皇太子殿下宇和島市ニ行殿アラセラル、ヤ南豫一市四郡民ハ歡天喜地シテ奉迎ノ誠ヲ捧ケリ此ノ光榮ヲ永久ニ記念センカ爲ニ此ノ教化團體ヲ設立スルニ至レリ

翌年四月主務省ノ認可ヲ受ケ同六月三十日ヲ以テ創立總會ヲ開キ直チニ事業ニ着手シ、爾來今日ニ至ル迄着々トシテ事業ヲ遂行シ來リ今ヤ御大典記念トシテ資金凡五萬圓ヲ投シテ南豫青年會館ヲ企圖スルノ運ニ達シ現ニ事業進行中ニアリ

目的及事業種類

同 高野島太郎
監事 玉井 水澄 同 和氣郁太郎

同 兵藤 正人
評議員 三十名 郡内各町村長ノ職ニ在ルモノ

資産 (種目別)

現金 三萬六千三百圓
公債證書 一千一百圓
國庫債券 三百圓
山林 百十九町六反七畝二十八步
畑 三畝十七步

維持方法

資産ヨリ生スル收入、補助及寄附金、贈附金其他ノ諸收入ニシ

昭和二年度決算額 歳入 八、一五三、〇〇
歳出 一三、〇七七、六七
昭和三年度決算額 歳入 六、四五三、〇二
歳出 八、三九三、〇〇

イ、目的 宇和島市、東、西、南、北宇和郡ノ一市四郡ノ青年子女ヲ指導シ其他地方文化ノ向上發達ヲ期スルヲ以テ目的トス

口、事業 一、青年子女ノ希望ニ應ジ講師ヲ斡旋派遣スルコト

二、實業教育公民教育ノ向上發達ヲ圖リ其實ヲ舉クルニ努ムルコト

三、講演會講習會ヲ開催シ幹部青年ノ養成ニ努ムルコト

四、優良青年團ノ表彰ヲ爲スコト

五、優良町村其他ノ視察見學ヲ獎勵シ其援助ニ努ムルコト

六、文化講演會ヲ開催シ智徳ノ向上ヲ圖ルニ努ムルコト

七、其他本會ノ目的ヲ遂行スルニ必要ナル事項

會員數及分布狀況

會員總數九百六十六人ニシテ其分布狀況左ノ如シ

東字和郡	九十二人	西字和郡	百十三人
南字和郡	八十四人	北字和郡	三百二十四人
宇和島市	二百八十一人	京阪方面	二十四人
東京方面	四十八人		

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	伯爵 二荒芳徳
副會長	山村豊次郎
理事	井上源一 同 清家吉次郎
同	太宰孫九 同 江海黃中
同	未光千代太郎 同 緒方陸朗
同	佐々木長治 同 浦中友次郎
監事	村松恒一郎 同 堀部俊介
同	中平常太郎

口、職員

理事 森岡捨松 同 兵頭賢一
書記 片岡長夫 同 山崎勇

資産 (種目別)

一、有價證券額面	五千二百五十圓
一、定期預金	一萬七千七百四十圓
一、器具其他物品見積價格	一萬七百五十圓
合計	三萬三千七百四十圓

維持方法

會費、預金利息、配當金、寄附金	
補助金其他ノ收入ニヨル	
昭和二年度豫算額	歳入 七、一四三、九五
	歳出 四
昭和二年度決算額	歳入 五、九五五、三九
	歳出 五、〇八四、六九
昭和三年度豫算額	歳入 六、一二〇、四四
	歳出
獎勵金並補助金下附ノ有無	昭和二、三年度
各一百圓 政府ヨリノ交附金	昭和二、三年度
二百五十圓 宇和島市ヨリノ補助金	昭和二年度
二百圓	同 三年度

名稱 愛媛乃木講

事務所々在地 松山市一萬町二百六番地ノ第四

創設年月日 大正十二年五月九日

經營主體又ハ代表者 代表者 菅 誠 壽

沿革概要

大正十二年五月愛媛縣中堅青年二十名ヲ引卒シテ指導旅行ヲナシタル際ニ上京シ青山穩田明治神宮講ニ宿泊セリ偶々同講ニテ乃木講社ノ事ヲ聞キテ大ニ賛意ヲ表シ團員中ノ有志十六名ヲ以テ直ニ愛媛乃木講社ヲ創設セリ其ノ後五名以上ノ講員ヲ得タル地方ニハ本會ヲ離シテ別ニ講社ヲ組織セシムルコト、セリ即チ大洲、西條、砥部櫻井等ニ各々獨立シテ講社ヲ組織シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 教育勸語ノ御趣旨ヲ奉體シ乃木大將御夫婦ノ心ヲ心トシ神ヲ敬ヒ業ヲ勵ミ質素ヲ守ルコト
ロ、事業 會員カ集合シ得ル區域ニ於テ毎月會合ヲ催シ

以テ心身ノ修養ヲナスコト

會員數及分布狀況

縣下各部ニ亙リテ會員數 十二名
五名以上ノ會員ヲ得タル地方ニハ分離シテ講社ヲ組織セシムルニヨリ會員增加セス

主ナル役職名並其氏名

世話役 菅 誠 壽

維持方法

費金必要ノ場合ハ會員ノ離出ニ依ルモノトス

名稱 民心作興會

事務所々在地 松山市柳井町一一四番地

創設年月日 大正十二年十一月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 玉井 忠 義

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興詔書漢發セラレタル

ヲ以テソノ日ヲ記念トシテ本會ヲ組織シ
昭和三年教化團體聯合會ニ加盟ス

目的及事業種類

イ、目的 專ラ國體精神ノ宣揚ト國體信念ノ涵養ニ努メ
近來動モスレル變態惡化腐爛セントスル國民
精神ヲ善導美化シテ我國固有ノ剛健ナル國民
精神ヲ作興鍛練スルニアリ

ロ、事業 一、思想淨化ノ讀物ヲ刊行ス
二、思想善導ノ講演講習ヲナス
三、善行美談ヲ調査シ之ヲ紹介表彰ス
四、失業者ノ救済
五、不良性少年ノ訓誡取締救済等

會員數及分布狀況

二千六百四十七名

主トシテ愛媛縣下一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 玉井 忠 義
南條支會長 山 脇 一 男
理事 河 内 房 吉
同 尾 崎 孝 三 郎

維持方法

一、有志ノ寄附 二、會員ノ會費
三、講演ノ報酬 四、讀物ニヨル購讀料
五、會長ノ自負

昭和二年年度決算額 歲入 二七〇、〇〇
歲出 二七〇、〇〇
昭和三年年度決算額 歲入 八二五、〇〇
歲出 八二五、〇〇

名 稱 財團法人西宇和郡社會事業協會

事務所所在地 西宇和郡八幡濱町團體聯合事務所

創設年月日 大正十三年十月十日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 財團法人
ロ、代表者 宇都宮壯十郎

沿革概要

大正十二年八月二十五日町村長會ニ於テ皇太子殿下御成
婚記念事業トシテ財團法人西宇和郡社會事業協會設立ヲ
決議シ其後極力寄附勸誘シ大體豫定通り得タレハ
大正十三年十月十日設立シ文部内部兩省ニ法人設立許可
申請手續ヲナシ同月三十一日付ヲ以テ許可セラレ愈々茲
ニ設立シタリ

目的及事業種類

イ、目的 西宇和郡社會教育社會事業町村自治振興發達
ヲ圖ルヲ目的トス

ロ、事業 一、國民教育公民教育 二、講習講話
三、各種團體指導 四、活動寫眞

五、地方改善 六、先進地視察
七、地方自治振興 八、社會事業振興
九、社會事情調査研究 十、其他

會員數及分布狀況

西宇和郡内一圓 寄附人員一百六十一名

主ナル役職名並其氏名

理事長 宇都宮壯十郎
理事 佐々木長治 同 西村彌三郎
同 攝津靜雄 同 村田吉右衛門
監事 菊池又八郎 同 岡田虎三郎
同 菊池重久
主事 村田吉右衛門

資産（種目別）

資 産 二萬一千四百六十四
器具其他物品 二千四百三十七錢

維持方法

資金利子補助金

昭和二年決算額	歳入	二、〇一五、〇〇
	歳出	二、〇九四、〇五
昭和二年決算額	歳入	一、九七二、八一
	歳出	二、〇一五、〇〇
昭和三年決算額	歳入	
	歳出	
奨励金並補助金下附の有無		
五百圓	西字和郡町村長會	昭和二年
五百圓	同	二年

名稱 財團法人愛媛縣新居郡社會事業協會

事務所所在地 新居郡西條町大字明屋敷一六四番地
創設年月日 大正十三年十一月十八日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 財團法人
口、代表者 菅 貞 仁

沿革概要

社會問題ノ愈複雑多端ナルノ秋ニ際シ深ク郡内ノ事情ヲ察シ大正十三年十一月十八日新居郡内各町村長並ニ有

一町村一名乃至二名ニ過キス
主ナル役員名並其氏名

- 一、役員
 - 會長 菅 貞 仁 副會長 高橋初次郎
 - 理事 白石譽二郎 同 工藤養次郎
 - 同 山下杉男 同 眞鍋以明
 - 監事 明星 寛 同 久保寅吉
 - 同 河上勘右衛門
- 口、職員
- 主事 村上重吉

資産 (種目別) 基本金 二〇、〇〇〇、〇〇〇

維持方法 基本金ヨリ生スル利子金及ヒ補助金指定寄附金其他ノ收入ニ依ル
昭和二年決算額 歳入 二、三七一、六七
歳出

志ノ賛同ヲ得テ新居郡社會事業協會ヲ設立シ大正十四年六月事業細目十七ヶ項目ヲ列舉シ其趣旨ヲ明確ニシ諸種ノ社會事業ヲ計劃シ現在ハ勿論永久ニ社會問題ノ對策トシテ善所セムトスルヤ同年七月同郡炬密調査會ヨリ基金トシテ二萬圓ノ寄附ヲ得タルノミナラス郡役所廢止ニ直シテ以テ大正十五年四月三十日財團法人ノ申請ヲナシ同年十二月三日之ヲ許可セラレ今日ニ至ル

目的及事業種類

- 一、目的 社會事業ノ發達ヲ期シ且ツ郡内ニ於ケル社會事業團體ト連絡ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 口、事業
 - 一、賑恤救濟
 - 二、融和協調
 - 三、弊風矯正
 - 四、生活改善
 - 五、其他各種團體トノ聯絡援助

會員數及分布狀況

新居郡内十九ヶ町村ニシテ會員二十一名

昭和二年決算額	歳入	二、〇九五、九〇
	歳出	一、四六七、五五
昭和三年決算額	歳入	二、〇四八、三五
	歳出	

名稱 越智郡聯合婦人會

事務所所在地 今治市外清水村西念寺内
創設年月日 大正十四年二月十一日
經營主體又ハ代表者 代表者 鳳 精 洲

沿革概要 各町村婦人會ヲ聯合シテ國民精神ヲ興ニ關スル詔書ノ聖旨ヲ普及スルノ目的ヲ以テ郡聯合婦人會ヲ組織ス

目的及事業種類 一、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ目的トス

口、事業 一、講習會及講演會ヲ開催ス

- 二、地方改善ヲ圖ル
- 三、勤儉貯蓄等消費節約ヲ獎勵
- 四、農繁期ニ於ケル託兒所開設
- 五、融和事業ニ盡力ス

會員數及分布狀況

越智郡内三十一ヶ町村ニ分布スル團體數三十一
會員數六千五百五十六

主ナル役職名並其氏名

會長 鳳 精 洲 副會長 高須クニ
會計 越智ミサノ 幹事 矢野ツネ
幹事 檜垣イクエ 同 正岡種子
同 達川 愛 同 柚山和麴

維持方法

支會ノ負擔金ト縣費補助

昭和二年年度豫算額 歲入 三五〇、〇〇

昭和二年年度決算額 歲出 三三八、〇〇

昭和三年年度豫算額 歲入 三七〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金五十四 昭和二年經費補助金

金五十四 同 三年同 上

名稱 西宇和郡聯合主婦會

事務所所在地 西宇和郡八幡濱町團體聯合事務所

創設年月日 大正十四年三月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 浦 中 其 枝

沿革概要

西宇和郡社會課幹旋ニテ皇太子殿下御結婚記念事業トシテ各町村ニ主婦會ヲ設立シ更ニ郡聯合主婦會ヲ設立スルコト、ナリ先ツ町村主婦會設立ニ務メ大體各町村主婦會設置ヲ見タルヲ以テ大正十四年三月一日各町村主婦會代

表者集マリ協議ノ決果郡聯合主婦會設立シタリ

目的及事業種類

イ、目的 各町村主婦會相互ノ連絡統一ヲ保チ其進歩發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

- ロ、事業 一、總會開催 二、教風教化事業
- 三、生活改善事業 四、講習講話

會員數及分布狀況

八幡濱町婦人會	磯津村主婦會
千丈村世帯會	伊方村主婦會
双岩村主婦會	町見村主婦會
川上村主婦會	三机村主婦會
舌田村主婦會	四ツ濱村主婦會
矢野崎村主婦會	神松名村主婦會
寺須來村主婦會	三崎村主婦會
川岩町婦人會	宮内村主婦會
日田村主婦會	以上十七團體

主ナル役職名並其氏名

會長 浦 中 其 枝 副會長 宇都宮愛子
幹事 井上英子 同 河野イソ
同 曾我正乃 同 西田キウ
同 高左クヲ 主事 村田吉右衛門

維持方法

負擔金 寄附金 補助金

昭和二年年度豫算額 歲入 二五〇、〇〇

昭和二年年度決算額 歲出 一一三、八四

昭和三年年度豫算額 歲入 二六〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

五十四 縣費補助 昭和二年度

名稱 喜多郡聯合婦人會

事務所所在地 喜多郡大洲町(當分縣立大洲高等女學校)

創設年月日 大正十五年二月十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 樋口清二
沿革概要

大正十四年十月三十日喜多郡役所ニ於テ郡内主婦會婦人會ヲ開催一般婦人ノ向上ヲ促シ之カ活動連絡ヲ圖ランカ爲メニ喜多郡聯合婦人會設立ニ就テ協議翌十五年二月十七日愈々之レカ設立ヲ見ル時ノ郡長渡邊信男氏會長タリ大正十五年六月本郡郡役所廢止ト共ニ事務ヲ縣立大洲高等女學校長樋口清二氏ニ引繼キ同氏會長トナリテ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 郡内各町村主婦會及婦人會相互ノ連絡統一ヲ圖リ以テ其ノ進展ヲ期スルヲ目的トス
ロ、行事 一、會長會ヲ開キ相互ノ連絡統一ヲ圖ル
二、毎年一回以上大會ヲ開キ名士ノ講演實行事項ノ協議表彰等ヲ行フ

三、講演會講習會ヲ開キ或ハ見學旅行等ヲナス

會員數及分布狀況

本會加盟ノ主婦會婦人會ハ左ノ如シ

大洲新道婦人會	平野村婦女會
菅田村婦人會	大谷村婦人會
天神村婦人會	五十崎村婦人會
内子町婦人會	村前村婦人會
大瀬村婦人會	瀧穗村婦人會
新谷村婦人會	三善村婦人會
栗津村婦人會	上須戒村婦人會
白瀧村婦人會	大和村婦人會
出海村婦人會	櫛生村婦人會
長濱町婦人會	喜多灘村主婦會

三ナル役職名並其氏名

會長 樋口清二	副會長 中村コテフ
幹事 大西房次郎	同 新 金 吾
同 城戸ラン	同 下井ソノ

幹事 山本梅子 同 佐賀友枝

資産 (種目別)

一、積立金 二百圓
大正十五年四月花の會開催収益金
一、特別豫備金 七十九圓
右ニ同シ
合計 金二百七十九圓

維持方法

各主婦會婦人會ノ負擔金(金額十圓)及縣ノ補助金寄附金其他ノ收入ニヨル
昭和二年年度豫算額 歳入 三五〇、〇〇
昭和二年年度決算額 歳入 二四四、三九
昭和三年年度豫算額 歳入 一七五、四八
昭和三年年度決算額 歳入 二七五、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無
五十圓 縣ノ補助金 昭和二年度

名稱 愛媛縣温泉郡居島村禁酒會

事務所所在地 温泉郡與居島村由良青年會館

創設年月日 大正拾五年拾壹月拾日

經營主體又ハ代表者 代表者 中本源二郎

沿革概要

本會ハ大正十二年十一月十日下賜セラレシ國民精神作興詔書ノ渙發三週紀念事業トシテ其ノ趣旨普及徹底ヲ計ル目的ヲ以テ大正十五年十一月拾日禁酒會ヲ組織シ社會教化事業ノ一助トシ茲ニ設立セリ設立當初ハ會員數僅ニ二十名ナリシモ爾後役員諸子ノ熱誠ノモトニ七十四名ノ大數ヲ得今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 禁酒禁煙勵行
ロ、事業 一、講習會講演會
二、書籍巡廻講演
三、印刷物配布

資産（種目）

- 一、基本金 五十圓
- 一、基本財産 五十圓
- 合計 百圓也

別維持方法

獎勵金及會費其他有志ヨリノ寄附金ニテ充ツ	
昭和二年度決算額	歳入 三七、〇〇〇
	歳出 三〇、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入 三八、五〇〇
	歳出 三〇、五八〇
昭和三年度決算額	歳入 四六、〇〇〇
	歳出 四一、〇〇〇
獎勵金並補附金下附ノ有無（昭和二、三年度）	
十五圓	獎勵金 青年團ヨリ
十四圓	同 部落ヨリ

名稱 愛媛縣佛教會

事務所所在地 松山市東雲町六角堂

會員數及分布狀況

本會ヲ別テハ左ノ如シ

由良青年禁酒會員	三十五名
鷺ヶ集青年禁酒會員	二十名
北浦青年禁酒會員	十一名
釣島青年禁酒會員	八名
合計	七十四名

主ナル役職名並其氏名

役員

會長	中本源二郎	副會長	中田照吉
理事	野本進	同	沖原徳一郎
同	宮内晴邦	同	梶野時覺
幹事	林龜一	同	藤本梅太郎
顧問	玉井住太郎		

四、教化事業ニ關スル調査研究

五、節約實行會ノ援助

六、其他目的達成上七要ナル事項研究

創設年月日 昭和二年五月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 瀬川大憲

沿革概要

從來本縣下佛教寺院ノ聯合機關トシテナセル社會事業ニハ廿二地方教團カ愛媛保護會（免囚保護）ニ屬シテ單ナル消極的保護事業ニノミカメタルヲ時代ノ趨勢ト共ニ積極的社會教化ニ進出シ、縣下寺院（約一千）一致團結シテ佛教徒ノ使命ヲ發揮セントシテ創立セラレ今日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ精神ニ則リ社會教化ニカムルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、思想善導社會淨化
- 一、地方改良及ヒ勞資協調
- 一、宗教ト教育トノ聯繫
- 一、感化救済

右ニ付定例若ハ臨時ニ本會講師ヲ派遣シテ講演會ヲ

開キ其他適當ナル方途ヲ講ス

會員數及分布狀況

縣下三市十二郡ニ亘ル 二十二地方教團 會員約八百名

主ナル役職名並其氏名

總裁	知事	市村慶三
會長		瀬川大憲
副會長		越智憲文
同		田窪秀南
常務理事		今井貞勝 他六名
地方理事		（各市郡ニアル二十二地方教團ニ各一名）
同評議員		（三十名）
講師		（二十八名）
顧問		（地方名望家若干名）

維持方法

- 一、會員募金
- 一、寄附金

昭和二年度決算額	歳入	五二九、八二
	歳出	

昭和二年度決算額	歳入	三二五、〇〇〇
	歳出	四〇五、〇〇〇
昭和三年度決算額	歳入	二、〇一五、〇〇〇
	歳出	
奨励金並補助金下附ノ有無		
金二百圓	愛媛縣	昭和三年度

名稱 高知縣社會事業協會

事務所所在地 高知縣廳社會課內

創設年月日 昭和二年九月十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 大島破竹郎

沿革概要

社會事業ノ發達ヲ期シ縣下社會事業團體ノ連絡統一ヲ圖ルノ目的ヲ以テ社會事業ノ調査研究ヲ爲シ社會事業團體及社會教化事業團體ノ連絡ヲ圖リ其ノ經營ヲ援助シ事業ニ關スル講演會懇談會ノ開催並ニ雜誌ノ發行其他事業ノ

發達ニ關シ必要事項ヲ遂行スル爲昭和二年九月十七日創立ス

爾來會員逐次増加シ昭和三年五月二十九日中央教化團體聯合會ニ加盟シ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、目的 社會事業ノ發達ヲ期シ縣下社會事業團體及社會教化事業團體ノ連絡統一ヲ圖ルヲ目的トス

二、社會事業及教化事業團體ノ連絡ヲ圖ルコト

三、社會事業教化事業ニ關スル調査研究ヲナスコト

四、社會事業教化事業ニ關スル講演會懇談會ヲ開催スルコト

五、雜誌「社會と教化」ヲ發行スルコト

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ四十一團體ニシテ主ナルモノ左ノ如シ

- 高知縣漁村成人教育協會 高野寺密教婦人會
- 嶺北教化團 高知佛教婦人會
- 土佐史談會 基督教婦人矯風會高知支部

尙ホ個人加入者二百四十八名アリ

現在ハ高知市其附近ニ多キヲ占ムルモ漸次縣下各地ニ會員増加ノ見込ナリ

主ナル役員名並其氏名

一、役員

- 會長 大島破竹郎
- 副會長 小山知一 同 川島正件
- 常務理事 岡田音吉
- 理事 野田松平 同 水野清雄
- 同 脇坂作次郎 同 池内實吉
- 同 伊尾木禮馬 同 池田永馬
- 同 三宮勝治

口、職員

- 幹事 南 益次郎 同 西本豊治
- 同 川島陸馬

資産（種目別）

百 四 積立金

維持方法

會費、補助金、寄附金、其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 一、二七五、〇〇

昭和二年度決算額 歳出 一、〇八八、三六

昭和三年度決算額 歳入 三、四九四、〇〇

昭和三年度決算額 歳出 九五四、一一

奨励金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）

四百圓 高知縣ヨリノ補助金 昭和二年度

八百圓 同 上 同 三年度

三百圓 高知市ヨリノ補助金 同 三年度

二百圓 中央教化團體聯合會ヨリ奨励金 同 三年度

名稱 土佐史談會

事務所所在地 高知市帶屋町四三五番地

創設年月日 明治四十五年七月廿五日

經營主體又ハ代表者 代表者 寺石正路

沿革概要

明治四十五年七月郷土史界ノ逐年荒廢ニ歸セントシツ、アルヲ以テ其開拓ヲ目的トシテ七月廿五日創設シ本會ノ精神ヲ普及セシメ歴史地理ノ研究ニ努メシノミナラス暗キ裡ニ國家的思想ノ發揮ト國民性ノ涵養トニ聊カ力ヲ致シツ、アリ爾來加盟者遂次増加シ昭和四年一月ニ於テハ會員一千ヲ算スルニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 歴史地理ヲ攻究スルノミナラス思想善導ヲ目的トス

ロ、事業 年四回定期ニ雜誌「土佐史談」ヲ發刊シ且ツ毎月講演會史蹟探求會ヲ開催セリ

金三百圓 縣費補助金 同 三年度

金二百圓 市補助金 同 三年度

備考 高知縣社會事業協會ニ加盟ス

名稱 基督教婦人矯風會高知支部

事務所所在地 高知市北門筋七百四番地

創設年月日 大正九年九月

經營主體又ハ代表者 代表者 小崎千代

沿革概要

大正九年九月矯風會ノ三大目標世界ノ平和禁酒純潔ニ從ヒ我國舊來ノ弊風ヲ改善シ進ンテ社會ノ教化ニ勉メ忠實ナル社會奉仕ヲ目的トシテ前支部長岡壽子之ヲ創立ス大正十年四月學生ホームヲ開始シ學生ノ思想善導及身心ノ健全ナル發達ニ勉メ次イテ同年十月一日貧民施療所ヲ開キ救療及實費施療ヲナシ今日ニ及フ

會員數及分布狀況

會員數 一千五百名

縣内外及ヒ臺灣、朝鮮、滿洲、北海道ニ散在ス

主ナル役職名並其氏名

會長 寺石正路
副會長 松山秀美
理事 小關豐吉
同 桑田精一
常務理事 武市佐市郎

維持方法

會費、補助金ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 一、四四五、七二

昭和二年度決算額 歲入 一、七〇三、八七

昭和三年度豫算額 歲入 一、七〇三、一一

歲出 二、二五八、七六

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金二百圓 縣費補助金 昭和二年度

目的及事業種類

イ、目的 矯風會ノ三大目標ニ從ヒ社會ノ教化ニ勉ム

ロ、事業 一、教育部 學生ホームヲ開キ學生ノ思想善導及身心ノ健全ナル發達ニ勉ム

二、禁酒部 禁酒教育及ヒ宣傳ヲ目的トス

三、家庭部 生活改善及向上ニ必要ナル講演會ヲ開ク

四、救濟部 診療所ヲ設ケ貧民ノ施療及實費救療ヲナス

救療ヲナス

診療所ヲ設ケ貧民ノ施療及實費

救療ヲナス

會員數及分布狀況

會員數 二百十五名 縣下各地ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

役員
支會長 砂川里機
家庭部長 中澤鈴子
禁酒部長 島村藤江

救済部長 佐藤比知
 教育部長 横川トヨノ

資産（種目別）

- 一、建物 一萬圓
- 二、土地 四千八百圓
- 三、器具其他 一千五百圓
- 合計 一萬六千三百圓

維持方法

會員ノ會費、補助金及ヒ寄附金其他ノ收入ニヨル
 昭和二年年度豫算額 歳入 二、五二〇、〇〇
 昭和二年年度決算額 歳出 五、六二二、六五
 昭和三年年度豫算額 歳入 四、六五九、五八
 奨励金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）
 一千圓 慶福會ヨリ補助金 昭和二年二月十一日
 三百圓 縣ヨリ補助金 同 二年度
 三百圓 同 上 同 三年度
 三百圓 市ヨリ補助金 同 二年度

三百圓 市ヨリ補助金 昭和三年度

備考 高知縣社會事業協會ニ加盟ス

名稱 高知佛教婦人會

事務所々在 高知市追手筋本願寺別院内
 創設年月日 大正十年三月

經營主體又ハ代表者

一、經營主體 京都市西本願寺佛教聯合婦人會

口、代表者 細川順寶

沿革概要

故九條武子夫人來高ヲ機トシ佛教主義ニ依ル本會ヲ創立
 セリ

目的及事業種類

一、目的 聖旨ヲ奉體シ精神作興社會淨化ヲ目的トシ佛

教ノ信仰ヲ基調トス

備考

昭和二年九月高知縣社會事業協會ニ加入セリ

名稱 高野寺密教婦人會

事務所々在 高知市中島町高野寺内
 創設年月日 大正十一年一月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 谷 信 讚

沿革概要

弘法大師ノ鎮護國家主義ニ婦依スル婦人カ婦徳ノ涵養ト
 社會奉仕ヲ念願シテ創立シ願寡孤獨ヲ救恤シ奉仕部ニハ
 健康相談所ヲ設ケ無料ニテ健康ノ相談ニ應シツ、創立以
 來八ヶ年ヲ經過シテ今日ニ至レリ

目的及事業種類

目的事業

一、婦徳涵養

口、事業 保育事業等

會員數及分布狀況

會員數 約一千名
 縣下各地ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

一、役員

會長	今村 靜江	副會長	宮地 駒野
理事	石川 幾根		横山 糸衛
	東 元安		濱口 ゆか
	中内 丑衛		田中 丑恵
	宮地 うし		別役 房子

口、職員

事務擔當代表者 細川 順寶

資産（種目別）

金八百五十四圓 會費積立金

維持方法

會員ノ會費及寄附金

一、廢寡孤獨ノ救恤

一、健康相談

一、社會事業奉仕事業並ニ教化事業ノ助成

會員數及分布狀況

會員數 三百餘人

高知市内ヲ主トシ縣下土佐、吾川、高岡、長岡、香美ノ各郡ニ散在ス

主ナル役職名並其氏名

總理	谷 信 讚
會計	猪 野 春
幹 事	近 森 久
同	門 脇 桃 枝
同	山 崎 浪
同	橋 本 糸

資産 (種目別)

金七百圓 現金預金

維持方法

會員ノ會費、高野寺ヨリノ補助金、特志家ノ寄附金ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 三、八〇、〇〰

昭和二年度決算額 歳出 三、八〇、〇〰

昭和三年度決算額 歳入 四、五〇、〇〰

昭和三年度決算額 歳出 四、五〇、〇〰

名稱 嶺北教化團

事務所所在地 長岡郡本山町本山

創設年月日 大正十三年十一月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 高木孫四郎

沿革概要

歐洲大戰後世界ノ人心動搖シ思想界ノ混亂スルヤ國民精神作興ノ詔書喚發セラル是ニ於テ之カ御聖旨ニ基キ思想善導ノ方法ヲ講センコトヲ期セシモ未タ具體的ニ實現シ

會員數及分布狀況

普通會員 六十名 名譽會員 十名

土佐郡四ヶ村 長岡郡七ヶ町村ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

團長	高木孫四郎
支部長	平石男守
同	高石竹六
幹事	楠島正之
同	小笠原敬之
同	宮本甫

維持方法

會員ノ分賦金 其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 五〇、〇〰

昭和二年度決算額 歳出 五〇、〇〰

和昭三年度決算額 歳入 五〇、〇〰

和昭三年度決算額 歳出 五〇、〇〰

目的及事業種類

イ、目的 本團ハ一致シテ左ノ目的遂行ヲ期ス

ロ、事業 一、敬神思想ノ普及徹底

二、思想善導

三、團員ノ親睦

四、智徳ノ並進

五、弊害ノ矯正

六、迷信ノ打破

能ハサルトキニ方リ本山警察署長北代實氏來任セララル、ニ會セリ仍テ謀ルニ此事ヲ以テス北代署長モ亦既ニ憂慮セララル、所アリ爲ニ之カ實現ニ斡旋盡力セラレ具體的方
法トシテ神道各派教師並ヒニ之カ關係者ニ依リテ大正十三年十一月五日ヲ以テ設立シ嶺北教化團ト名稱セリ
爾來幾星霜ヲ經過シ命脈存シテ今日ニ至レリ其間本山警察署長並ヒニ大篠警察署長ハ後援者トシテ援助セララル
高知縣社會事業協會成立スルニ及ヒ之ニ加盟セリ

名稱 高知縣漁村成人教育協會

事務所所在地 高知市九反田 高知縣水產會内

創設年月日 昭和二年八月二十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 堀内輝重

沿革概要

堀内輝重、横山登志丸、生城重龜ノ諸氏等漁村成人教育ヲ痛感シ縣下ノ町村長小學校長青年會長水產會役職員漁業組合職員官吏會社員等四百三名ノ同意ヲ得テ昭和二年八月二十四日本協會ヲ設立ス昭和二年十二月ヨリ事業ヲ開始シテ今日ニ至ル高知縣社會事業協會ノ設立セラル、ヤ之ニ加盟セリ

目的及事業種類

イ、目的 高知縣ニ於ケル漁村ノ成人ニ公民教育ヲ施シ職業ニ關スル智識ヲ涵養スルヲ目的トス

ロ、事業 一、印刷物ノ刊行(新聞發行)

二、講習講話會ノ開催

三、育英ニ關スル事項

四、其他目的ヲ達スルニ必要ナル事項

會員數及分布狀況

會員數 一、六〇〇名

縣下各漁業組合員有志加入ス

主ナル職役名並其氏名

イ、役員

理事長 堀内輝重

理事 秋山俊一郎 岡田音吉

生城重龍 河村兵三

川添爲一 北川克郎

野田松平 和田秀政

中川喜義

常務理事 龜谷滋夫

ロ、職員

幹事 來栖大助

資産 (種目別)

一、有價證券 五百圓

一、器具其他物品 二百圓

維持方法

會費、補助金、寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和三年度豫算額 歳入 五、〇七五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

四百圓 高知縣水產會ヨリ補助金 昭和三年度

二百圓 同 安藝郡水產會ヨリ補助金 同 三年度

百五十圓 同 高岡郡水產會ヨリ補助金 同 三年度

一百圓 同 幡多郡水產會ヨリ補助金 同 三年度

九州

宮崎縣教化事業協會	福岡縣社會教育協會	大分縣教化團
<small>(加載團體)</small>	<small>(加載團體)</small>	
三五	八六	

名稱 大分縣教化團

事務所所在地 大分市大分縣廳社會課內

創設年月日 昭和二年九月九日

經營主體又ハ代表者 代表者 大野元

沿革概要

昭和二年三月九日大分縣教化關係代表者會合シテ大分縣教化團組織ノ件ヲ議決シ委員二十八名ヲ舉ケテ規約制定及第一回總會ニ至ル迄ノ各種事項ノ決定權ヲ與ヘタリ、依テ同年六月廿一日委員會ヲ開キ規約ヲ制定シ團員募集ノ手續ヲナシ同九月九日第一回總會ヲ開催セリ

目的及事業種類

イ、目的 本團ハ國民精神作興ニ關スル詔書及昭和元年十二月朝見ノ御儀ニ際シ下シ賜ヘル勅語ノ聖

旨ヲ奉戴シ其ノ普及徹底ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、各地ニ講演會ヲ開催スルコト
- 二、講師ノ派遣請ニ應スルコト
- 三、團員修養ノ爲又ハ戶主、主婦、青年、處女、等指導ノ爲講習會ヲ開催スルコト
- 四、各種ノ調査ヲ爲スコト
- 五、中央教化團體聯合會ト相策應シテ活動ヲ圖ルコト
- 六、教化事業功勞者ヲ表彰スルコト
- 七、其他本團ニ於テ必要ト認メタル事項

會員數及分布狀況

西國東郡	三五人	東國東郡	四一人
速見郡	六三人	大分郡	七五人

北海部郡	二五人	南海部郡	二三人
大野郡	五〇人	直入郡	四七人
玖珠郡	二二人	日田郡	一九人
下毛郡	五九人	宇佐郡	一〇一人
大分市	二四人	別府市	四人
合計	五八八人		

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員
- 團長大野 元 專任理事 山内 隆一
 - 理事 到津 公熙 同 小野 次郎
 - 同 荷堂 弦 同 奥 大拙
- ロ、職員
- 幹事 小野 由之丞

維持方法

國貨、補助金、奨励金其他ノ收入ニヨル

昭和三年度豫算額	歳入	二、二五四、〇〇
	歳出	
奨励金並補助金下附ノ有無	(昭和二、三年度)	
四百圓	中央教化團體聯合會ヨリ	昭和三年度
千五百圓	大分縣ヨリ	同 三年度

名稱 福岡縣社會教育協會

事務所所在地 福岡縣廳社會教育課内
 創設年月日 昭和二年七月十五日
 經營主體又ハ代表者 代表者 齋藤 守 園
 沿革概要
 一、本會設置ノ經過
 昭和二年三月十四、十五兩日福岡縣第一公會堂ニ於テ開催シタル第一回社會教化關係者協議會ニ於テ本

縣知事ノ諮問事項「社會教育指導者相互ノ聯絡提携ヲ密接ニシ今一層教化ノ徹底ヲ期スルニ適切ナル方法如何」ニ對シ次ノ如ク答申セラレタリ

答 申

諮問事項ニ對シテハ諸多ノ方法アルヘシト雖本縣ノ現状ニ鑑ミ別紙會則ノ如キ社會教育聯合會ヲ組織スルヲ以テ最モ適切緊要ナリト認ム(別紙會則略)

此ニ於テ縣ハ右答申ノ趣旨ニ基キ本縣社會教育協會ノ設立ヲ企圖シ、七月十五日福岡縣立圖書館ニ於テ創立委員會ヲ開催シタリ。該委員會ハ各種學校代表者各種教化團體代表者、各市代表者及特志者等三十九名ヲ網羅セラレ熱心協議ノ結果別項ノ通本會々則ヲ決議シ同時ニ本會ノ成立ヲ見ルコト、ナレリ
 七月廿九日更ニ同圖書館ニ於テ特ニ各郡市ノ教育會

目的及事業種類

イ、目的

國民道德ヲ基調トシテ思想ノ善導並生活ノ向上ヲ圖ル爲各團體相互ノ聯絡提携ヲ緊密ニシ教化ノ普及徹底ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、社會教育ノ聯絡統制ニ關スルコト
- 二、社會教育ノ奨励援助ニ關スルコト
- 三、社會教育ノ調査研究ニ關スルコト
- 四、講演會、講習會等ノ開催ニ關スルコト

五、其他前條ノ目的ヲ達スルニ必要ナルコト

會員數及分布狀況

加入團體名	團體員數	加入團體名	團體員數
遠賀郡			
聯合青年團	二、二七八	阿垣村青年團	三〇七
鳥門村青年團	一三〇	香月村青年會	二五〇
芦屋町青年團	二〇〇	聯合處女會	一、三三一
阿垣村處女會	二〇〇	鳥門村處女會	一一〇
香月村處女會	一〇〇	芦屋町處女會	一三〇
鳥郷村處女會	一一三	鳥郷村青年團	二〇二
折尾町處女會	二四〇	折尾町青年團	二八〇
淺木村青年團	六五	上津役村處女會	七五
上津役村青年團	一二〇	底井野村處女會	六〇
底井野村青年團	九六	横山村青年團	二四〇
福島町青年會	二一五		
糸島郡			
野北村處女會	一一二	可也村處女會	一六〇

櫻井村處女會 六五 前原町處女會 九〇

糸島郡處女會 二、〇五七 芥屋村處女會 一二〇

宗像郡 勝野村青年團 一一三

朝倉郡 三輪村處女會 二二五

筑紫郡 太宰府町處女會 一〇一 日佐村處女會 八五

水城村處女會 八〇 大野村報徳青年團 一八五

田川郡 大野村報徳處女會 一一二

安真木村青年團 一一一

企救郡 東郷村青年團 一三〇 東郷村主婦會 九〇

東郷村處女會 一八九 西谷村青年團長行支部 一二〇

松ヶ江村青年團 二二〇 松ヶ江村處女會 二〇五

三井郡 大城村青年團 一三〇 高良内青年團 一六二

立石村青年團 一二七 弓削村青年團 一一〇

泉村處女會 仲津村青年團 七〇

柏屋郡 祓郷村處女會 二九

香推村處女會 一〇〇 仲原村青年會 一二七

福岡市 仲原村處女會 七〇

千代町處女會 一三〇

個人申込者 筑紫郡南畑處女會會長 筑紫郡水城村青年會

主ナル役職名並其氏名 會長 齋藤 守 園

副會長 古川 靜 夫 同 林田 春次郎

理事長 宮村 才一郎 同 安藤 謙 治

理事 中里 喜一 同 野見 山俊次

同 安河内 健兒 同 小鹽 熊次郎

同 杉本 勝次 同 中野 昇

同 正木 貞次郎 同

御原村青年團	一〇〇	山本村青年團	一一九
太刀洗青年團	二二〇	善導寺村青年團	二〇八
北野町青年團	二〇〇	宮ノ陣村處女會	一七〇
三國村處女會	八五	高良内處女會	一一〇
立石村處女會	一一〇	草野町處女會	一一〇
大橋村處女會	七〇	山川村處女會	一六〇
北野村處女會	一三六	大城村處女會	一四〇
大堰村處女會	九五	上津荒木村處女會	一〇〇
弓削村處女會	九〇	山本村處女會	一〇〇
合川村處女會	一三一	御原村處女會	七七
善導寺村處女會	一三〇	金島處女會	一〇六
本郷村處女會	一七〇	太刀洗處女會	一七〇
味坂村處女會	八〇	大橋村青年團	一七一
草野町青年團	一〇五	山川青年團	二三〇
三國青年團	一二〇		
築上郡			
山田村青年團	一二六		
京都郡			
久保村處女會	九三	泉村主婦會	

理事	和田クニ子	同	野上源造
同	川端久五郎	同	溝口トシ子
同	白坂榮彦	同	河野富太郎
同	芳賀由次郎	同	小田鐵次郎
同	末岡作太郎	同	是石慶次郎
同	橋本元吉	同	織田百郎
同	立石仙六	同	大森達
同	鶴岡光次	同	勝野重吉
同	有吉半祐	同	田邊敏夫
同	吉田廣成	同	藤吉卯次郎
同	日巡伸次郎	同	佐藤準藏
同	石橋襄	同	戸島紀光
同	甲斐田毅	同	戸次純一
同	合屋武城	同	外山楨次郎
同	林龜次郎	同	大森藤藏
同	島田又太郎	同	檜崎廣之助

理事 栗生又太郎
書記 江口三吉 同 窪山貞次郎
同 中野 湊

維持方法
縣費補助其他
昭和三年度豫算額 歳入 一、七〇〇、〇〇〇
歳出 〇
奨励金並補助金下附の有無 (昭和二、三年度)
千六百圓 縣ヨリ補助金 昭和三年度

名稱 社團法人福岡縣神職會
事務所所在地 福岡市藥院堀端七番地
創設年月日 大正三年三月三十日
經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人
口、代表者 齋藤守因

沿革概要

從來神職督務所トシテアリシモノヲ大正二年內務省訓令ニ基キ同年七月十六日付ヲ以テ社團法人組織ニ改メ出願シ大正三年三月三十日附ヲ以テ許可セラレ

目的及事業種類

イ、目的 大正二年四月內務省訓令第九號官國幣社以下神社神職奉務規則ノ趣旨ニ基キ學術ヲ獎勵シ德義ヲ涵養シ國家ノ禮典ヲ明ニシ神社ノ隆盛斯道ノ發展ヲ計ルヲ目的トス
口、事業 一、國體ヲ辨明ニ皇室ノ尊嚴ヲ發揚スルタメ講演會ヲ開催ス

- 二、神職子弟ヲ養成スルコト
- 三、神職ノ學術祭式ノ傳習等ヲ行フコト
- 四、皇典講究所ノ事業ヲ翼賛スルコト

會員數及分布狀況
二十七支會

縣下八市十九郡ニ支會一ヶ所宛アリ
會員數 四百五十名

主ナル役職名並其氏名

會長	齋藤守因
副會長	古川靜夫 同 西高辻信稚
理事	淨見秋夫 同 田部善憲
同	山口徹雄 同 行弘 糺
同	山内勝太郎 同 箕田政秀
常任理事	山田靜雄 同 幡掛正木
幹事長	谷達太郎
幹事	長崎次助 同 松尾 募
書記	四名 講師 八名

資産 (種目別)
宅地 二百六十四坪
建物 九十五坪
基本金 一萬八千六百四十八圓
維持方法

補助金會員及神社負擔金ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一八、二七六、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一五、七四八、〇六

昭和三年度豫算額 歳入 二〇、一〇一、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

二千五百五十六圓 縣費補助金 昭和二年度

二千五百五十六圓 同 上 同 三年度

備考

一、映畫班ヲ設置シ縣下各町村ヲ巡回思想善導ノ目的ヲ以テ活動寫眞會ヲ開催ス

二、神職養成所現在生徒數三十名アリ

名稱 大日本佛教濟世軍

事務所所在地 八幡市西本町七丁目

創設年月日 大正四年十一月十日 (大正天皇御大典記念)

經營主體又ハ代表者 **イ、經營主體 軍團組織**

ロ、代表者 眞田慶順

沿革概要

前主管文學士眞田增丸氏其ノ母堂ノ念願及ヒ顧問役タル前田慧雲博士ノ勸メニヨリ初メテ八幡市ニ本軍ヲ創設スルヤ折柄同八幡市ノ勞働階級ノ人々日々過重ナル勞務ニ追ハレ精神ノ糧ヲ得ルニ術ナク爲ニ人心ハ嶮シク荒ミ或ヒハ疲レ居ルヲ歎シ即チ之等ノ人々ヲ其ノ歸途ノ路傍ニ待チ迎ヘ眞ノ慰安ト希望ト活力ヲ與フヘク誠心誠意傳道ニ盡瘁シタリ氏ノ熱誠ト其ノ至情トハ遂ニ八幡市民全體ヲ動カシ漸ク集ル者多ク幾程モナク八幡市唯一ノ教化團體トシテ認メラル、ニ至レリコ、ニ於テ其ノ教勢ハ九州一圓ニ及ヒ中國四國ニ亘リ大正八年東京傳道ヲ敢行スルニ及ヒ遂ニ全國的ニ社會教化ノ歩ヲ進ムルニ至レリ。次デ社會事業方面ニ歩ヲ進メ孤兒院、免囚保護會等ヲモ創立シ尙幼稚園、日曜學校、女學校等ヲモ設立シテ益々社

會教化ノ實ヲ舉ケタリ。大正十五年二月十七日主管眞田增丸氏逝去ニ付キ舍弟眞田慶順氏主管トナリ支部ヲ統率シテ専ラ社會教化ニ務メ益々其ノ教勢ヲ擴張シ實績ヲ擧ケツ、アリ

尙釋放者保護會ニハ數回宮内省御下賜金アリタリ

目的及事業種類

イ、目的

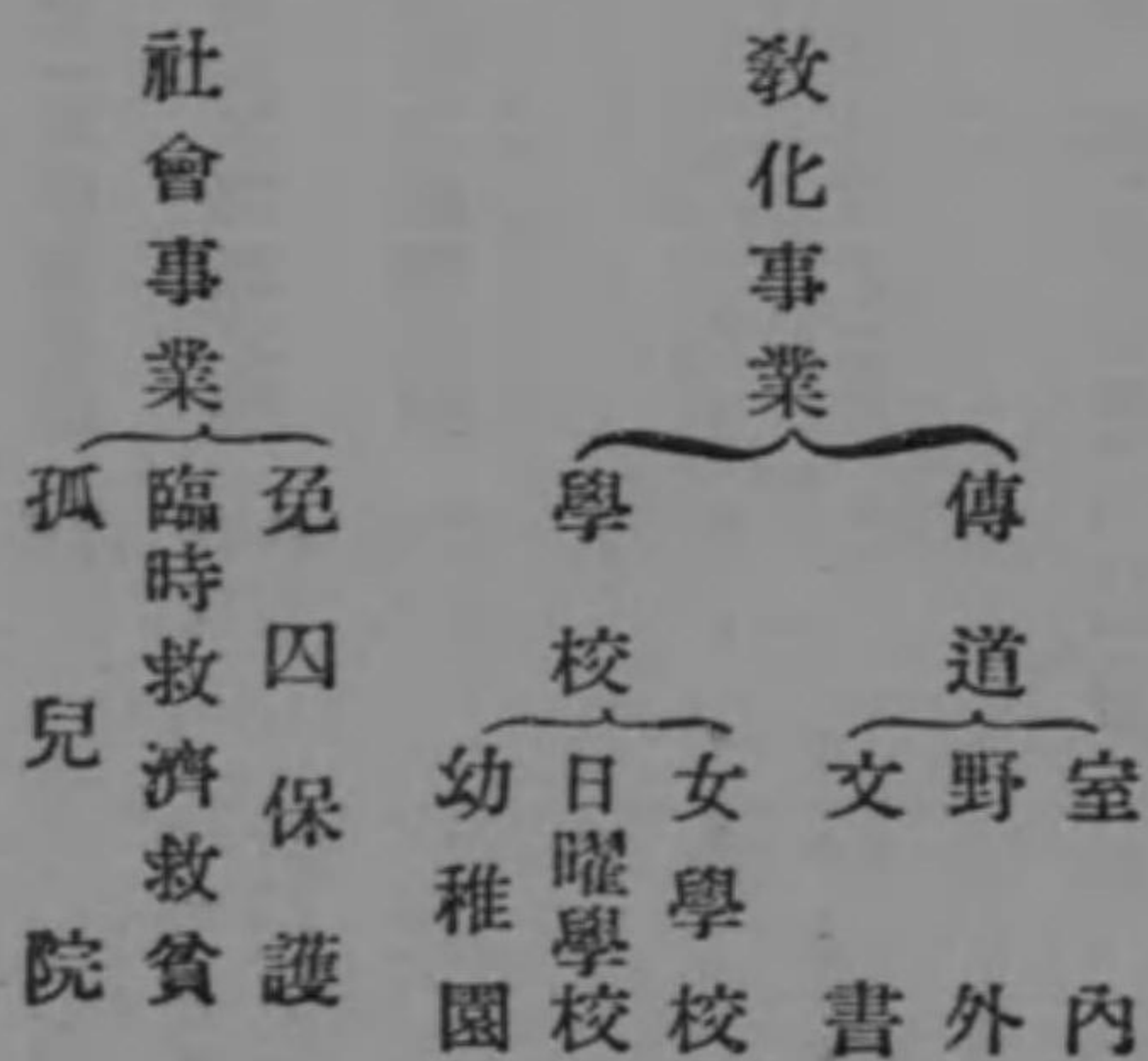
宣言

- 一、天照大神ヲ敬シ奉ルコト
- 二、歷代天皇ノ御遺訓ヲ遵守スルコト
- 三、忠君愛國ノ精神ヲ發輝スルコト
- 四、父母ニ孝道ヲ盡スコト
- 五、聖德太子ノ御遺訓ニ依リ厚ク佛法ヲ信シ濟世利生ノ天職ヲ全フセシコトヲ期スヘキコト

本領

ロ、事業

- 一、佛陀慈光ヲ世界ニ輝カシ以テ全人類ヲ救済スルコト
- 二、學問ハ傳教ノ如ク、事業ハ弘法ノ如ク、修養ハ道元ノ如ク、念佛ハ法然ノ如ク、信仰ハ親鸞ノ如ク、傳道ハ日蓮ノ如クスヘシ



會員數及分布狀況

軍人數 約十一萬人 (各支部通)

九州一圓、四國地方、中國地方、近畿地方、東京附近、朝鮮、

其他

支部数 七十四ヶ所

主ナル役職名並其氏名

主管 眞田 慶順
 顧問 前田 慧雲
 同 高楠 順次郎
 傳道部長 豊島 龍象
 傳道員 二十八名 支部長 七十四名

職員

幹事、評議員、會計、各本部支部ニアリ

資産 (種目別)

一、建物 一、本部事務所 三千五百圓
 二、土地 九千圓
 三、器具其他物品 一千圓
 四、印刷物 一千五百圓
 合計 二萬九千圓

維持方法

本軍發行ノ雜誌著書ノ販賣、各軍人ノ喜捨金、有志ノ寄附金 其他ニ依ル

昭和二年度決算額 歳入 一〇、〇〇〇、〇〇
 歳出 一一、七四九、〇〇
 昭和二年度決算額 歳入 一二、八六〇、〇〇
 歳出 一三、〇〇〇、〇〇
 昭和三年度決算額 歳入
 歳出

名稱 豊筑禁酒同盟會

事務所所在地 鞍手郡直方町大字直方五八五
 創設年月日 大正六年一月
 經營主體又ハ代表者 四宮友一
 沿革概要

各種教化團體カ官公邊ト民間ノ限ラレタル人士ニ依テ起サル、場合多ク其設立ノ精神甚タ可ナレトモ一般民衆ノ

幹事 向井 安 嗣

資産 (種目別)

一、基金 本 一百圓
 二、宣傳用器具及物品 二百五十圓
 三、印刷物 五十圓
 合計 四百圓

維持方法

寄附金及會費ノ收入ニ依ル
 昭和二年度決算額 歳入 三五〇、〇〇
 歳出 一九五、〇〇
 昭和二年度決算額 歳入 一七八、〇〇
 歳出 三〇〇、〇〇
 昭和三年度決算額 歳入
 歳出

名稱 興風會

事務所所在地 八幡市通町十一丁目假事務所華頂寺
 創設年月日 大正十三年一月廿六日

實生活ニ觸レサル點多キヲ遺憾トシ教化ノ必要尤モ切實ナル民衆ヲ基礎トシテ設立シタリ爾來郡内外ニ六個ノ團體ヲ私立セシメ漸次斯業ニ對スル理解ヲ促進シツ、有リ

目的及事業種類

イ、目的 酒精飲料ヲ國禁トシ以テ社會事故及社會貧ヲ整理絶滅セントス
 口、事業 一、酒會教育
 二、禁酒實行ニ關スル指導
 三、出張講演及映畫利用

會員數及分布狀況

正會員 六十一名
 賛助員 二十五名
 主ナル役職名並其氏名
 會長 現在 欠員
 幹事 四宮 友一
 同 高島 貞久

經營主體又ハ代表者 代表者 大 西 武
沿革概要

歐洲戰亂後動搖セル世界思潮ノ影響ヲウケ我國ノ思想界
カ日一日惡化スルノ傾向ヲ痛歎スルノアマリ大正十三年
一月廿六日攝政宮御成婚ヲ記念シ奉リ大ニ皇室中心主義
ヲ宣揚シテ人心ノ歸趨ヲ正シウシ民風ヲ作興セントシテ
普ク各種階級ノ代表的有志廿四名ヲ發起者トシ性別年齡
職業ヲ問ハス會員ヲ糾合シ本會ヲ創設セリ創立記念日ニ
因ミ毎月廿六日ヲ例會日トシテ講演會ヲ開催シ毎年一月
廿六日創立記念日九月一日震災記念日並ニ臨時ニ大講演
會ヲ開催セリ會則ヲ改ムルコトニ回漸次世話人ノ數ヲ増
加シ現在五十二名ニ及フニ至ル本會ノ隆盛ト共ニ本會ノ
趣旨ハ市當局並ニ製鐵所一般市民ノ理解ト共鳴トヲ得次
第二普及徹底シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 皇室中心主義ニヨリ同志ヲ糾合シ忠孝ノ大義

ヲ闡明シ精神ノ修養ヲナスト共ニ民風ノ作興

ニカムルヲ目的トス

- 口、事業
- 一、名士ノ講演及會員ノ感話
 - 二、講習會
 - 三、會報其他印刷物ノ發行
 - 四、其他適切ト認ムル事業

會員數及事業種類

會員數 五〇〇名

分布狀況 八幡市一般 特ニ共鳴シタル市外有志

主ナル役職名並其氏名

- 常務世話人 大 西 武 南部 謙吉
柳澤 治 幸 懸橋 鐵造
坂本 弘義 井上 正信
田中 次郎 大石 節義
秋山 榮造 千々和 寶天
柴田 重太郎 佐藤 庄次郎

市川 哲太郎 大村 虎太

資産 (種目別)

器具其他物品 一〇〇圓

維持方法

大部ハ世話人ノ餘金ヲ以テシ一部ハ會員及篤志者ノ寄附金ニヨ
ル

昭和二年度豫算額	歳入	七四一、八一〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	三七〇、九〇五
	歳出	
昭和三年度豫算額	歳入	八五二、八四〇
	歳出	

名稱 福岡縣聯合青年團

事務所々在 地 福岡市天神町ノ一福岡縣廳内

創設年月日 大正十四年十月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 齋 藤 守 岡

沿革概要

大正十四年五月兩陛下御結婚二十五年御祝儀ニ際シ男女
青年團體事業獎勵ノ思召ヲ以テ恩賜金ヲ給フヤ長官ハ代
表者ヲ參集セシメ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘキ方途ヲ協議
シタル結果縣聯合青年團ノ組織ト相成今日ニ於テハ其ノ
會員數三萬百五十七名ヲ算スルニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本團ハ青年團ニ對スル令旨ノ趣旨ニ遵ヒ縣内

各都市青年團ノ連絡統一ニ努メ其ノ向上發展

ヲ圖ル

口、事業 一、青年團事業ノ助成獎勵及研究調査ヲナス

一、講習會、講演會、體育會、展覽會等ヲス

一、印刷物ノ刊行及配布見學視察等ヲス

一、表彰ヲナス

會員數及分布狀況

本團支團左記ノ通り

築上郡聯合青年團	福岡市聯合青年團
三井郡聯合青年團	久留米市聯合青年團
遠賀郡聯合青年團	三潯郡聯合青年團
門司市聯合青年團	鞍手郡聯合青年團
八女郡聯合青年團	小倉市聯合青年團
嘉穂郡聯合青年團	山門郡聯合青年團
若松市聯合青年團	朝倉郡聯合青年團
三池郡聯合青年團	大牟田市聯合青年團
筑紫郡聯合青年團	八幡市聯合青年團
糸島郡聯合青年團	企救郡聯合青年團
戸畑市聯合青年團	早良郡聯合青年團
田川郡聯合青年團	糠屋郡聯合青年團
浮羽郡聯合青年團	京都郡聯合青年團

主ナル役職名並其氏名

1、役員

團長	知事 齋藤 守 因
副團長	部長 古川 靜 夫
同	福岡高等學校長 秋吉 晋 次

理事長	課長 宮村 才 一 朗
理事	視學官 安河 内 健 次
同	市視學 今村 貞 太 朗
同	社會教育主事 野見 山 俊 次
同	社會教育主事 小鹽 熊 次 朗
同	同 杉 本 勝 次
口、職員	
專任主事	山 口 勇
書記	三 好 政 雄

資産（種目別）

一、基本金	十一萬五千七十五圓
一、器具其他	三十二圓八十錢
一、印刷物	二百圓
合計	十一萬五千三百七圓八十錢

維持方法

補助金獎勵金及其他ノ收入	歳入
昭和二年度豫算額	歳出
	三、一六七、〇〇

昭和二年度決算額	歳入	三、四〇一、〇〇〇
	歳出	三、三六二、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	三、三九一、〇〇〇
	歳出	三、三九一、〇〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）		
三百四十四圓	縣補助金	昭和二年度
三百三十九圓十錢	同	上
同	同	三年度

備考

金三萬圓	御下賜金
金八萬五千七十五圓	縣補助金

名稱 福岡縣聯合處女會

事務所所在地 福岡市天神町ノ一福岡縣廳内
 創設年月日 大正十四年十月十一日
 經營主體又ハ代表者 代表者 齋藤 守 因
 沿革概要
 大正十四年五月兩陛下御結婚二十五年ノ御祝儀ニ際シ男

女青年團體事業獎勵ノ思召ヲ以テ思賜金ヲ賜フヤ長官代表會ヲ開催シ聖旨ノ普及ト其ノ徹底トヲ圖ルヘキ方途ヲ協議シタル結果縣聯合處女會ノ組織成リ今日三萬百五十七名ヲ算スルニ至ル

目的及事業種類

1、目的 本會ハ縣内各郡市處女會ノ連絡統一ニ努メ其ノ向上發展ヲ圖ル

口、事業 一、處女會事業ノ助成獎勵及ヒ研究調査ノコ

ト 一、講習會、講演會、體育會及展覽會ヲナス
 表彰等ヲナス
 一、印刷物ノ刊行、配布、見學、視察

會員數及分布狀況

本會支會數ト支會名	
福岡市聯合處女會	築上郡聯合處女會
久留米市聯合處女會	門司市聯合處女會
小倉市聯合處女會	若松市聯合處女會

大牟田市聯合處女會	八幡市聯合處女會
戸畑市聯合處女會	棟屋郡聯合處女會
遠賀郡聯合處女會	宗像郡聯合處女會
鞍手郡聯合處女會	嘉穂郡聯合處女會
朝倉郡聯合處女會	筑紫郡聯合處女會
糸島郡聯合處女會	早良郡聯合處女會
浮羽郡聯合處女會	三井郡聯合處女會
三浦郡聯合處女會	八女郡聯合處女會
山門郡聯合處女會	三池郡聯合處女會
企救郡聯合處女會	田川郡聯合處女會
京都郡聯合處女會	

主ナル役職名並其氏名

1、役員

團長	知事齋藤守因
副團長	部長古川靜夫
同	福岡女師校長杉野三次郎
理事長	課長宮村才一郎
理事	視學官安河内健次

理事	市視學 今村貞太郎
同	教育主事 小鹽熊次郎
同	社會教育主事 野見山俊次
同	杉本勝次
口、職員	
專任主事	山口勇
書記	三好政雄
資産(種目別)	
一、基本金	十萬五千七十五圓
一、器具其ノ他	三十八圓
一、印刷費	二百圓
合計	十一萬三千十三圓
維持方法	
補助金	
昭和二年度豫算額	歳入 一、〇七九、〇〇
昭和二年度決算額	歳入 二、五〇二、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入 二、七八〇、〇〇
	歳出

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

二百五十四圓二十錢	縣補助金	昭和二年度
二百七十八圓	同上	同 三年度

備考

恩賜金	三萬圓
縣補助金	八萬五千七十五圓

名稱 少年團福岡縣聯盟

事務所所在地 福岡市地行西町福岡高等豫備學校内
 創設年月日 大正十四年十一月二十二日
 經營主體又ハ代表者 代表者 西川虎次郎
 沿革概要

大正十四年十一月福岡市ニ於テ創立總會ヲ開キ規約ヲ議定ス當時聯盟團數十六團ナリ翌十五年八月門司市ニ於テ第二回總會ヲ開キ規約ニ小改正ヲ行フ爾後毎年一回總會

ヲ久留米市及ヒ田川郡金田町ニ開キ目下加盟團數四十三ヲ算スルニ至ル

昭和三年四月福岡縣知事齋藤守因ヲ名譽團長ニ推薦セリ
 目的及事業種類

イ、目的 少年團日本聯盟ト連繫ヲ保チ加盟團相互ノ聯絡統一ヲ圖リ其發達ヲ助長スルニアリ

ロ、事業 一、少年團ノ輔導誘掖
 二、大會講演會講習會等ノ開催
 三、少年團事業ノ研究調査

會員數及分布狀況

少年團福岡縣聯盟加盟團體	
田川郡金田町少年義勇團	三浦郡青木小學校兒童自治會
京都郡岸川村三禮少年團	福岡市西濱町少年團
福岡市矢倉門少年團	門司市葛葉少年團
三井郡御井町少年團	福岡市下金屋町少年團
早良郡姪濱當方少年團	福岡市外三角少年團
粕屋郡上須惠少年團	小倉市田町三丁目少年團

早良郡延濱北小路少年團 久留米市京町京洗少年團
 小倉市田町六丁目少年團 早良郡延濱東町海洋少年團
 門司市白木崎自律健兒隊 福岡市箕子町中央少年團
 小倉市紺屋町曙少年團 小倉市田町二丁目藤山少年團
 八幡市双葉少年健兒隊 小倉市大門町少年團
 糸島郡怡土村小學校少年團 八幡市枝光山王町少年義勇團
 小倉市西銀冶町少年團 福岡市下厨子町冷泉少年團
 同市上金屋町少年團 小倉市板櫃村大字葉園少年團
 鞍手郡直方町少年團 小倉市京町三丁目早起少年團
 小倉市堅町少年團 同市山起町第一昭和少年團
 田川郡伊田魚町嶽陽少年團 小倉市西魚町少年團
 同市室町常盤少年團 福岡市薄柳町紅葉少年團
 小倉市聯合少年團 久留米市花畑義勇少年團
 八幡市丸山町丸山少年團 八幡市有明町三丁目華尾
 門司市白木崎六丁目 八幡市丸山町三丁目貴船健兒隊
 西門司少年團

主ナル役員名並其氏名
 名譽團長 齋藤 守 園
 團 長 西川 虎 次 郎
 理事長 牧 瀬 太 郎

理事 川崎 舟平 同 鹿子島喜作
 同 野見山軍太郎 同 柳 澤 勇
 同 古村正樹 同 宮 澤 弘
 同 本 村 昇
 監事 上野利三郎 同 草 刈 雄 治
 同 福 永 初 造 同 木 本 重 一
 顧問 板垣政參 同 岩松德太郎
 同 橋本良英 同 西原茂太郎
 同 時實秋穂 同 大原義剛
 同 河原治作 同 内野辰次郎
 同 梅田岩樹 同 箕 田 貢
 同 白 水 淡 同 生 田 日 光
 同 神崎慶次郎

維持方法
 寄附金及加盟各團ノ融金ニ依ル
 昭和二年度決算額 歳入 一〇七、八七
 歳出

昭和二年度決算額 歳入 一〇七、八七
 歳出
 昭和三年度決算額 歳入 一二三、二七
 歳出
 昭和三年度決算額 歳入 一〇三、二七
 歳出 一〇三、六六
 昭和四年度決算額 歳入 一二二、六一
 歳出

名 稱 財團法人修養園九州聯合會

事務所所在地 福岡市地行東町四番丁七一八九ノ二
 創設年月日 大正十五年九月十五日
 經營主體又ハ代表者 代表者 西原茂太郎
 沿革概要
 大正十五年始メ組織ノ議ナリ八月第一回全九州婦人講習會ヲ阿蘇山上ニ開キ九月十五日日本部ニ申請支部設立ヲ確定シ十月修養園長平沼男爵ヲ迎エテ八女中學校ニ支部發會式ヲ舉行ス

昭和二年八月第二回中堅婦人講習會同三年八月第三回中堅婦人講習會及社會教育指導者講習ヲ何レモ阿蘇山上ニテ開ク、二年五月及三年十月大會ヲ開キ二年十月團旗樹立式ヲ舉行ス

目的及事業種類
 大會、講演會、講習會ノ開催、縣聯合會各支部ノ指導聯絡統一、機關雜誌ノ發行、講師ノ派遣、指導者ノ養成、社會教育ノ促進
 社會教育ノ促進
 會員數及分布狀況
 縣聯合會ノ組織ナレモノ鹿兒島、長崎、福岡、熊本ノ四縣トス縣聯合會ナキ所ハ郡單位ニテ加入ス
 各工場支部ハ直接加盟ス
 支部ナキ所モ一般社會教育事業トシテ講習講演ノ求メニ應シ汗愛主義ノ氣風ヲ作興シツ、アリ
 主ナル役員名並其氏名
 會 長 西原茂太郎
 理事長 白土千秋

常務理事 坂本昌之
理事 中野昇 同 森田判助
同 麻生義之介 同 濱田壽一

維持方法
加盟團體ノ離出金ヲ以テスルモノナルモ當分事業施行ノ都度臨時ニ徵收シ又寄附金ヲ以テ充ツ

名稱 福岡縣體育協會

事務所所在地 福岡市天神町一福岡縣廳
創設年月日 昭和二年五月三十日
經營主體又ハ代表者 齋藤守 園

沿草概要
體育團體相互ノ聯携ヲ保チ縣下體育ノ實ヲ擧ケンカ爲ニ官民一致ノ團體トシテ昭和二年五月三十日ヲ以テ本協會ハ創立セラレタルヲ將來本縣體育ノ中樞機關トシテ

大成ヲ期スヘク目下縣下ニワタリ會員募集ニカメ大ニ之カ伸長ヲ圖ツテキル昭和三年度ヨリ縣費千五百圓ノ補助ヲウケ爾來活動ノ歩ヲ進メツ、アリ

目的及事業種類
イ、目的 本會ハ福岡縣下ニ於ケル體育ノ普及振興ヲ圖ルヲ以テ目的トス
ロ、事業 一、體育團體ノ助成並ニ體育上ノ調査研究ニ關スル事項

一、講習會、講演會、實地指導ニ關スル事項
一、各種體育運動競技ニ關スル事項
一、體育設備ノ獎勵ニ關スル事項
一、會誌ノ刊行及配布ニ關スル事項
一、其他體育上ニ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況
會員ハスヘテ賛助員ノ格ニシテ正會員ヲ有セス
主ナル役職員並其氏名

會長 齋藤守 園
副會長 古川 靜 夫
理事長 宮川才一郎
理事 正木貞二郎 同 白坂榮彦
同 森 繁 同 竹若敬次郎
同 藤吉喜一郎 同 松葉清右衛門
同 小管傳吉 同 藤本鐵男
同 福邑義生 同 中村義郎
同 木村哲郎 同 堀 五之助
同 坂本一平 同 吉村好兵衛
書記 福田榮次郎

維持方法
縣費補助

昭和三年度豫算額 歲入 一、八〇一、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無 歲出

金千五百圓 昭和三年ヨリ縣補助金

名稱 宮崎縣教化事業協會

事務所所在地 宮崎縣廳社會課
創設年月日 昭和二年五月二十九日
經營主體又ハ代表者 代表者 松平外與 廣

沿草概要
昭和二年五月二十九日ノ創立ニ係リ縣下教化事業關係者ヨリ成リ設立セラレタルモ日尙ホ淺ク事業ノ見ル可キモノナケレト漸次發展ノ域ニ進ム

目的及事業種類
國民精神作興ニ關スル詔書趣旨ヲ奉戴シ中央教化團體聯合會本會加盟團體並會員ト聯絡ヲ圖リ協力一致聖旨普及徹底ヲ圖リ併テ教化事業ノ促進ヲ期ス

會員數及分布狀況
東臼杵郡自治協會 西臼杵郡自治協會

北方報德社 兒湯自治會
縣下一團=會員分布

全ナル役職名並其氏名

會長 男爵 松平外典
副會長 古城 林
理事 深見 和彦
同 押川 政行
同 木田 吉盛

維持方法

寄特金 會費 補助金 獎勵金 其他ノ收入

昭和二年度決算額 歳入 三〇七、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳出 五二、〇〇〇

昭和三年度決算額 歳入 八一〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金二百圓 中央教化團體聯合會ヨリ補助 昭和三年度

名稱 財團法人北方報德會

事務所所在地 東白杵郡北方村子三八七二

創設年月日 明治三十六年十一月三十日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社 團 法 人

ロ、代表者 林 田 進

沿革概要

明治三十五年六月五日林田進甲斐直記甲斐峯治設立ス明治三十八年二月十五日法人組織トナル昭和二年創立滿一十五年トナリ隆盛ノ域ニ達ス

目的及事業種類

イ、目的 二宮尊徳先生ノ遺法ヲ尊法シ勸儉推讓ヲ獎勵シ報徳ノ事業ヲ立ツルヲ目的トス

ロ、事業 一、自作農創設資金ノ貸與

二、社會救濟目的ヲ以テ舊債償還ニ要スル資金ノ貸與

三、公益慈善事業ノ寄附並ニ善行者徳行者褒

彰

會員數及分布狀況

社員數 七八三名

全ナル役職名並其氏名

社長 林 田 進

資産(種目別)

二千九百六十五圓五十錢 株 式
二千八百八十一圓六十錢 土 地
三千六百一十一圓七十錢 大日本報徳社預入
二萬二千二百五十九圓二十一錢 社員ノ貸付
千七百八十四圓二十八錢 其 他

名稱 財團法人 兒湯自治會

事務所所在地 兒湯郡上江村大字上江一三三三三、一三三三四

一三三三五、一三三三六、一三三三七ノ一ノイ號

全ナル役職名並其氏名

會員數及分布狀況

郡内一團

影寫

ロ、事業 民風ノ作興民力ノ涵養生活ノ改善活動寫眞ノ

體ノ援助ヲ爲シ育英事業ヲ經營ス

イ、目的 自治ノ發展社會ノ改善ヲ圖リ自治團體公益團

目的及事業種類

受ケ現今ニ至ル

一萬圓ノ交付ヲ受ケ大正十二年三月十日財團法人ノ許可

自治會ヲ設立シタルヲ郡制廢止ニヨリ兒湯郡教育會ヨリ

大正十一年十一月自治ノ發展社會ノ改善ヲ圖ルタメ兒湯

沿革概要

創設年月日 大正十二年三月十日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財 團 法 人

ロ、代表者 原 坦

理事原 坦
幹事後 藤市郎

資産(種目別)

二千九百圓 基本金

二千六百三十九圓 寄附金

名稱 財團法人 西臼杵郡自治協會

事務所所在地 西臼杵郡高千穂町大字三田井二一

創設年月日 大正十二年三月二十七日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

口、代表者 佐藤秀男

沿革概要

大正十年西臼杵郡自治協會ヲ設立シ教育ノ進展自治教育
及社會改善ノ目的ニ向テ力ヲ致シ大正十二年三月郡制廢
止ト共ニ郡有財産ノ一部ヲ以テ財團法人ヲ設立セルモノ

トス

目的及事業種類

イ、目的 自治ノ發展社會ノ改善

口、事業

一、生徒學資補給

二、民力涵養活動寫真會

三、精神作興ニ關スル詔書印刷物配布

會員數及分布狀況

郡内一圓

主ナル役職名並其氏名

理事 佐藤秀男

主事 尾形佐市郎

資産(種目別)

五千三百六十七圓七十九錢

五萬二千五百三十圓

九萬八千六百四十六圓

獎勵金並補助金下附ノ有無

昭和二年度二百圓肥福會ヨリ補助

現金 土地 樹木

東北・北陸

岩手縣
山形縣
新潟縣
福島縣

一團體
九團體
十二團體
四團體

名稱 岩手縣 佛 教 會

事務所所在地 盛岡市内丸、岩手縣廳社會課内

創設年月日 大正十三年七月一日

經營全體又ハ代表者 代表者 栗田五百枝

沿革概要

大正十三年七月一日ノ創立ニシテ知事ヲ總裁ニ會長ニ學務部長ニ戴キ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 佛敎ノ本義ニ基キ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨徹底ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

講演會、講習會、社會事業、其他必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

十四ヶ團體 縣下一圓

主ナル役職名並其氏名

總裁	飯尾藤次郎
會長	栗田五百枝
副會長	廣島文雄
常務理事	桃井直美
理事	佐伯正 同 遊座 教道
同	泉山賢英 同 佐藤元惠
主事	佐藤保兵衛 同 西村芳雄

資産(種目別)

基本金三百三十四

維持方法

會費、寄附金、獎勵金、補助金及其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額

歳入 二、七七五、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、二五七、一八〇
 歳出 一、二四六、四七〇
 昭和三年度決算額 歳入 一、三六六、〇〇〇
 歳出 一、三六六、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)
 百圓 昭和二年度内務省助成金
 五百圓 同二年度縣補助金
 五百圓 同三年度補助金

名稱 山形縣 八榮島報德社

事務所所在地 八榮島村大字八色木字平田十一番地
 創設年月日 明治三十六年十一月三十日
 經營主體又ハ代表者 一、經營主體 社團法人
 口、代表者 鈴木五郎吉
 沿革概要

明治三十六年十一月三十日日本會ヲ創立シ以來本會事業ノ
 遂行ニ努メ今日ニ至ル

目的及事業種類
 一、目的 勤儉貯蓄積立金ノ増成、精勤者旌表、副業
 獎勵、農事改良獎勵、道路修繕、弔慰、貸
 付金等
 口、事業種類 毎月一回五日例会トシテ集合ス

報德訓朗讀並講演
 名師招待講演會
 會員數及分布狀況
 百十人
 主ナル役職名並其氏名
 理事社長 鈴木五郎吉
 副社長 布川辰治
 辯務 成田信吉 同 齋藤彦太郎
 參事 小鷹總藏 同 富樫金太郎

參事 奥山甚兵衛
 監事 鈴木喜藏 同 布川寅治郎
 同 石川金之助
 資産(種目別)
 一萬三千百圓餘 大日本報德社永安證券

維持方法
 郵便局並銀行預金貸付金
 獎勵金並補助金下附ノ有無
 村費ヨリ補助 年額金二十圓

名稱 下小中報德社
 事務所所在地 西田川郡大山町下小中い一八三番地
 創設年月日 明治四十年二月
 經營主體又ハ代表者 一、經營主體 法人
 口、代表者 佐藤丹治

沿革概要

明治三十七八年日露戰爭ノ際當村ヨリ出征セシモノ十餘
 名ニ達シ此時大ニ感スル所アリ共同一致ノ念ヲ起ス且貯
 蓄ヲ始メ同意ノモノ七名親友會ト稱ス同四十年二月報德
 社ニ改ム

目的及事業種類
 一、目的 二宮先生ノ遺教ヲ遵奉シ報德ノ事業ヲ行フヲ
 以テ目的トス
 口、事業 農業ニ關スル共同事業、造林井水、通路修繕
 相互援助

會員數及分布狀況
 社員 三十六名
 試業員 十名
 主ナル役職名並其氏名
 理事社長 一名
 副社長 一名

參事 五名
監事 三名

資産(種目別)

三百八十四圓三十五錢 土臺金
三百二十一圓 加入金
千六百五十二圓六十錢 善種金

維持方法

財産收入社員及社外篤志家ノ寄附金

獎勵金並補助金下附ノ有無

四圓 明治四十年十一月十三日本社下附金
五圓 大正十年四月四日第二回本社賞與式ニ於テ優良社庶
表賞與金

名稱 双月報德會

事務所所在地 東村山郡鈴川村大字双月

創設年月日 明治四十三年一月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 大壽隆芳

沿革概要

會長大壽隆芳ハ明治四十三年創立ヨリ各期間六ヶ年無報酬ニテ精神修養ノ外夜學會ヲ開ク
基本金ハ創立當時會員全部毎月ノ休日ヲ利用シ繩綯ヲナシ之ヲ販賣シ又月貳錢ツ、貯金シタルモノ又ハ貯金會ヲ設ケ貸付金ノ利子ノ内百分ノ五ヲ會ノ基本金ニ入レ現在ノ基本額ニナリタルモノナリ

目的及事業種

イ、目的 精神修養

ロ、事業

- 一、社會奉仕トシテ村内道路ノ補修ヲナス
- 二、宗教大家ヲ招聘シテ村内一般ノ靑壯年者ノ爲メ

精神講話ヲナス

會員數及分布狀況

會員數 三十二名

役員數 十一名

資産(種目別)

會ノ基本金 現在金三百三十四圓

名稱 社團法人 中津川報德社

事務所所在地 南置賜郡中津川村白川五番地

創設年月日 大正三年五月十二日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人

ロ、代表者 伊藤金之助

沿革概要

農村疲弊荒廢ノ數ニ漏レス本村亦日ニ荒怠加リ奢侈慕リ
德義類レ家産傾ク等寒心ニ堪サルモノアリ故ニ伊藤金之助岡千里高橋尊徳ノ三氏夙ニ故ニ宮翁ノ興國安民策報德學ヲ研究治心齊家推讓の佳境ニ入ラントシ東奔西走斯學

ヲ鼓吹シ本社ヲ創立セリ

目的及事業種類

イ、目的 當社ハ二宮尊徳先生ノ遺教ヲ遵奉シ報德ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、報德ノ研究及宣傳分度ノ確立勤儉推讓ノ獎勵其他社會教化並ニ人材養成ニ關スル事業ヲナスコト
 - 二、地方自治ノ改善發達ノ援助ヲナスコト
 - 三、防貧救貧其他社會事業ノ施設
 - 四、地方公共ノ福利増進ニ關スルコト
 - 五、社員ノ仕法ヲ講シ貧困ヲ根絶スルコト
 - 六、精行善行者ノ旌表ヲナスコト
- 其他産業獎勵生活改善ヲナスコト

會員數及分布狀況

中津川村一圓

員數 三十四名

主ナル役職名並其氏名

理事社長 伊藤金之助
 同副社長 高橋有明
 參事 伊藤文二 同 伊藤千代吉
 同 渡部 武
 監事 岡 千里 同 伊藤 毅

資産(種目別)

一、特別土臺金 十一圓
 一、土臺金 百三十六圓九十九錢九厘
 一、善種金 八百十二圓八十八錢八厘
 一、加入金 百三十一圓三十三錢三厘
 一、雜讓證券 五十圓
 合計千四百四十二圓二十一錢九厘

維持方法

報徳金ノ運用ヨリ生スル剩餘金及寄附金其他社員推讓金

目的及事業種類

イ、目的 佛敎主義ノ社會事業及社會教化ヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、毎月二回以上ノ行乞ヲ行フ
- 二、大山在住ノ貧窮者救助及不慮ノ罹災者ノ救恤
- 三、隨時公開講演及法要ヲ主催シ又ハ應請有教ヲナス
- 四、託兒事業ヲ開設シ専ラ勞働者ノ生活ヲ助ク
- 五、本團ノ目的ニ合スル事業ノ援助其他總會ニ於テ必要ト認メタル事業
- 六、年一回總會ヲ開キ豫算決算及各般協議ヲナス

會員數及分布狀況

大山各宗寺院住職十五名ヲ會員トス

主ナル役職名並其氏名

イ、役職
 團長理事 大澤 圓應

昭和三年年度豫算額 歳入 二七七、三七〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

本社下附金六圓

名稱 大山佛敎慈善團

事務所々在地 西田川郡大山町道林寺内

創設年月日 大正四年十一月十日

經營全體又ハ代表者 代表者 專念寺住職大澤圓應

沿革概要

大正四年十一月十日御大典紀念ニ大山各宗寺院住職ヲ以テ組織シ爾來毎月二回以上ノ行乞ヲ執行シ其收益ヲ基金ニ積立テ或ハ貧民救助ニ努メ毎年其實績ヲ舉クルモ昭和三年御大典紀念ニ九月一日ヨリ託兒事業ノ大山保育園ヲ開設シ今日ニ至ル

保育團長理事 水本卓堂

專務理事會計 土方順法

理事 同 佐竹來堂

同 秋葉眞巖 同 中村圭芳

ロ、職員

保 姆 長谷川 みとり 同 秋葉とよ

同 佐藤 安江

資産(種目別)

- 一、基本金一千五百四十二錢
- 一、宅地六十五坪時價一千九百五十圓
- 合計金三千六圓十二錢

維持方法

行乞收入、有志寄附、其他ノ收入ニ依ル

昭和二年年度豫算額 歳入 二五〇、〇〇〇

昭和二年年度決算額 歳入 二五〇、〇〇〇

昭和三年年度豫算額 歳入 二六五、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

昭和四年二月十一日山形縣ヨリ助成金五十圓ヲ下附サレタリ

名稱 鶴南兒童智德會

事務所所在地 鶴岡市賀島町萬福寺内

創設年月日 大正五年十月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 志摩法秀

沿革概要

一、復習會大正五年十月十日ニ起ル
賀島町檜物町銀町ノ三ヶ町兒童ニハ兎角不良性ノモノ出テ學業モ悪ク躰上ニ付留意シ夫々家庭モ少ナイ有様ニテ朝陽第一小學校長原寅一氏、町有志日下部金作志摩法秀等大ニ憂ヘ三ヶ町有志ト計リ學校退校後毎日各町ヲ數區分シ此所ニ集メテ學科ノ復習ヲ行ハセ且ツ修養上ノ話等ヲシツ／＼實業ヲ計レリ。此ノ後ハ兒童ノ氣分モ大ニ新マリ學業操行共ニ進歩

スルニ至レリ

二、鶴南兒童智德會ト大正八年八月廿二日改稱

前述ノ如ク日ニ／＼進歩スルヲ以テ三ヶ町有志モ大ニ喜ヒ育英會モ生シ基本千三百餘圓モ出テ此ノ利子ヲ以テ本會ヲ事業助長維持スルニ至ル、其後年々進歩シ優良モ多ク出テ他町ノ模範トナリ現今ニ至ル

目的及事業種類

一、目的 三町ノ尋常小學校兒童ノ教化及ヒ學習ノ増進
二、事業 智德會

- 一、毎土曜日學校退校後集會
- 二、夏季復習會一定期間中早朝ヨリ兒童ノ復習
- 三、神社參拜、敬神ノ念ヲ増進セシム
- 四、遠足
- 五、其ノ他前條ノ目的達成上必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

賀島町、銀町、檜物町ノ兒童百六十三名

主ナル役職名並其氏名

會長 志摩法秀
幹事 足達準藏
指導教師 佐藤安吉
同 渡部興次

資産(種目別)

器具其他 一、風琴一個 百圓
二、机二十脚 六十圓

維持方法

一、育英會基本金利子 八十圓
二、寄附金 七十圓

昭和二年度決算額	歳入	一五〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳出	一五〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	一五〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳出	一五〇、〇〇

名稱 十文字 報德會

事務所所在地 東田川郡長沼村十文字八〇番地

創設年月日 大正六年一月廿八日

經營主體又ハ代表者 代表者 阿部伊三郎

沿革概要

當部落ハ戸數僅カ五十一戸ノ避村ニシテ人情質朴ナルモ近來社會ノ風潮ニ伴ヒ資産年ヲ追フテ衰ヘ行クノ有様ナレハ今ニ於テ覺醒セサレハ又收拾スヘカラサルヲ慮リ花田仲之助先生ノ主唱セラル、報德會ノ主旨ニヨリテ感恩報謝ノ訓育ト勤儉力行ノ美風ヲ體得シテ精神作興ノ聖旨ニ添ヒ奉ランコトヲ期シ大正六年一月廿八日會ヲ組織シ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、目的 教育勸語ノ普及國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ

目的トス

二、事業 篤行者表彰、特殊個人ノ訓育、公德施設

罹災者救済、貧困者救済

會員數及分布狀況

長沼村字十文字ニ居住スル十五歳以上ノモノハ老若男女ヲ問ハ
ス會員タルモノトス

主ナル役員名並其氏名

常任幹事 阿部伊三郎
幹事 深井喜代治 同 鈴木惣作
同 奥泉 湧右衛門 同 齋藤利左衛門
同 齋藤忠治 同 齋藤嘉千蔵

資産(種目別)

部落有財産ヨリ生スルモノ約金二十四
部落共有備荒貯蓄額五斗入百五俵

維持方法

寄附金補助金獎勵金及其他ノ収入ニヨル

昭和二年度決算額

歳入 三二、〇〇
歳出 二七、五〇

昭和三年度決算額

歳入 三五、〇〇
歳出

名稱 社團法人 岩倉報徳社

事務所々在地 南置賜郡中津川村大字岩倉二二三番地

創設年月日 大正九年九月十七日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人

口、代表者 伊藤金之助

沿革概要

大正九年九月十七日大日本報徳社所屬報徳社トシテ創立
シ會社ノ認可ヲ受ケ亞テ社團法人ノ設立ヲ内務大臣ニ出
願認可ヲ受ケ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 二宮尊徳先生ノ遺教ヲ遵奉シ報徳ノ事業ヲ行

フヲ以テ目的トス

口、事業

一、報徳研究及宣傳分度ノ確立勤儉推讓獎勵其他社
會教化並ニ人材養成ニ關スル事業ヲナスコト

二、地方自治改良發達ノ援助ヲナスコト

三、防貧救貧其他社會事業ノ施設若ハ其援助ヲナス
コト

四、地方公共ノ福利増進ニ關スル事業ノ施設若ハ其
援助ヲナスコト

五、社員ノ仕法ヲ講シ貧困ヲ根絶スルコト

六、精業篤行ノ旌表者ヲナスコト

七、産業ノ獎勵及生産品ノ共同販賣若ハ其援助ヲナ
スコト

八、生活及職業必需品ノ共同購入若ハ其援助ヲナス
コト

九、其他役員會ニ於テ適當ト認メタル事業ヲナスコ
ト

會員數及分布狀況

社員ハ農業四十人商業一人計四十一人ニシテ本村大字岩倉大字
高造路兩部落民ノ結社ナリ

主ナル役員名並其氏名

理事社長 伊藤金之助
同副社長 高橋喜平
參事 横山朝臣美 同 後藤源彌
同 横山伊織
監事 後藤辰清 同 伊藤想吉

資産(種目別)

一、特別土臺金 二十三圓
二、土臺金 三千五百八十二錢
三、善種金 五百七十五圓十一錢
四、善種金推讓證券 千六百圓
五、加入金 七百四十六圓二十七錢
六、特別加入金 三萬四千圓
七、善報準備金 九十三圓二十八錢
合計 四萬九千三百四十八錢

維持方法

報徳金ノ運用ヨリ生スル收益金及寄附金

昭和二年度豫算額	歳入	一、四二二、一八
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	一、三六五、七五
	歳出	一、二七八、八六
昭和三年度豫算額	歳入	六六五、四四
	歳出	

名稱 小國禁酒會

事務所々在 最上郡西小國村大字法田八八

創設年月日 昭和二年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 後藤 巖

沿革概要

大正十四年二月頃青年者間ニ禁酒ヲ宣言スルモノアリ大正十五年四月八日法田禁酒同志會ノ設立以來會員ノ増加

東小國村 四十名

計 一百二十八名

主ナル役職名並其氏名

會長	後藤 巖
副會長	菊地 清治
幹事	大場 春次郎
評議員	後藤 吉五郎
	中鉢 菊五郎
同 司	豐治 同
	内 構 收

資産(種目別)

- 一、基本金 十四
- 二、器具其他ノ物品 八圓
- 三、印刷物 五圓
- 合計 二十三圓

維持方法

會員離出金寄附金其他ノ收入

昭和二年度豫算額	歳入	八〇、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	八〇、〇〇
	歳出	八〇、〇〇

ニトモナイ昭和二年二月十一日小國禁酒會ト改稱ス 同年十一月三日明治節ヲ期シテ日本國民禁酒同盟ニ加盟 シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 日本ノ無酒國ノ實現ノ一端トシテ、山形縣最 上郡西小國村東小國村ヲ無酒村ニスルヲ以テ

目的トス

口、事業

- 一、禁酒ニ關スル圖書ノ廻覽
- 二、禁酒ニ關スル講演會活動寫眞會ノ開催スルコト
- 三、禁酒ノ日本、禁酒新聞、購賣及ヒ禁酒ポスター 禁酒ビラノ配布
- 四、禁酒貯金會ノ設置
- 五、其ノ他目的ヲ達成スル施設

會員數及分布狀況

本會々員左ノ如シ

西小國村 八十八名

昭和三年度豫算額

歳入	一〇五、〇〇
歳出	

名稱 新潟市教育會

事務所々在 新潟市西堀通五番町八六六 新潟市役所

創設年月日 明治二十五年十月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 坂本 有隣

沿革概要

成立ノ翌年ヨリ通俗講演會ヲ開設シ、三十三年子守小學 校ヲ設置シタルモ數年後之ヲ廢止セリ 大正十二年薄弱兒童ノ爲臨海教育所ヲ開始シ今日猶之ヲ 繼續シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 新潟市教育ノ改善發達ヲ圖ルヲ目的トス

口、事業

- 一、夏季臨海教育ノ施設
- 二、成人教育ノ施設
- 三、講演會ノ開催
- 四、體育獎勵ノ爲ノ選手權競技會及少年少女大會ノ開催
- 五、教育諸問題ノ調査及功勞者表彰

會員數及分布狀況

新潟市一圓
會員數 五百九十九名

主ナル役職名並其氏名

會長 坂本有隣
副會長 中川秋坪
幹事 能村竹次郎
同 小池恒次 同 五十嵐昌平
同 福田仁心 同 山田正太郎

資産(種目別)

基本金五百十圓

維持方法

會員離出ノ會費ヲ主トシ縣市ノ補助金トテ以テ維持ス

昭和二年度豫算額	昭和二年度決算額	昭和三年度豫算額
歳入 二、四〇五、〇〇	歳入 二、六〇二、〇〇	歳入 二、六九一、〇〇
歳出 二、四〇五、〇〇	歳出 二、六〇二、〇〇	歳出 二、六九一、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)
八百圓 市補助金 兩年共
百圓 縣補助金

名稱 新潟縣教育會

事務所所在地 新潟市西大畑町六〇一番地
創設年月日 明治二十五年十月十五日
經營主體又ハ代表者 代表者 五十嵐已之松
沿革概要
明治十五年十月十七日縣下ノ有志教育家十餘名ニ依リテ

成立セル「新潟教育會」ヲ以テ本會ノ濫觴トス。當時ハ單ニ會員互ニ教育上ノ疑義ヲ討論審議シ且善良ノ教育ヲ縣下ニ普及スルニアリキ。翌十六年五月「新潟縣教育會」ト改稱シテ其ノ目的ヲ擴充シ、更ニ明治二十四年四月「新潟縣教育會」ト改メタルカ縣下各郡市教育會聯合ノ組織成ルニ及ヒ其ノ會ヲ一旦解散シテ從來ノ事業ヲ本會ニ引繼キ今日ニ至ル

目的及事業種類

- イ、目的 教育ノ普及改善ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- ロ、事業
 - 一、教育上緊要ノ事項ヲ調査研究スルコト
 - 二、講習會、講演會、展覽會等ヲ開設スルコト
 - 三、教育ニ關スル圖書ヲ編纂發行スルコト
 - 四、教育功績者ヲ表彰スルコト
 - 五、其他教育上必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

主ナル役職名並其氏名	
會長 五十嵐 已之松	長岡市教育會
副會長 小野 周平	北蒲原郡教育會
幹事 中川 秋坪	西蒲原郡教育會
同 渡邊 泰亮	東蒲原郡教育會
同 能村竹次郎	古志郡教育會
同(會計) 大竹 潤造	南魚沼郡教育會
	刈羽郡教育會
	中頸城郡教育會
	岩船郡教育會
	佐渡郡教育會

資産(種目別)

同(常務) 佐藤 良作

一、基本金	九百圓
二、會館維持資金	二千二百圓
三、建物會館	一萬八百二十圓
四、會館敷地	二萬八百五十圓
合計	三萬四千七百七十圓

維持方法
聯合郡市教育會ノ負擔金、補助金、事業益金其他ノ收入ニヨル

昭和二年年度豫算額	歳入	五、二一三、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	五、二四一、六七
昭和三年年度豫算額	歳入	三、八五九、三三
昭和三年年度決算額	歳入	六、〇五七、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)		
一千六百七十圓	縣費補助金	昭和二年
一千六百七十圓	同	上 同三年度

備考
目下財團法人認可申請中ナリ

名稱 新潟市婦人教育會
事務所々在地 新潟市縣立高等女學校内ニ置ク
創設年月日 明治三十二年十月三十日
經營主體又ハ代表者 代表者 北村 キイ
沿革概要
一、本會ハ創設以來會員ノ修養ノタメ月一回ノ例會ヲ催セリ

一、明治三十七年五月下婢教場ヲ起シ専ラ無學ノ婦女子ヲ集メ毎週一回夜學ヲ開始ス
一、女子普通教育ノ普及ヨリ大正八年四月更ニ女子實業補習學校ヲ創設シ毎夜間教授ヲナスヘテ會員タル女教員之ニ當ル
一、昭和二年五月女子ノ高等女學校ニ入ル能ハサルモノノタメ補習ヲ向上セシメントメ更ニ夜間女學校ト改稱シ内容ノ改善ヲ計レリ而シテ今日ニ至ル
目的及事業種類

イ、目的 一般婦女子ヲシテ智徳ノ向上ヲ計ルト共ニ會員相互ノ親睦ヲ圖リ一方處女ノ誘導ヲ以テ目的トス

- ロ、事業
- 一、夜間女學校ノ經營
 - 二、會員ノ修養ニハ學術講演會ノ開催
 - 三、通俗母婦會ノ催シ
 - 四、夏季講習會ノ開催
 - 五、講師講話會
 - 六、春秋二會ノ定會
 - 七、臨時講演會
 - 八、他ノ社會事業ノ後援

會員數及分布狀況
會員 三百十五名
内教員 百十五名
家庭婦人 二百名
以上會員ハ新潟市内在住ノモノ

主ナル役職名並其氏名

會長	北村 キイ
副會長	澤田 イツ
常任幹事	福田 スミ
評議員	安倍 イマ
同	江部 サダ
同	鍵 富貞
同	小出 チカ
同	齋藤 ヤス
同	齋藤 カツ
同	澤村 シン
同	相馬 シゲ
同	吉井 千代
同	鳥居 操
同	中田 リキ
同	林 シヅ
目黒 キソ	石田 キソ
小出 ユキ	小出 アキ
齋藤 マツ	齋藤 マツ
佐々サタク	須藤 ミセ
竹山 レツ	富山 千代
布川 イチ	中村 シゲ
福原 ヒデ	福原 ヒデ

評議員 松木 三木 枝 同 八木 榮
同 薄 田 ヨ シ 外 幹 事 十 名

資産(種目別)

基金 三千圓

維持方法

會員ノ會費、寄附金、利子、補助金ニヨル

昭和二年年度豫算額 歳入 一、一九四、一二

昭和二年年度決算額 歳入 一、二八三、八一

昭和三年年度豫算額 歳入 二、〇〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

市ヨリ六百圓 八百五十圓 補助金
中野財團二百五十圓

以上ハ昭和二年年度、並ニ三年度同一ナリ

備考

學校經營ハ本會ノ大事業ナリ而シテコレカ經費(會員ノ會費ノ
殆ント三分ノ二ヲ支出ス故ニ會員ノ修養ニ必要ナル他ノ經費ニ
困難ナリ過去ニ於テハコレ等經費ノ財源ヲ得ンタメ活動寫眞或

ハ花デ一等ニヨリ多少ノ金額ヲ得タリコレ等ヲ利用シ來リシカ
今後ハ基金ノ利子ヲ流用セントス

名稱 日本圖書館協會 新潟縣支部

事務所所在地 新潟市寄居町 新潟縣立圖書館内

創設年月日 大正七年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 村 島 靖 雄

沿革概要

明治二十五年三月東京ニ於テ創立セラレ始ハ日本文庫協
會ト云フ名稱ノ處漸次發展シ明治四十一年三月日本圖書
館協會ト改稱同四十三年萬國書史學會ニ加盟シ、大正二
年徳川頼倫侯ヲ總裁ニ推戴致シ大正四年九州支部ヲ創設
シ同六年ニ山口支部、同七年ニハ本新潟支部ヲ設置シテ
會運次第ニ隆盛ニ赴キ今ヤ全國支部中優良ナル地置ニア
リ

目的及事業種類

イ、目的

本會ハ主トシテ圖書館ニ從事シ又ハ圖書館ニ關
係アル者ヲ以テ組織シ圖書館及圖書ニ關スル事
項ヲ研究シ總テ本邦ニ於ケル圖書館事業ノ進歩
發達ヲ計ルコトヲ目的トス

ロ、事業

協會本部ニ於テ毎月發行セル雜誌ヲ會員ニ配布

ス

會員數及分布狀況

協會員 一二〇名

内 終身會員 二名

特別會員 三八名

普通會員 八〇名

主ナル役職名並其氏名

支部長 村 島 靖 雄

評議員 高木 榮 一 同 寺 田 徳 與

評議員 野 澤 康 平 同 星 信 雄
同 堂 谷 善 隆 同 高 橋 義 彦
同 八 田 三 喜 同 大 橋 永 三 郎
同 伊 藤 太 郎 兵 衛 同 安 原 清 太 郎
同 安 藤 惠 順 同 高 野 正 治

維持方法

會員ヨリ會費徵集、寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年年度豫算額 歳入 四五六、〇〇

昭和二年年度決算額 歳入 一九六、〇〇

昭和三年年度豫算額 歳入 四五六、〇〇

名稱 財團法人 新潟日蓮主義實行會

事務所所在地 新潟市並木町二三九二番地

創設年月日 大正十年一月十六日

經營主體又ハ代表者 **イ、經營主體 財團法人**

ロ、代表者 磯部 和吉

沿革概要

大正九年我新潟市へモ勞働階級ノ惡思想侵入シ來リ純良ナリシ工場勞働者間ニ小問題ヲ惹起スル傾向ヲ呈シタルニ依リ之レ畢竟國家愛護ノ念慮ニ乏シク各自ノ職分ヲ忘レテ徒ニ中央ニ於ケル一時的流行ノ思想ニ眩惑セル結果ナリトシ之ヲ矯正シ覺醒セシムルニハ日蓮主義ノ思想ヲ鼓吹シ宣傳スルニ如ストテ有志相謀リテ本會ヲ組織スルニ至リシカ共鳴スル者益々増加ノ狀況ヲ見ルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 皇國觀念ノ普及及ヒ思想ノ善導

ロ、事業

- 一、講演會
- 二、雜誌ノ發行
- 三、社會教育ニ關スル各地施設

會員數及分布狀況

新潟市及附近村落及ヒ佐渡郡兩津町ニ於ケル一部ノ有志者ヲ以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

理事長	磯部 和吉
理事	田中正名 同 荒川才二
同	大塚 佐吉 同 長濱鐵彌
評議員	南部 虎造 同 松井郡治
同	松木 弘 同 前田周治
同	山口毅一郎 同 長谷川辰藏
同	五十嵐三越

資産(種目別)

基本金 四千圓

但南滿洲鐵道株式會社株式三十株買入所有

維持方法

基本金利子、會費、寄附金等ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 一、二二二、七三〇
歲出 一、〇三〇、四一〇

昭和二年度決算額	歲入	九五五、五八〇
	歲出	九二五、一七〇
昭和三年度豫算額	歲入	一、〇三〇、四一〇
	歲出	一、〇三〇、四一〇

名稱 財團法人 修養團新潟市支部

事務所所在地 新潟市學校町三番町

創設年月日 大正十年三月十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 中村 淑人

沿革概要

大正八年ヨリ新潟市ニ於ケル修養團員活動ヲナシ大正十年三月十八日支部設立認可ヲ受ケ同年四月七日支部發會式ヲ舉ケ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 同胞相愛、流汗鍛鍊献身報國ノ三大綱領ノ實

踐窮行ニヨリ皇國ノ進運ニ貢獻スルヲ目的ト

ロ、事業

- 一、例月向上會
- 二、講演會
- 三、講習會
- 四、印刷物ノ發行
- 五、其他必要ナル事業

會員數及分布狀況

會員百八十名ニシテ凡ユル職業階ヲ設含ミ新潟市一圓ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

支部長	中村 淑人
幹事	佐藤正男 同 安達文治
同	南雲 忠雄 同 和田榮兒
同	梶藤 市 同 龜貝 潔
同	池田三郎 同 松島周一
同	齋藤貞作 同 伊藤仁一

幹事會 我金作 同 小林三郎
同 高山高次郎 同 笹谷休藏
同 佐野菊治

資産(種目別)

- 一、基本金 百圓八十錢
- 二、器具其他ノ物品 百二十圓

維持方法

會員ノ負擔及ヒ寄附金

昭和二年度豫算額	歳入	二五〇、〇〇
	歳出	四一七、〇四五
昭和二年度決算額	歳入	四一七、〇四五
	歳出	二三五、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	二三五、〇〇
	歳出	

名稱 和 敬 會

事務所所在地 中魚沼郡千手村清龍寺

創設年月日 大正十二年七月

經營主體又ハ代表者 代表者 金山良念

沿革概要

明治三十七年九月佛教團創立以來近郷一帶ノ社會教化ニ當リシ處大正十二年七月我カ千手村新設ト共ニ和敬會ヲ組織シ民心善導ニ貢獻シ茲ニ昭和ノ新政ヲ迎ヒ更ニ一新シテ地方教化ノ實ヲ擧ケムコトヲ宣誓セリ

目的及事業種類

- イ、目的 釋教信奉者ノ親睦ヲ厚フシ教義宣傳及ヒ寺院ノ護法維持ヲ圖ルコト
- ロ、事業 法要隨喜出仕、教義宣傳、民風作興ハ實社會當面ノ問題ニ對シテ斡旋スル等

會員數及分布狀況

正會員ハ各宗寺院住職及ヒ僧侶現在六名
賛成會員ハ村内檀徒信徒若干名ニシテ村内各部落ニ存在ス

主ナル役職名並其氏名

會長 金山良念

幹事 村山立道

分區委員 若干名

村内各字現在區長

顧問 若干名

會員ノ推薦ニ依ル村内有力者

維持方法

會員ノ疎出及ヒ特志家ノ寄附ニ依ル

名稱 精神作興會

事務所所在地 中蒲原郡白井村役場

創設年月日 昭和二年八月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 武田雷雄

沿革概要

昭和二年六月九日日本縣ニ於テ教化團體懇談會開催本縣知

事並ニ中央教化團體聯合會長山川健次郎閣下ノ諮問ニヨリ本縣各市町村單位ノ教化團體聯合會組織ノ決議アリシニヨリ本縣内ニ於テ率先シテ創立セラレ着々其實績ヲ擧ケ今日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 精神作興ノ大詔ヲ奉戴其聖旨ヲ普及シ教化ヲ

圖ルヲ以テス

ロ、事業

- 一、講演會
- 二、映畫會
- 三、印刷物頒布
- 四、各種教化團ノ助成
- 五、其他必要ナル事項

會員數及分布狀況

本會ハ本村教化團體聯合會ニシテ加盟左ノ如シ

白井村教育會

白井村青年會

白井村軍人分會

白井村女子青年會

白井村寺院團
 行願寺成人會
 行願寺助緣會
 第二學區青年會
 南部婦女會

白井村神職團
 傳誓寺成人會
 戸石方正會
 第一學區青年會
 北部婦女會

主ナル役職名並其氏名

會長 武田 雷雄
 副會長 和田 勇健
 同 橋 護法

維持方法

白井村ヨリノ補助金
 各團體ヨリノ繰出金

昭和二年度豫算額 歳入 一〇〇、〇〇
 歳出 一〇〇、〇〇
 昭和三年度豫算額 歳入 一〇〇、〇〇
 歳出 一〇〇、〇〇

一、懇談會

二、講演會

三、其他適切ナル教化事業

會員數及分布狀況

本會加盟團體及會員數

島上村教育會 二百十五人
 島上村軍人分會 百十五人
 島上村青年會 二百五十八人
 島上村婦人會 四百二十人
 島上處女會 百七十五人
 笠砂處女會 六十二人
 島上村寺院社會事業協會 八ヶ寺

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

管理者 山浦 村長
 會長 廣瀬 大慧
 副會長 渡邊 末藏
 同 千秋 腴止
 幹事 藤井熊治郎 同 齋藤喜郎次

維持方法

名稱 島上村教化團體聯合會

事務所所在地 西蒲原郡島上村役場内

創設年月日 昭和二年九月十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 廣瀬 大慧

沿革概要

昭和二年六月新潟縣知事ノ名ニ於テ縣下教化事業關係者懇談會開催セラレ國民精神作興ニ關スル詔書ノ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘキ方途ヲ協議セラレタル結果其具體的方法トシテ教化團體聯合會ヲ組織スルコトニ決シタルヲ以テ管内各種團體(六團體)ノ加盟ヲ求メ同年九月十六日設立ス昭和三年十一月島上村寺院社會事業協會ノ設立アリタルニ依リ之カ加盟ヲ求メタリ

目的及事業種類

イ、目的 國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ奉職シ

加盟團體ノ聯絡ヲ圖リ國民精神作興ニ關スル

事業ヲ促進スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

加盟團體ノ負擔金村補助金及其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 一五、〇〇
 歳出 一五、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一五、〇〇
 歳出 一五、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 二〇、〇〇
 歳出 二〇、〇〇

名稱 佐渡教化團

事務所所在地 佐渡郡金泉村

創設年月日 昭和二年十月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 安達 本識

沿革概要

昭和神帝ノ御即位ヲ紀念シ併セテ國民ノ思想善導ヲ圖ルヲ以テ目的トシ昭和二年四月三日代表者ハ同好ノ士ヲカタラヒ種々協議ノ結果佛敎々化聯盟ヲ始メ後チ同年十月三日佐渡教化團ト改稱シ内容ノ充實ヲ計リ昭和三年七月

五日日曜學校ヲ創設シ事務所ヲ現在地ニ置キ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 新帝ノ即位ヲ紀念シ併セテ國民ノ思想善導ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、春秋二回定期講演會ヲ開催スルコト
- 二、名士ヲ招聘シテ講話會或ハ修養會ヲ開催スルコト
- 三、日曜學校ヲ經營シテ第二國民ノ圓滿ナル發達ヲトケシムルコト
- 四、其他前條ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事項

會員數及分布狀況

會員數 百三十名

本團ハ各地方ノ招聘ニ應ジテ郡内各地ニ巡廻シテ講演會ヲ開催シ別ニ支部ヲ置カス

主ナル役職名並其氏名

團長 安達本識
理事 藤井輝備 同 渡部本稚
同 菊地忠雄
常任理事 朝山本成
日曜學校主事 安達本識
同副主事 藤井正隆
同 助手 安達重威

資産(種目別)

- 一、器具其他備品 二百八十圓
- 三、施本印刷物 三十四圓
- 計 三百十四圓

維持方法

寄附金、巡廻謝禮金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	二二〇、〇〇
	歳出	二二五、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	二二八、〇〇
	歳出	二二八、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	二八五、〇〇

名稱 新潟市教化團體聯合會

事務所々在 新潟市役所社會課内

創設年月日 昭和二年十一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 中村淑人

沿革概要

國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ奉戴スル社會教化團體ノ參集合同ヲ求メ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘキ方途ヲ協議シソノ結果教化團體聯合會ヲ組織スルコトニ決シ昭和二年十一月三日設立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉體シ社會教化ニ關スル事業ヲ促進スルヲ目的トス

ロ、事業

- 一、教化團體聯絡提携ヲ圖ル
- 二、目的達成ノ爲必要ナリト認ムル事項

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下二十七團體ニシテ左ノ如シ

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員
 - 會長 中村淑人
 - 副會長 佐藤輝一
- ロ、職員

新潟縣神職會新潟縣支部

沼垂各宗寺院和合會

修養團支部

新潟市婦人衛生慈善會

新潟縣傷兵會聯合會

在郷軍人會新潟市聯合會

救世軍小隊

曇華教團

婦人共勵會

新潟市青年團聯合會

基督教日曜學校聯盟

日蓮主義實行會

沼垂婦人會

新潟市婦人教育會

圖書館協會新潟縣支部

新潟禁酒會

新潟聯合禁酒會

新潟縣聯合保護會

新潟佛教協會

新潟縣教育會

新潟縣保護會

各宗寺院協會

新潟市教育會

新潟市聯合處女會

佛教日曜學校

幼稚兒保護會

矯風會支部

幹事 佐藤正男 同 三五寅吉
 同 山田英源 同 能村竹次郎
 常任幹事 小島了秀

維持方法
 寄附金及贈出金

昭和二年度決算額
 歳入 六二、〇〇八
 歳出 五〇、〇〇八
 昭和三年度豫算額
 歳入 二五〇、〇〇〇
 歳出 二五〇、〇〇〇

名稱 方正會

事務所所在地 中蒲原郡白井村戸石行順寺内

創設年月日 昭和三年十二月十九日

經營主體又ハ代表者 代表者 武田雷雄

沿革概要

本會ハ昭和三年十二月七日宛如トシテ起リタル刑事問題

ヲ動機トシテ村民警察ノ必要ト生活ノ指導ト教化ノ徹底トヨリ急遽結成セラレ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 善行助成、非違行為防止ヲ目的トス

ロ、事業

- 一、方正委員ノ視察報告
- 二、方正議員ノ批判會
- 三、善惡二面ノ賞罰會

會員數及分布狀況

本會ハ戸石村五十五戸ノ戸主ヲ以テ正會員トシ其他ノ各家族ヲ以テ準會員トス故ニ

正會員 五十五名
 準會員 三百十七名

主ナル役職名並其氏名

會長 武田雷雄
 副會長 松澤次四郎
 方正議員 長澤壽計策

方正議員 内山市平
 同 松澤慎三郎
 維持方法
 本會ハ會費ヲ徵收セス役員ハ凡テ名譽職トシ實經費ヲ一部費トス

名稱 聖德會

事務所所在地 福井市尾上中町二八興宗寺

創設年月日 大正八年十一月

經營主體又ハ代表者 代表者 北條尊善

沿革概要

大正七年米騒動ノ起リタルニ思想ノ危險性ヲ感シ之ヲ矯正セントシテ此會ヲ設ク先ツ興宗寺ニ於テ毎月一日講演會ヲ開キ其主張ヲ標語ニ顯ハシ時計ノ圖形ノ中ニ今日三

訓ト云別記ノ文字ヲ表ハシ之ヲ縣下各學校役場ニ配布シ又縣ノ博覽會東京ノ博覽會京都本山ノ會合等各方面ニテ之ヲ配布シ又福井市中央部ニ本會ヲ開キ宣傳ノ結果中央會堂ヲ設ケテ茲ニ六年今ヤ佛教會館ヲ新築スヘク準備中

目的及事業種類

イ、目的

本會ハ聖德太子ノ遺志ニ遵ヒ神儒佛三道ノ調和ニヨリテ成レル日本ノ國民性ヲ尊重シ現代ニ處スル吾人ノ本分ヲ盡スコトヲ期ス

ロ、事業

會員ハ三訓ヲ實行スヘシ

今日三訓 規律 おのかつとめをまもり 今日一日四ノ恩ヲ思フコト

- 一、父母ノ恩、二、天皇ノ恩、三、社會ノ恩、四、師教ノ恩

服從 よく人のおほ 今日一日腹ヲ立テヌコト

同情ものゝなご 今日一日人ノ助ケヲスルコト

會員數及分布狀況

イ、會員數 三千名

ロ、分布 北海道ヨリ臺灣朝鮮滿洲ニ及フ然レトモ別ニ責任ヲ有セス

ハ、實際 會費ヲ納メ事業ヲ爲スモノハ約三百名ナリ

ニ、事業 日曜學校、處女會、座談會、講演會、簡易圖書小冊子發行、相互救助

主ナル役職名並其氏名

會主 北條 尊善

委員 二十名

資産(種目別)

圖書 約五百卷

シンガミシン 三 臺

花器 十五個

維持方法

會員三百名ノ融出金、臨時寄附

名稱 福井市聯合婦女會

事務所々在地 福井市佐佳枝上町藤井敬貞方

創設年月日 大正十五年十月廿四日

經營主體又ハ代表者 代表者 藤井 敬貞

沿革概要

大正十五年九月中旬代表者各婦女會ヨリ二三名宛參集シ

協議ノ結果之レヲ聯合スルノ必要ト決シ本會ヲ組織スル

コト、ナリ翌年十月廿四日之レヲ設立ス

目的及事業種類

イ、目的 福井市内加盟婦女會ノ聯絡親睦ヲ圖リ婦人ニ

關スル諸般ノ研究討議並ニ婦徳ノ向上ヲ期ス

ルニアリ

ロ、事業

一、調査研究ノ會合ヲナス

- 二、講演會講習會ヲ開催ス
- 三、印刷物ヲ發行ス

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下七團體ニシテ其名稱左ノ如シ

順化婦女會、足羽婦女會、花月婦女會、春山婦女會、

寶永婦人會、豐婦女會、進旅婦女會

本會ハ福井市各小學校ノ婦女會ヲ以テ組織セラル、モノナル故

他ノ小學校ニ於テモ婦女會設置セラルレバ其都度加入ス

主ナル役職名並其氏名

會長 藤井 敬貞

副會長 松原 リウ

幹事 松澤 トヨコ

同 北條ます子

同 定政ときを

同 高橋みきを

同 平野 つち

同 谷口小ギク

同 稻葉ミキ

同 松原 りう

同 平本ひさを

同 福田 春子

維持方法

本會ノ經費ハ必要ニ應シ其都度加盟會ノ分擔並ニ寄附其他ニヨ

ル

幹事 清水 あさ

同 松田しやう

同 武會 はな

同 遮那 すわ

同 牧山 貞子

同 山口千代子

同 戸川みつえ

同 芳谷 ひで

同 原 露子

同 荒神じゆん

同 宇賀治 たづ子

同 向川さだを

同 島田とよ子

同 水谷コヒロ

同 大戸じゆん

同 木下いね

同 井上こま

同 本莊興代

同 堀 あさ

同 藤井敬貞

同 古村とき

同 秋田ひで

同 嵯峨根みを

同 藤澤小靜

同 古藤松枝

同 大久保なか

同 中島つる

同 齋藤まさ子

昭和四年度決算額

歳入 六〇、〇〇〇
歳出 五九、〇〇五

名稱 朋 會

事務所々在 大野郡上穴馬村下牛原與正派本山出張所
創設年月日 昭和二年三月二十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 今泉 俊英

沿革概要

昭和二年ノ新春ヲ迎ヘ國恩ノ深キヲ感シ宗教家トシテ國ニ報ユルノ道ヲ思想ノ善導ニアリト信シ親覺聖人ノ二諦相依ノ宗風ニ則リ聖人ノ同朋主義ヲ名トセル團體ヲ組織シタク村内有志ニ圖リ多クノ賛同ヲ得テ三月二十四日之レヲ設立發會式ヲ舉ケ其後半四回以上一回三日乃至五日間ノ講演會ヲ開キ逐次會員増加シ支部ヲ四ヶ所ニ置クニ至レリ

目的及事業種類

1、目的 上聖旨ヲ奉體スルト共ニ堅固ナル信念ニ基キ

テ健全ナル思想ヲ養ヒ相互相誠メテ善良ナル民風ヲ作興スルヲ以テ目的トス

口、事業

一、思想善導ノタメ講演會ヲ開催スルコト

二、敬老會ヲ開催スルコト

三、修養雜誌「同朋」ヲ年一回若クハ數回發行スルコト

コト

四、善行者ヲ表彰スルコト

會員數及分布狀況

本會ハ本部以下四支部ニ分レ其名稱左ノ如シ

同朋會下原本部 同朋會大谷支部

同朋會持允箱ヶ瀬支部 同朋會影路支部

同朋會上半原支部

主ナル役職名並其氏名

1、役員

昭和二年度歳出減少シタレトモ事業成績ハ目的通り實行シ各支部共逐次會員ノ増加ヲ見ル

名稱 福井市聯合報德會

事務所々在 福井市東下町廿三番地

創設年月日 昭和二年九月廿七日

經營主體又ハ代表者 代表者 大丸榮次郎

沿革概要

列聖ノ趣旨ヲ奉體シ知恩報德ノ主意ヲ服膺實行シ至誠ヲ旨トシ勤儉力行ノ風ヲ養ヒ私德ヲ勵ミ公德ヲ重シ博愛ヲ旨トシ、公益ヲ圖ル事ヲ實踐ニ勉ムル本會ノ趣旨目的ヲスル爲メ爾來大正十四年ヨリ市内各町内及ヒ工場商店ニ設立セル十六個ノ會(會員千二百名)ヲ以テ組織セリ。日ニ月ニ増設ヲ見ツ、有リ

目的及事業數額

備考

昭和二年度決算額 歳入 一四三、三一
昭和二年度決算額 歳出 一四三、三一
昭和三年度決算額 歳入 一二〇、〇〇

維持方法

會員ノ會費及特志家ノ寄附金

資産(種目別)

一、器具(謄寫版) 四十五圓

口、職員

會長 今泉 俊英

副會長 石神 市平 同 尾崎 邦夫

評議員 若干名

幹事 若干名

顧問 若干名

支部長 四名

副支部長 四名

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

會員數及分布狀況

本會加盟數 十六會

會員數 千二百名

主ナル役職名並其氏名

代表者 大丸榮次郎

幹事 內田 清 同 安本吉次郎

同 中島與作 同 佐藤一枝

同 高橋 將 同 海崎藤作

同 兒玉常吉 同 木村和夫

維持方法

各會ヨリ一ヶ月金五十錢ノ寄附ヲ以テ維持ス

昭和二年年度豫算額

歳入 九六、〇〇

昭和二年年度決算額

歳入 九六、〇〇

昭和三年年度豫算額

歳入 九六、〇〇

關東・中部

茨城縣	十二團體
千葉縣	四團體
神奈川縣	三團體
滋賀縣	七團體

名稱 水戸禁酒會

事務所所在地 水戸市上市西町六七七番地

創設年月日 明治三十四年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 宇野藤熊

沿革概要

他團體ト協力シ遊廓ノ設置ニ反對シ若クハ廢娼聯盟ヲ組織シテ多少ノ努力ヲナシタルコトアリ
尙ホ前記ノ外矯風事業ニ努力スル見込

目的及事業種類

イ、目的 酒類ノ飲料ヲ禁シ、矯風進徳ヲ計ル
ロ、事業 機關誌類ヲ頒布、講演會ヲ催ス

會員數及分布狀況

二十人

水戸市及附近ニ散在

主ナル役職名並其氏名

會長 宇野藤熊
幹事 大津鐵吉
顧問 加藤萬治

維持方法

寄附金及會費

昭和二年度豫算額	歳入	六〇、〇〇
	歳出	六〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	六〇、〇〇
	歳出	六〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	六〇、〇〇
	歳出	六〇、〇〇

名稱 常總禁酒會

事務所所在地 稻敷郡龍ヶ崎町五一五〇櫻井佐五郎方

創設年月日 明治三十五年九月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 根本益次郎

沿革概要

常南地方ニ於ケル飲酒ノ陋習ト農村ノ疲弊トヲ救済セン
トシテ時ノ福音教會牧師手塚新、岩淵高、根本益次郎氏
等發企トナリ明治三十五年九月十五日日本會ヲ組織シ手塚
氏ヲ會長トシ當時安藤太郎氏ヲ會長トスル大日本禁酒同
盟會ニ屬ス翌明治三十六年四月手塚氏東京ニ移轉スルヤ
岩淵氏ヲ會長ニ根本氏ヲ副會長トス其ノ後日本國民禁酒
同盟成立スルニ及ヒ大正九年十二月之ニ所屬ス昭和三年
四月岩淵會長病氣退職スルニ及ヒ左記役員就任今日ニ至
ル

目的及事業種類

イ、目的 飲酒ヲ嚴禁スルト共ニ之レニ隨伴スル總テノ
弊害ヲ排除シ以テ個人及社會ノ矯風進徳ヲ謀
ルニアリ

ロ、事業 全國ノ禁酒團體ハ勿論教化矯風社會事業團體
ト提携ヲ圖ルコト、目的ヲ達スルカ爲メ講演

會ヲ開キ印刷物ヲ配布シ其他必要ナル運動及
施設ヲナスコト

會員數及分布狀況

一、會員數 百三十名
二、分布狀況 茨城縣稻敷郡全般ニ亙リ其他縣下ニ散在ス

主ナル役職名並其氏名

役員	
顧問	岩淵 高
會長	根本益次郎
副會長	櫻井佐五郎
理事	村上松藏 同 服部岩吉
同	平山周三 同 朝日奈儀助
同	村上彦七 同 小林義一
同	高島利郎 同 宮本長四郎
同	信田一之助

資産(種目別)

一、基本金 百五十圓

二、貯金 百五十圓

合計 金三百圓

維持方法

一、會費 毎月會員ヨリ徵集ス
二、寄附金 特志者ヨリ

昭和二年度決算額	
歳入	三四二、七〇
歳出	三二六、八六
昭和二年度決算額	
歳入	二九一、三三
歳出	三五二、四〇

名稱 下館禁酒會

事務所所在地 眞壁郡下館町八一五

創設年月日 明治三十九年五月十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 寺本徳太郎

沿革概要

本會ハ明治三十九年五月十七日基督友會教師中村和三郎
外數名首唱シ創立協議會ヲ開キテ創立シ事務所ヲ本城町
十番地ニ置キ金田齋藤川味小林ノ諸氏幹事書記ノ勞ヲ取
リ活動シ次第ニ發達シ四十一年會長副會長幹事ニ置キ講
演幻燈ヲ以テ宣傳シ一時ハ隆盛ヲ來シ大正四年六月ニハ
禁酒同盟ニ加入シ又縣聯合會ト共ニ共同ノ働ヲナシ未成
年者禁酒法案、廿五歲禁酒法等ニ助力シ或ハ麻清ニモ力
ヲ出シ今日ニ至ル現在會員四十名内外ナリ現在ハ飲酒家
相手ノ禁酒ノ外後進者禁酒目的ヲ達スル爲ニ専ラ青少年
ニ對シテ教育宣傳ニ勵ミツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 酒害ノ恐ルヘキヲ感シ之ヲ取り除キ青少年ニ
酒ノ味ヲ知ラシメサル様指導スルヲ目的トス

ロ、事業 禁酒事業ノ聯合提携ヲ圖リ大日本國民禁酒同
盟會ニ加入シ其ノ働キヲ共ニス
禁酒事業ノ完成ヲ期スル爲メ常ニ宣傳幻燈講

演等振興上ノ施設ヲナス

會員數及分布狀況

現在會員數ハ町内ノモノ多數ヲ有シ近村ニモ及フ當禁酒會ノ存在ハ多年ノ働キニヨリ各隣接町村内ニ生活改善ノ急ヲ告クルト同時ニ幾多ノ禁酒團體起リツ、アリ

主ナル役職名並其氏名

- 會長 寺本徳太郎
- 幹事 古島初太郎
- 同 大内重遠
- 同 齋藤卯三郎
- 同 河野幸次郎

維持方法

基本金及會費ヲ以テス

名稱 大日本佛教護國團

事務所々在地 新治郡土浦町一、二五番地

創設年月日 明治四十年四月八日

經營主體又ハ代表者 代表者 秋元梅峯

沿革概要

明治四十年四月八日土浦佛教護國團ヲ創立地方教化ニ努力シ同四十二年四月八日戊申詔書ノ御聖旨ニ基キ佛教青年會同婦人會ヲ創立シ青年男女ノ指導ニ務メ更ニ大正元年十月免囚保護事業ヲ目的トスル筑南慈濟會ヲ創立シ二年土浦佛教護國團及佛教青年會同婦人會ヲ併合シテ大日本佛教護國團ト改稱シ筑南慈濟會以外ノ社會事業及ヒ教化事業ヲ行フコト、シ會則ヲ變更シ以テ社會運動ヲ開始シ專ラ聖旨ノ普及徹底ニ努力ス

目的及事業種類

イ、目的 御聖旨ヲ奉體シ國民精神ノ作興ニ努力シ其ノ普及徹底ヲ期ス

ロ、事業 目的ヲ達成セシメンカ爲メ左ノ方法ニヨリ事業ヲ行フ

業ヲ行フ

一、普通講演、講師ヲ派遣シ演說講演ヲナス

二、映畫講演映畫講師及助手ヲ派遣シ映畫ニ依リ社會教化思想善導ノ講演ヲナス

三、藝術講演、琵琶、浪花節(本團ニ於ケル芳謠曲)淨瑠璃等ノ専門講師ヲ常在セシメ藝術ヲ透シテ社會教化思想善導ニ務ム

四、文書傳道、印刷物ヲ發刊シテ社會教化思想善導ニ務ム

五、生活改善、生活改善ヲ圖ル爲メ事務所々在地ニ警報ヲ兼タル廿馬力モーターサイレンヲ建設シ

毎日三回時刻ヲ示ス又非常警報ヲモ報ス

會員數及分布狀況

本部會員 六百九十一

支部	茨城縣新治郡藤澤村	同	郡和村
同	同榮村	同	中家村
同	七會村	同	志筑村
同	稻敷郡岡田村	同	古渡村

茨城縣稻敷郡舟島村

群馬縣伊勢崎町

同 阿見村

長野縣諏訪郡下諏訪村

主ナル役職名並其氏名

團長	秋元梅峰	同	高瀬清次郎
顧問	堀内文次郎	同	飯島清
同	助川喜四郎	同	飯山俊道
同	下村壽一	同	飯田勝明
常務理事	渡邊悦道	同	笠島森英
同	大關米三郎	同	山田春吉
幹事	秋藤大觀	同	東家三燕
同	秋藤大觀	同	宮本信子
講師	渡邊駿道	同	
映畫講師	伊藤天涯	同	
藝術講師	東家燕藏	同	
同	東家燕鶴	同	
同	青木悞水	同	

資産(種目別)

- 一、基本金 五百圓
- 二、鐵塔及電氣サイレン 四千百十八圓
- 三、映畫及映寫機 六千八百五十二圓
- 四、樂器 三百六十九圓
- 五、印刷物 二百三十五圓
- 六、器具其ノ他 百十五圓
- 合計 一萬二千百七十九圓

維持方法

會費、寄附金、補助金、獎勵金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	八、六九五、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	九、一一八、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	九、五八五、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
百圓	内務省	昭和二年度
百圓	同上	昭和三年度

名稱 土浦禁酒會

事務所々在地 新治郡土浦町十一番地

創設年月日 明治四十二年十月

沿革概要

明治四十二年十月土浦基督友會所屬信者其中心トナリ之レヲ設立シ會員ハ信者以外ノ者ト雖モ之ヲ勸誘シ日本禁酒同盟會ニ連絡ヲ採リ同會發行國ノ光リヲ義務購讀シ主義ノ向上發展ヲ計リツ、會員逐次増加セリ

其後大正十二年三月同盟會解散後繼財團法人日本國民禁酒同盟ノ設立ノマ、加盟現今ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 酒類ノ飲用ヲ嚴禁シ以テ矯風進徳ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 目的ヲ遂行スルタメニ種々ナル方法ヲ以テ禁酒宣傳運動ヲナス

會員數及分布狀況

會員 三十五人

主ナル役職名並其氏名

- 會長 野村 太助
- 評議員 石川 清晴
- 同 野村 桂之助
- 幹事 中村 萬作
- 同 松井 龜次郎
- 同 須藤 春吉

維持方法

會費ヲ以テ充ツ

昭和二年度豫算額

會員一人ヨリ一ヶ月金二十錢ヲ徴收シ其内雜誌代ヲ同盟ヘ送り殘餘ヲ經常費ニ充ツ必要ノ場合資金募集ヲナス事アリ

名稱 多賀禁酒會

事務所々在地 多賀郡松原町高萩

創設年月日 明治四十一年一月二十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 大崎 徳三

沿革概要

明治四十二年夏ノ頃ヨリ救世軍兵士柴田三次郎氏禁酒會ノ必要ヲ主唱シ同志三十餘人ヲ得テ四十三年一月二十一日松原尋常高等小學校ニ於テ發會式ヲ舉行シ大崎徳三氏舉ケラレテ會長トナリ今日ニ至ル、曾テ安藤太郎氏根本代議士新渡戸博士其ノ他名士ヲ招聘シ講演會ヲ開キ主義ノ宣傳ヲナシ隆盛ナリシカ近時會勢大ニ衰ヘタリ

目的及事業種類

イ、目的 酒ハ罪惡ノ源トナルコト多ク國民保健ノ上ニモ大ニ有害ナルヲ以テ飲酒ノ弊風ヲ嚴禁シ無

酒國ノ實現ヲ期スルヲ目的トス

ロ、事業 禁酒雜誌ヲ購入シ會員ニ配付シ又毎月十日月

次會ヲ開キ年ニ一回總會ヲ開キテ諸般ノ報告
協議ヲナス

會員數及分布狀況

會員ノ多數ハ松原町ニアリ小數ノ會員ハ郡内各町村ニ散在セリ
主ナル役職名並其氏名

- 會長 大崎 徳三
- 副會長 白井 豊吉
- 幹事 事田所平之介 同 矢代良三
- 同 鈴木 靜一 同 落合 巳之太郎
- 同 須川 敏男

維持方法

會費ヲ毎月金十錢ヅミ徴收シ維持ス

名稱 禁酒煙貯蓄會

事務所々在 久慈郡太田榮町一五

創設年月日 明治四十四年六月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 藤淵 寅三之助

沿革概要

設立當時ハ會ノ基本ヲ得ルノ目的ヲ以テ塵芥掃除、養豚
事業ヲ經營シタルモ何レモ不成績ニ終リ經營難ニ陥リシ
コト屢々ナリシカ剛健ナル意志ヲ以テ繼續シ今日ニ於テ
ハ自然社會ノ同情集マリ或ハ講演ヨリ得タル報酬ヲ以テ
經營資ニ充テ今日ニ至ル

目的及事業種類

- イ、目的 本會ノ目的ハ自他ノ精神ノ向上作興勤儉獎勵
社會ノ幸福増進ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- ロ、事業ノ種類

免囚保護、人事相談、孤獨者、貧困者、失業
者、救濟事業

會員數及分布狀況

會員數 五百十六名

分布ノ狀況

郡内太田町久米村山田村譽田村ヲ主トシ本縣内河北ト稱スル
久慈郡多賀郡及ヒ水戸市ニ會員ノ一部ヲ有ス

主ナル役職名並其氏名

會長 藤淵 寅三之助

資産(種目別)

七百六十二圓六十錢

維持方法

寄附金及講話ノ報酬ニヨリ團體ノ維持ヲナス

昭和二年度豫算額	歳入	二六三、〇〇
	歳出	四
昭和二年度決算額	歳入	二三〇、六〇
	歳出	二五三、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

宛宮内省ヨリ獎勵金大正十二年度以降毎年度二百圓
司法省内輔成會ヨリ補助金アリ

備考

會内ニ免囚保護部アリ大正元年十月公認保護區域太田町外一町

十四ヶ村保護人員三百五十六人

現時直接保護二人間接保護二十一人

名稱 高田村生活改善會

事務所々在 地 稻敷郡高田村大字高田九百三十二番地

創設年月日 大正十二年十二月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 根本益次郎

代表者 根本益次郎

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書頒發セ
ラル、ヤ村民ヲ會シ聖旨ノ普及徹底ヲ圖リ十二月十日別
紙生活改善會ノ大綱ト細目ヲ協議決定同日ヨリ實施シ主
トシテ葬儀改善ニ勵メタリ。

又十三年四月一日一戸一錢宛ノ勤儉貯蓄ヲ奨メ振興貯金
ト稱シ貯金ヲ續行シ已ニ五千圓ニ達セリ、昭和三年九月

一日ヨリ御大典記念事業トシテ全村禁酒ヲ斷行シ質實剛健ノ風ヲ養成スルト共ニ貯金ヲ獎勵シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖旨ヲ奉戴シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、各々分ニ應シ質素ヲ守リ勤儉力行ノ美風ト貯蓄ノ習慣ヲ養成スルコト

二、農事上ノ改良ヲ圖ルト共ニ産業上共同便益ニ關スル施設ヲナスコト

三、村内ニ敬老會ヲ設ケ長上者ヲ尊敬シ慰安スル美風ヲ涵養スルコト

會員數及分布狀況

本會々員ハ三百四十名ニシテ各區ノ會員數ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 第一須賀區 六十二名
- 第二岡區 七十一名
- 第三椎塚區 七十四名

第四駒塚區 七十七名
第五桑山區 五十六名

主ナル役職名並其氏名

役員、

- 會長 根本益次郎
- 副會長 松田熊五郎 同 大山徳次郎
- 同 山田幸吉 同 石井安三
- 同 篠田喜代松

維持方法

寄附金ノ收入ニ依ル

名稱 正 進 同 志 會

事務所々在地 筑波郡十和村大字上長沼二二〇七番地

創設年月日 大正十四年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 中島光三郎

沿革概要

本會ハ主トシテ農村青年ノ教化ヲ目標トシテ設立サレタルモノニシテ創設以來青年思想善導、教育、産業獎勵等ニ努力シ來レリ。

講演會、講習會、青年雄辯會、建國祭、時ノ記念日等年々繼續シ來リ殊ニ御大典ニ際シテ八十和村勢誌ノ刊行國旗ノ數ヶ村ニ對スル實費頒布等ヲナシタリ。

目的及事業種類

イ、目的

- 一、自己ノ完成
- 二、相互ノ親睦

三、農村青年トシテノ使命遂行

ロ、事業 機關紙毎月發行、教育的刊行物ノ配布、講演會講習會ノ開會、青年雄辯會ノ開會、時ノ記念日ノ強調、建國祭ニ參加、生活改善ニ就テノ運動、本村特産太郎兵衛糯原種子ノ移出運動等

會員數及分布狀況

會員數 四十餘名

分布狀況 會員ハ本村居住ニ限ル

外筑波、結城、新治等ノ青年有志アリ

主ナル役職名並其氏名

- 會長 中島光三郎
- 副會長 栗原芳男
- 宣傳部長 宮田彦太郎
- 調査部長 古谷明
- 幹事 大好嘉傳治
- 同 中島悦

維持方法

會費ト産業運動等ニヨリ得ル利益金

昭和二年度豫算額	歳入	八五、〇〇
	歳出	〃
昭和二年度決算額	歳入	八三、〇〇
	歳出	〃
昭和三年度豫算額	歳入	一四〇、〇〇
	歳出	〃

名稱 現原村小學校兒童實行會

事務所所在地 行方郡現原尋常高等小學校

創設年月日 大正十五年四月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 新莊直潔

沿革概要

大正十五年一月企劃シ大正十五年四月十日創立ノ發會式ヲ學ケ爾來繼續シ來レリ。當時村長田山彌一郎、前校長河野總吉、現會長新莊直潔、學務委員小沼龜之助、農會長笹目芳藏氏等創立ニ奔走シ、村教育會、青年會、在郷軍人會、其他ト連絡ノ上兒童ヲ通シテ家庭、社會方面ノ教化ニ資スルトコロ多シ

昭和三年四月神保田ヲ設置ス

目的及事業種類

イ、目的 兒童ノ知徳ヲ増進シ和衷協力校風ノ作興ト各種社會奉仕の方面ノ實行ヲ期スルヲ以テ目的

トス

口、事業

- 一、勅語及勅諭ノ奉讀
- 二、敬神崇祖ノ精神養成
- 三、時間ノ勵行
- 四、學級會及各部ノ協議決定事項實施
- 五、社會奉仕
- 六、講話會
- 七、學齡兒童保護會ノ連絡
- 八、表彰
- 九、教化事業振興ニ關スル施設其他

會員數及分布狀況

會員三百五十 新會員百二十

第一部 捻木	第二部 芹澤
第三部 上山	第四部 中山
第五部 若海	第六部 鳥谷

主ナル役員名並其氏名

役員	會長 新莊直潔
幹事	內田善右衛門 同 高野橋富士郎
同	中島武 同 郡司武仁
同	平間もと 同 海老原みね
同	大和田やゑ
評議員	村長、助役、學務委員、村會議員、田山彌一郎外十三名

資産(種目別)

兒童文庫類	一五〇、〇〇
器具其他	一〇〇、〇〇

維持方法

補助金、寄附金、保護者ノ贈出品

昭和二年度決算額	歳入 一三〇、〇〇	歳出 一三〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入 一三〇、〇〇	歳出 一三〇、〇〇

昭和三年度決算額

歳入	一三〇、〇〇
歳出	一三〇、〇〇

備考

土曜日ヲ奉仕日ト定メ神社佛閣ノ洒掃ヲ行フ
 毎月十日ヲ以テ鎮寺参拜日ト定ム
 十五日、二十八日ヲ貯金日トシテ各自十錢以上ノ貯金ヲ獎勵ス
 橋樑便局長出張ス
 水曜日ヲ體育デパートシテ運動ヲ獎勵ス
 範圍ハ現原一村内ニシテ規模小ナレトモ實行容易ナリ

名稱 豊 風 會

事務所所在地 眞壁郡下妻町乙四百拾五番地

創設年月日 大正十五年十一月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 松本源祐

沿革概要

創立者松本源祐大正三年八月石川縣羽咋郡長ヲ拜命シテ

深く感スル所アリ爾來明治天皇ノ御製ヲ常住座臥拜誦奉體シテ信念ヲ得タリシカ其結果羽咋郡ニ於テハ寶達山麓ニ郡長林ヲ造成セラレテ頌徳狀ト共ニ贈ラレ又同縣能美郡長時代ニハ白山々麓ノ尾添村ニ於テ社殿ヲ建立シ開成社ト名ツケテ生祀セラレシヨリ感激惜ク能ハサル折柄大正十五年十一月十五日夜明頃ノ靈感ニ感奮興起シテ皇風會ヲ組織シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 明治天皇ノ鴻大無窮ナル御聖徳ヲ欽仰シ萬世不磨ノ聖訓タル御製ヲ奉體スルモノトス
 ロ、事業 本會謹選ノ御製集(折本)ヲ會員ニ配付シ會員ハ毎朝三首以上拜誦スルコト
 會員百名以上ノ地方ニ(町村)支部ヲ設ケ支部ニ於テハ其他ニ適切ナル實行條目ヲ協定シテノ毎月又ハ時々例會ヲ開催シテ之ヲ勵行スルコト

會員數及分布狀況

名譽會員 二十五人 特別會員 三百八十八人
 正會員 三千五百五十二人 計 三千五百六十四人ナリ
 茨城縣 栃木縣 東京府 神奈川縣
 山梨縣 岩手縣 福島縣 秋田縣
 長野縣 新潟縣 富山縣 石川縣
 福井縣 岐阜縣 山梨縣 沖繩縣
 北海道 臺灣 朝鮮
 支部ノ組織セラレシモノ二十六ヶ所ナリ

主ナル役職名並其氏名

主 幹 松 本 源 祐
 顧問 加 藤 玄 智
 同 塚 田 節
 同 關 米 吉

維持方法

會員ノ入會金又ハ特志者ノ寄附金ニヨル

昭和二年度決算額

歳入) 三、七五八、二〇
 歳出) 〃

昭和三年度決算額

歳入) 三、八〇〇、〇〇
 歳出) 〃

備考

今月下旬ヨリ來ル天長節日迄ニ支部ノ組織セラル、モノハヶ所アリ

名 稱 茨 城 協 教 青 年 聯 盟

事務所々在地 水戸市竹隈町眞宗會館

創設年月日 昭和二年六月二十一日

總幹主體又ハ代表者 代表者 寺 西 惠 然

沿革概要

昭和二年六月二十一日茨城青年佛敎家聯絡統一ヲ計リ精神作興ノ聖旨ヲ普及共存共榮ノ實ヲアケテ實社會ニ於ケタル敎化運動ヲナサンタメ茨城縣石岡町ニ於テ縣下有爲ノ宗敎家ノ聯盟ヲ組織發會シ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

イ、目的 共存共榮、自他兼濟ヲ期スルヲ以テ目的トス
 ロ、事業

- 一、研究會
- 一、講演會
- 一、講師派遣
- 一、文書傳道

會員數及分布狀況

本聯盟ハ縣内各宗青年佛敎家ニシテ本聯盟ノ目的ニ賛成シタルモノヲ以テ會員トス
 分布ハ全縣下ニ及フ目下十一名カ十一ヶ所ニ於テ活動ス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員
 理 事 寺 西 惠 然
 常任理事 吉 水 憲 壽
 理 事 雪 草 孝 道

口、謝恩員

聯盟員	板敷晃純	同	田村徳祐
同	片岡應譽	同	光榮純隆
同	片岡直哉	同	石川圓孝
同	石津純海		

資産(種目別)

基本金 百圓
印刷物等 五十圓

維持方法

聯盟員ノ贈出金、特志寄附物品補助金ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額	歳入	五〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳出	二〇〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	二〇〇、〇〇
	歳出	二〇〇、〇〇

名稱 佐原修養會

事務所々在地 香取郡佐原町佐原六百八番地
創設年月日 大正三年七月十日
經營主體又ハ代表者 代表者 伊藤三郎右衛門
沿革概要

町有志數名社會教化並精神修養ノ必要ヲ痛感シ寄附行爲ノ下ニ大正年七月創設シタリ當時小規模名士ノ講演會ノミニ止リシカ事業擴張ヲ要シ會員組織ニ改メ會則ヲ定メタリ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 倫理的社會改善運動ヲ爲スヲ以テ目的トス
口、事業

- 一、思想善導並智徳ノ啓發ニ資スル爲隔月一回名士講演會ヲ開キ一般ニ聽取セシム
- 二、徒弟並ニ工場傭人ノ教養並慰安等ヲ爲ス
- 三、民衆ボスター宣傳ビラ等ヲ作成シ勤儉獎勵時間嚴守共ノ他一般社會教化ノ宣傳獎勵ニカム

會員數及分布狀況

會員數二百名ニシテ佐原町一圓ノ區域

百圓	政府ヨリノ助成金	昭和二年度
二百圓	千葉縣ヨリノ助成金	同二年度
二百圓	同	同三年度

名稱 木更津町大正會

事務所々在地 木更津町役場内
創設年月日 大正四年二月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 伊藤勇吉

沿革概要

大正二年木更津町各宗寺院住職發起トナリ細民救助、免囚保護孤兒貧兒ノ教養等社會的事業施設急務ナルヲ以テ一般町有志ノ賛同ヲ得、人世救護會ナルモノヲ組織シ前記ノ事業ヲ爲シツ、アリシモ大正四年二月三日木更津町長會長トナリ同會ヲ木更津大正會ト改稱シ町有力者ヲ主能トシ各宗教家ノ後援ニ依リ事業遂行ノ完全ヲ圖リ今日

主ナル役職名並其氏名

役員

代議員	伊藤三郎右衛門		
評議員	宮本量慶	同	小野直一
同	成毛種吉	同	椿吉藏
同	森田要作	同	宇井彌助
同	大野尙三	同	諸田五十五郎
同	松浦忍	同	粟畔宗太郎
同	坂梯兒	同	齋藤文藏
同	齋藤良助		

維持方法

會費、寄附金、補助金、獎勵金等ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額	歳入	一、一二〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳出	九二九、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一、〇四七、六二
昭和三年度決算額	歳入	一、〇六〇、〇〇
	歳出	

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

ニ至リタルナリ

目的及事業種類

イ、目的 防貧細民救済、教化思想善導生活改善、釋放者保護等一般社會事業

ロ、事業 生活費補給、就業費補給、講演講話會講習會、パンフレット配布、葬儀ノ改良ヲ圖ル爲メ共同使用ノ興ヲ獎勵ス

釋放者ノ引受就業斡旋罹災救助等

會員數及分布狀況

本會設置區域ハ木更津町一圓トスルヲ以テ各區長ヲ本會理事ニ依嘱シ各戶別ニ就キ會ノ趣旨ヲ諒解セシメ募集ヲ爲シ現在會員三百六十六名

主ナル役職名並其氏名

- 會長 伊藤 勇吉
- 副會長 一名
- 理事 二三名
- 監事 二名

資産（種目別）（昭和四年四月一日現在）

有價證券	一千圓
銀行預金	三千九十五圓五十一錢
事務用具	十四圓
葬儀用具	六百圓
臺車	四十圓
葬具置場	百五十圓
計	四千八百九十九圓五十一錢

維持方法

會員繳出金補助金寄附金等ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額 歲入 一、五三二、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 一、八二四、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金二百圓（昭和二年三月三十一日）千葉縣知事
金二十四圓（同上）千葉縣歸性會長

名稱片貝尙風會

事務所々在 地 山武郡片貝町片貝五二〇二番地

創設年月日 大正六年九月三日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 小川 德四郎

沿革概要

國民道德涵養ノ目的ヲ以テ片貝尙風會ヲ組織シ年一回以上道德及教育ニ關スル講演ヲ開催シ之レカ普及ニ努力シ居リシカ此事業タルヤ一朝一夕ニ貫徹スルモノニ非ラス 依テ財團法人トシ設立ノ必要ヲ感シ法人設立ノ認可申請ヲナシ大正六年七月二十七日設立許可相成大正六年九月三日八日市場區裁判所片貝出張所ニ於テ設立登記今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 國民道德ノ涵養ヲ目的トス

ロ、事業

- 一、國民ノ風俗改善ニ勉ムルコト
- 二、青年會ヲ指導督勵シ青年ノ品性ヲ健全ナラシムルコト
- 三、徳行家又ハ義烈家ヲ表彰シ道德ノ普及ヲ圖ルコト
- 四、社會一般ノ教育ヲ輔クル爲メ雜誌ヲ配付スルコト

會員數及分布狀況

本會々員數ハ二百六十名ナリ

主ナル役職名並其氏名

- 會長 小川 德四郎
- 副會長 古川 義郎
- 理事 古川 要
- 同 中村 城

資産（種目別）

一、基本金千二百四十圓

維持方法

基本金利子及寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額

歳入 九九、四八

昭和二年度決算額

歳出 九九、四八

昭和三年度決算額

歳入 一四八、九六

名稱 財団法人 公正會

事務所所在地 海上郡鏡子町イノ四五八番地

創設年月日 大正十五年四月十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 濱口儀兵衛

沿革概要

大正十三年八月一日設立ヲ決定シ、大正十五年四月十二日

日開館式ヲアケ、同年五月一日ヨリ事業ヲ開始ス

公正學院ハ昭和二年度迄、商業本位ノ學科ヲ主トセシカ

昭和三年度ヨリ普通教育ヲ主トシ併セテ職業教育ヲナス
コト、シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ノ目的ハ汎ク圖書ヲ蒐集シテ公衆ノ閱覽

ニ供シ庶民ニ須要ナル知能ヲ授ケ教育的ニ社

會ヲ裨益シ合セテ淳風美俗ヲ作與スルニアリ

ロ、事業種類

一、公正學院、高等小學卒業ノ男兒ニ對シ本科二ヶ

年、高等科一年程度ニテ普通教育及職業教育ヲ

施ス夜學校

二、公正圖書館、公開式ニヨル通俗圖書館

三、社會教育、講演、講習、民衆娛樂、會館ノ貸與

等

主ナル役職名並其氏名

理事長 濱口儀兵衛

理事 小野田周齋 同 石上新藤

理事 川島 豊吉 同 水崎鐵治郎
監事 松本徳太郎 同 郷長治郎
同 外岡松五郎
主事 小山文太郎
参事 久貝春二 同 推名 清

資産(種目別)

二萬一千六百二十四圓八十七錢 土地
十萬一千六百三圓五十五錢 建物及裝置
一萬五千五百四十九圓一錢 什器
一萬九百六十一圓九十八錢 圖書
二萬五百圓 定期預金
二百三十四圓九十五錢 現金
十一萬八百三十五圓七錢 寄附金殘額
總計 金二十八萬八百五十五圓四十三錢

維持方法

基本財産ヨリ生スル收入及寄附金、所有財産ヨリ生スル果實

ヨル

昭和二年度決算額 歳入 一七、四五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一七、九一八、六九
歳出 一七、六八七、七四
昭和三年度決算額 歳入 一九、三六二、九五

名稱 橫濱禁酒會

事務所所在地 橫濱市中區杉山町二ノ六八

創設年月日 明治十九年十一月

經營主體又ハ代表者 代表者 小林道太郎

沿革概要

明治十二年ゼームスバラ宣教師ノ禁酒會ヲ組織セルニ起

因シ同十九年十一月二十七日始メテ公式ニ橫濱禁酒會發

會式ヲ舉ク同二十四年日本禁酒會ト改稱シ全國ニ七十ヶ

所ノ支部ヲ設ク。會員五千五百餘名ニ達ス。同三十年東

京、北海道、上總ノ有力團體トノ大同團結成リ大日本禁

酒同盟會ト改稱東京ニ事務所ヲ設ケタレハ各支部ト共ニ

右同盟會ノ一加盟團體トナリ獨立舊橫濱禁酒會ニ戻リ今日ニ及ヒタリ。(現在財團法人日本國民禁酒同盟ノ前身)

目的及事業種類

イ、目的 絶對無酒國ノ實現

ロ、事業

- 一、酒害宣傳
- 二、右ニ關スル印刷物ノ發行
- 三、飲酒ニ關スル調査研究
- 四、其他前條ノ目的達成上必要ナリト認メラル、事項

會員數及分布狀況

總計 二百四十名
 正會員 百八十六名
 終身會員 十九名
 贊助會員 三十五名

主ナル役職名並其氏名

會長 小林道太郎

副會長 肥沼留三 同 小田倉謙太郎
 主事 小池藤伊
 顧問 平塚明利 同 木村順次郎
 同 吉澤龜藏 同 木村繁四郎
 同 川本勇次郎

維持方法

會費、寄附金、助成金、印刷物刊行、映畫會、其他ノ收入

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

金二十四 御下賜金 昭和二年度
 金五十圓 縣ヨリ助成金 同二年度
 金二十四 縣社會事業協會ヨリ助成金 同三年度

名稱 神奈川縣報德社聯合會

事務所所在地 足柄下郡小田原町幸一丁目八五三番地

創設年月日 大正八年十月十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 佐々井 信太郎

沿革概要

大正八年十月創立以來神奈川縣廳社會課内ニ事務所ヲ置キ事業ヲ執行シ來リシカ其後會合其他ノ關係上大正十二年三月元中郡役所ニ事務所ヲ移轉シ目的ノ達成上頗ル便宜ヲ得タリシカ郡役所廢止ノ關係上大正十五年七月ヨリ足柄下郡小田原幸町一丁目八五三番地ニ於テ事務所ヲ取扱ヒ今日ニ至ル

目的及事業種類

縣下各報德社ノ連絡提携ヲ計リ報德ノ教義及仕法ノ徹底ヲ期スルヲ目的トシ、報德ノ研究及宣傳分度ノ確立勤儉推讓ノ獎勵其他社會教化並ニ人材養成ニ關スル事業等

會員數及分布狀況

聯合團體數七十八
 縣下全般ニ分布ス
 主ナル役職名並其氏名

幹事長 佐々井 信太郎
 幹事 原慶次郎 同 草山惇造
 同 井上一 同 小泉龜縣

外 八名

青年部 幹事 七名

維持方法

各社豫出金助成金寄附金等ヲ以テ經費ニ充ツ

昭和二年度豫算額 歲入 九三九、二三
 昭和二年度決算額 歲入 五六六、〇八
 昭和三年度豫算額 歲入 七三二、〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無
 金百圓 內務省助成金 昭和二年度
 金百圓 縣補助金 同二年度

名稱 鎌倉郡興德會

事務所所在地 鎌倉郡中和田小學校内

創設年月日 大正十二年十二月一日

經營全體又ハ代表者 代表者 東郷吉太郎

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書發給セラル、ヤ時ノ鎌倉郡長伊東義尙氏ハ郡内教化關係者ヲ召集シテ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘキ方法ヲ協議シタル結果其具體的方法トシテ興德會ヲ組織スルコトニ決シ十二月一日發會式ヲ舉ケ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

一、實行要目ノ協定並ニ實行及其宣傳

二、講演會ノ開催

三、活動寫真會

四、其他前條ノ目的達成上必要ナリト認メラル、事項

會員數及分布狀況

會員數 四百人

分布狀況 郡内一般ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

會長	東郷吉太郎	
副會長	川邊勝三郎	山田豊次郎
幹事	森久保敬次	山口 萬
同	宮崎 鐘	池上敏郎
同	諸石傳之助	小川兵造
同	小野口 勝五郎	甘粕準三
同	山本 益藏	中丸鶴吉
同	沼上權太郎	

資産(種目別)

一、基本金 二千圓

二、器具書籍其他備品 三百圓

合計 二千三百圓

維持方法

會費、補助金、獎勵金、寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 一、〇一〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳出 一、〇一〇、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 一、〇一五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

五十圓 神奈川縣ヨリ 昭和二年度

百圓 同上 同 三年度

名稱 滋賀縣教育會

事務所所在地 滋賀縣學務部内

創設年月日 明治二十年一月十日

經營全體又ハ代表者 代表者 堀田 鼎

沿革概要

明治二十年一月十日滋賀縣學務課長兼師範學校長濱野虎吉氏カ師範學校職員學務課員ヲ糾合シ縣令中井弘氏ヲ總裁ニ推薦シ本會ヲ組織セシヲ始トス同年四月滋賀縣私立教育會雜誌ヲ創刊セリ

爾來一般會員ノ募集高等女學校幼稚園ノ創設等幾多ノ變遷ヲ經シカ時世ノ進運ニ伴ヒ明治三十二年四月三十日縣下郡市代表者會ヲ開キ郡市教育會ト直屬會員(中等學校職員)トヲ以テ本會ヲ組織シ豫算其他重要事項ハ代議員會ノ決議ヲ經テ處行スルコト、定メ以テ現時ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 縣下教化事業ノ普及發達

ロ、事業ノ種類

一、一般民衆ヲ對象トセル成人講座

二、中等學校ヲ中心トシ教化ノ普及ヲ目的トセル通

俗講演

- 三、教育者ノ向上ヲ圖ルヲ目的トセル夏季講習會
- 四、其他體育ノ向上ヲ圖ルヘキ水泳武道陸上競技等

會員數及分布狀況

直屬會員(中等學校職員)約五百人
其他縣下一般公民ハ郡市教育會ヲ通シテ本會々員ト見做セリ
從テ分布狀況ハ各郡市町村ニ及ヘリ

主ナル役職名並其氏名

會 長	堀 田 鼎		
副會長	下 村 充 義	同	下 郷 傳 平
幹 事 長	大 西 菴		
專務幹事	平 田 祐 藏		
幹 事	利 根 川 與 作	同	渡 邊 千 治 郎
	中 山 文 雄	同	北 川 辰 治 郎
	立 川 淺 七	同	山 田 學 道
	古 市 良 吉	同	日 下 部 良 吉

幹 事 川 隅 信 三 同 佛 性 誠 太 郎

資 産 (種 目 別)

- 一、基本財産 金一萬一千七百七十八圓
- 一、圖書器具 金五百圓(時 價)

維持方法

會費、郡市教育會員負擔金、縣費補助、財產收入、圖書印稅收入等ニヨル

昭和二年度預算額	歲入	六、五五〇、〇〇
	歲出	六、五五〇、〇〇
昭和二年度決算額	歲入	六、九七八、四九
	歲出	六、九七八、四九
昭和三年度豫算額	歲入	六、五九四、〇〇
	歲出	六、五九四、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)		
一千二百圓	縣獎勵金	昭和二年度
一千八百圓	同上	同 三年度

名 稱 滋 賀 縣 佛 教 聯 合 會

事務所々在地 大津市滋賀縣廳社會課內

創設年月日 大正八年十一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 下 村 充 義

沿革概要

民力涵養ニ關スル訓令ノ發布セララル、ヤ縣下佛教各宗派一團トナリテ同訓令ノ趣旨ヲ徹底センコトヲ動機トシテ爾來自然ノ發達ヲ爲シ次テ國民精神作興ノ御詔書ノ發ニ際シテモ御聖旨ニ奉答シ、思想正導問題ニ當面シテハ本會亦施設ヲ營爲シ其他本會所期ノ目的ト事業トニ支部分會ヲ督勵シ以テ着々進展ヲ學ケツ、アリ

目的及事業種類

- イ、目的 教育行政等ノ諸機關ト聯絡ヲ保チ四恩ノ趣旨ニ基キ、民風ノ改善發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業

一、文化事業

二、一般社會事業

會員數及分布狀況

本縣内佛教各宗派僧侶並本會ノ目的ニ賛同スル者ヲ以テ組織シ各郡市ニ支部ヲ町村ニ分會ヲ置キ、支部及分會々別ハ本會則ニ準シ之ヲ作製シ本部ノ承認ヲ經ルモノトシ以テ全縣下ヲ統制ス

主ナル役職名並其氏名

會 長	堀 田 鼎
副會長	下 村 充 義
幹 事 十 名	松 山 藤 太 郎 同 喜 久 田 健 三
評議員 卅六名	

口、職員

常務幹事	田 中 龍 定 同 室 田 瑞 穂
同	向 井 和 一 郎 同 立 川 淺 七

維持方法

合費、補助金及ソノ他ニヨル

昭和二年年度豫算額	歳入	三、五二五、〇〇
	歳出	三、三八六、九五
昭和二年年度決算額	歳入	三、三八六、九五
	歳出	三、五七五、〇〇
昭和三年年度豫算額	歳入	三、五七五、〇〇
	歳出	三、五七五、〇〇
奨励金並補助金下附ノ有無	(昭和二、三年度)	
一千圓	縣費補助	昭和二年度
六百圓	同上	同 三年度
四百圓	ソノ他團體補助	同 三年度

備考
從來(年額六千六百三十九圓ノ特別會計ヲ以テ)本會經營ニテ
代用感化院、滋賀縣淡海學園ヲ維持セシモ昭和四年四月ヨリ縣
立ニ移管セラル

名稱 西庄村佛教護國團

事務所々在 地 高島郡西庄村役場

主ナル役職名並其氏名

イ、役員	團長	井花 伊左衛門
	副團長	福田 治郎吉
	口、職員	幹事 溫科 諦聽
		專任幹事 野崎 一之助
		同 中田 禪定

資産(種目別)

- 一、基本金 額面二百圓(公債、勸業證券)
- 二、預金 五百二十二圓八十三錢六厘

維持方法

托鉢收入金補助金等ニヨル	
昭和二年年度豫算額	歳入 三四八、〇〇〇
	歳出 四五三、九〇六
昭和二年年度決算額	歳入 八〇、三六〇
	歳出 四七五、〇〇〇
奨励金並補助金下附ノ有無	(昭和二、三年度)
金二十四圓ヨリノ補助金	昭和二年度

創設年月日 大正八年十二月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 井花 伊左衛門

沿革概要

歐洲戰後民力漸養ノ内務大臣訓令ニ基キ國民の信念ノ漸
養、思想善導、民力漸養尊皇護國ノ趣意目的ヲ以テ大正
八年十二月一日之レヲ創設セリ

目的及事業種類

イ、目的 尊皇護國ノ趣旨ヲ奉體シ祖先崇敬ノ信念ニ住
シ民力漸養ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、巡回講演
- 一、教化宣傳活動寫眞會
- 一、青少年男女ノ指導

會員數及分布狀況

西庄村内ニ在住スル公職員神職、教員、佛教信者、青年團員、
軍人會員等約一千五百名
村内一圓ニ分布

金二十四圓ヨリノ補助金 昭和三年度

名稱 日野町自治協會

事務所々在 地 蒲生郡日野町役場

創設年月日 大正十年六月

經營主體又ハ代表者 代表者 高井 商 二

沿革概要

市町村ニ於テ經營スヘキ緊急ナル社會事業施設ヲ知事ヨ
リ諮問ニ對シ住民ノ社會生活ノ安定ヲ計ル爲メ各種社會
事業ノ經營ニツキ答申セシ處大正十二年本町ニ自治協會
ヲ設立シ保導委員制度ヲ定メテ各方面ニ委員ヲ設ケ社會
百般ノ事業ニ努メツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 町民ノ智徳ノ増進及生活ノ改善ヲ圖リ和衷協
同自治ノ發展ヲ期スルヲ目的トス

口、事業 生活改善趣旨實行、自治ノ開發改良、窮民救
助、講演會ノ開催、其他社會事業

會員數及分布狀況

本町現住ノ戶主ヲ以テ組織ス

主ナル役員並其氏名

會長 高井商二
副會長 三浦清一
幹事 花原龍巖
同 土山繁次郎

資産(種目別)

千五十二圓 定期預金
三千二百圓 五分利國庫債券額面

維持方法

基本金利子定期預金利子及町補助金ヲ以テス

昭和二年度豫算額 歳入 一、六一、〇〇
歳出 九九〇、七九
昭和二年度決算額 歳入 一、六一、〇〇
歳出 一、六一、〇〇
昭和三年度豫算額 歳入 一、六一、〇〇
歳出 一、六一、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

二百六十七圓 日野町補助金 昭和二年度
二百六十七圓 同上 同三年度

名稱 滋賀縣野洲町明治會

事務所所在地 野洲郡野洲町大字小篠原二二一七番地
創設年月日 大正十一年八月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 苗村嘉藏

沿革概要

大正十一年八月十五日明治大帝ノ十周年御忌法會ヲ奉終
シ記念ニ大帝ノ廣大無邊ノ聖徳ヲ體シ各自ノ人格ヲ練磨
スル明治會ト稱スル團體ヲ組織ス
爾來加盟會員ハ部落民戶主ノミナリシモ昭和三年十一月
三日明治節當日ニ御大典記念トテ本町民有志一般ヲ會員
トシ逐次郡一圓ニ及ホサントス

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ目的ト

ス

口、事業 例月二回精神講話會ヲ開ク物質的ニハ住宅改
善産業獎勵ノ助成ヲナシツ、アリ

會員數及分布狀況

目下ノ會員數二百八十名

主ナル役員並其氏名

會長 苗村嘉藏
副會長 大西太治郎
評議員 田中萬吉 同 原田松治郎
同 大西治三郎 同 山本新太郎
顧問 千代平三 同 鷺田平司
同 馬淵信之進

資産(種目別)

基本金ハ目下造成中
建物什器 現今會長ノ居宅並ニ所持品ヲ使用シ居レリ

維持方法

寄附金補助金獎勵金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 三六五、〇〇
歳出 三六五、〇〇
昭和二年度決算額 歳入 三五〇、〇〇
歳出 三五〇、〇〇
昭和三年度豫算額 歳入 四、二六八、〇〇
歳出 四、二六八、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
七十圓 縣補助 昭和二年度
一千九百九十六圓 同上 同三年度

名稱 湖南禁酒會

事務所所在地 大津市材木町五番地
創設年月日 大正十二年五月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 市川清次郎

沿革概要

財界不振、思想動搖、酒稅增加ニ伴ヒ遊覽地帯タル湖南

地方ニ酒害漸ク甚クシカラントスルヲ憂ヒ、大正十二年五月一日湖南禁酒會ヲ設立セリ

設立後五ヶ月ニシテ帝都ノ激震アルニ遭遇シ、國民精神弛緩シ民風輕靡ニ流ル、ヲ憂慮シテ外部ヘノ活動ヲ開始シ今日ニ至ル。

其間縣下各地ノ禁酒團體ト提携シテ湖國禁酒聯盟ヲ組織シテ事務所ヲ當會ニ置ク縣下全般ノ文書宣傳ヲ主トシ講師派遣、ソノ他ノ斡旋ヲナシツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 徹底的酒害教育ヲ施シ無酒善美ナル社會ヲ創造セシメコトヲ目的トス

- ロ、事業
- 一、講演會
 - 一、小中學生ヘノ酒害知識普及ニ力ヲナス
 - 一、文書宣傳
 - 一、路傍宣傳
 - 一、近隣農村出張講演

一、每週金曜集會

其他本會ノ目的達成ニ必要ナル事項

- 會員數及分布狀況
- 一、正會員 五十人
 - 一、準會員 三十人
 - 外ニ左ノ支部ヲ置ク
 - 滋賀縣藤所町錦 湖南禁酒會藤所支部
 - 大津市大谷町 湖南禁酒會大谷支部

主ナル役職名並其氏名

- 顧問 同 森永彌惣次 同 石野正弘
- 同 北村重之助
- 會長 市川清次郎
- 副會長 戸雁唐午郎
- 評議員 ゼ、エ、ニツブ 同 矢部喜好
- 同 高瀬正太郎
- 幹事 湯本 環 同 松田茂治

幹事 川邊貞治 同 松井幹夫
常任幹事 中野馬吉

維持方法

會費、寄附金、補助金、及ヒ會員奉仕勤勞ノ收入、其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	五〇〇、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	四〇五、八〇
	歳出	
昭和三年度豫算額	歳入	六九九、〇〇
	歳出	

獎勵金並補助金下附ノ有無 一、金二十圓

縣社會課ヨリ昭和三年度事業補助金トシテ交付サル

名稱 修養園 滋賀縣中央會

事務所々在地 滋賀縣學務部内
創設年月日 昭和二年十一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 堀田 鼎

沿革概要 一、昭和二年十一月三日發會

二、昭和四年二月會則一部改正

目的及事業種類

イ、目的 流汗鍛練同胞相愛ノ主義ヲ廣ク普及シ以テ明ルキ世界ヲ建設スルニアリ

ロ、事業 講習會ノ開催、パンフレットノ發行、講師ノ養成ト派遣

會員數及分布狀況

- 栗田郡聯合會 野洲郡聯合會
- 甲賀郡聯合會 蒲生神崎聯合會
- 他ニ町村支部百九
- 團員數六千三百七十四人

主ナル役職名並其氏名
會長 堀田 鼎
相談役 守永彌惣次 同 下村充義

主 幹 西田太一郎
 理事 大西 郷 同 松山藤太郎
 同 喜久田健三 同 塚本義雄
 同 仁木九郎 同 大堀守直
 同 辻川已之助 同 渡邊千治郎

昭和二年年度決算額 歳入 一、〇〇五、〇〇〇
 歳出 〃

昭和二年年度決算額 歳入 一、〇八一、〇〇〇
 歳出 〃

昭和三年年度決算額 歳入 一、一〇三、〇〇〇
 歳出 〃

奨励金並補助金下附ノ有無

八百圓 縣費奨励金

近畿・中國

奈良縣 二團體
 鳥取縣 十三團體
 島根縣 六團體

名稱 慈 眼 會

事務所 所在地 添上郡帶解町大字柴屋三番地

創設年月日 大正八年四月八日

經營主體又ハ代表者 代表者 芝 亭 龍 雲

沿革概要

大正八年四月八日添上郡内佛教各宗派僧侶及檀信徒ヲ説キ宗教宣布ノ機關トシテ大和佛教護國團ヲ組織シ兼テ社會教化事業ヲ經營セシカ時勢ノ推移ニ伴ヒ複雑ナル施設ヲ要シ其活動ニ不便尠カラサルニ至リシヲ以テ大正十四年四月一日之ヲ二分シテ慈眼會ト稱シ専ラ社會教化事業ノミヲ經營スルコト、シ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 國民精神ノ振作統一、宗教的信念ノ培養

ロ、事業 一、謝恩會ノ普及

二、修養講座ノ開催

三、勤儉貯蓄ノ獎勵

四、育兒智識ノ養成

五、刑餘者ノ善導

六、其他巡回講演文書宣傳等

會員數及分布狀況

會員數 千六百八十五人

其分布 縣下添上、生駒郡ニ過半ヲ占メ奈良市、山邊郡及大阪

市内ニ散在ス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 芝 亭 龍 雲

理事 藤 本 眞 嶺

ロ、職員

主事 柳 澤 良 弘

同 田 中 瑞 哲

同 榊 井 眞 哲

資産(種目別)

一、積立金 二百二十五圓
 二、器具其他物品 二百五十圓
 合計 四百七十五圓

維持方法

代表者ノ出資、補助金及獎勵金、寄附金ヲ以テ經營ス
 昭和二年年度豫算額 歲入 八八九、一〇
 歲出 八八九、一〇
 昭和二年年度決算額 歲入 八八二、〇五
 歲出 八八二、〇五
 昭和三年年度豫算額 歲入 一一一、〇〇
 歲出 一一一、〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
 百圓 政府ヨリノ獎勵金 昭和二年
 百圓 同 三年度
 百三十圓 奈良縣ヨリノ獎勵金 昭和二年
 百三十圓 同 三年度

名稱 金陽佛教會

事務所所在地 宇智郡五條町五百〇八番地平井保三方
 創設年月日 大正十三年十月十二日
 經營主體又ハ代表者 代表者 平井保三
 沿革概要

當五條町ニ各宗派聯合佛敎護國團組織セラレシモ十二年
 秋事情ノ爲解團セラル、這ノ有識者ノ頗ル遺憾トスルト
 コロシテ心アル僧侶居士協議ノ結果各宗派僧侶ニ俗人
 モ加ハリ所謂僧俗聯合ノ思想善導團體ヲ組織スルコト
 、セリ。右團體ハ五條町ヲ中心トシテ各階級ノ有志七十
 四名ヲ贊助者トシ百五十名ノ會員ヲ擁スル團體ニシテ大
 正十二年十一月十日漢發アラセラレタル國民精神作興ノ
 御詔書ニ奉答スヘク大正十三年十月十二日發會式ヲ舉行
 シ方廣寺管長間宮英宗師ヲ講師ニ招聘第一回講演會開催
 第二回、伊藤圓定師、第三回谷本富氏、第四回蓮生觀善
 氏、第五回神居琳應氏、第六回河崎顯了氏、第七回今村

忠助氏、第八回加藤咄堂氏、第九回十六師團司令官四王
 天延孝少將招聘講演會ヲナシ今日ニ至ル。

目的及事業種類

- イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目
 的トス
 ロ、事業 一、思想善道ノ講演會開催
 二、教化事業ヲ行フ
 三、教化事業ノ獎勵助成ヲナスコト
 四、教化事業振興ニ關スル施設ヲ構スルコト
 五、其他前條ノ目的達成上必要ナリト認メラ
 ル、事項

會員數及分布狀況

贊助會員 四十八名
 會員 百五十名
 主ナル役職名並其氏名
 幹事長 平井保三

資産(種目別)

現在 七十一圓六十七錢 郵便局預金

維持方法

篤志家ノ寄附金ヲ以テ維持ス
 昭和二年年度決算額 歲入 一四三、七〇
 歲出 二〇七、四三
 不足金ハ前年度繰越金繰入支出ス

名稱 鳥取縣教育會

事務所所在地 鳥取市東町八十一番地鳥取縣師範學校内
 創設年月日 明治二十七年十月一日
 經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 社團法人
 ロ、代表者 井田竹治（鳥取縣師範學校）

沿革概要

本會ハ明治二十七年十月一日ノ創設ニシテ目的欄記載ノ事業ヲ施設經營シ來リシカ大正十五年ニ至リ從來ノ規程ヲ廢シ新ニ社團法人トシテノ定款ヲ定メ其組織ヲ變更シ同年四月主務大臣ニ對シ社團法人設立ノ出願ヲナシ同年八月九日之レヲ許可セラレ以テ今日ニ至ル。

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ教育ノ普及改良及上進ヲ圖ルヲ以テ目的トス
 ロ、事業 本會ニ於テ施設經營スヘキ主要ナル事業左ノ如シ
 一、教育ノ時論ニ關スル公議ヲ發表スルコト
 二、教育行政、教育學術其他教育上須要ナル事項ニ關スル研究調査ヲナスコト

三、教員講習會、通俗講話會、學生武道大會等ヲ開設スルコト
 四、毎月一回機關雜誌ヲ發行シ且教育上有益ナル圖書ヲ刊行スルコト
 五、其他本會ノ目的ヲ達成スルタメ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

會員數 二千八百八十八名

分布狀況

鳥取市教育會 三五〇名
 岩美郡教育會 一八六名
 八頭郡教育會 二九三名
 氣高郡教育會 二五〇名
 東伯郡教育會 四三二名
 西伯郡教育會 四九五名
 日野郡教育會 一八二名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 井田竹治
 副會長 鈴木千代松 同 淺沼喜雄
 幹事 酒井福藏 同 岩本松樹
 同 垣内春雄 同 丸山貞八
 同 河崎松一 同 岡澤盛造
 同 谷垣邦義

ロ、職員

專務主事 松本時太郎

資産（種目別）

一、基本金 二千四百五十九圓七十錢
 二、山林 六千五百圓
 三、器具其他物品 二百圓
 合計 九千五百五十九圓七十錢

維持方法

各都市教育會ヨリ豫出スル年豫金、補助金、及其他ノ收入ニヨ

リ維持ス

又本會ハ造林ヲ經營シテ基本財産トナス

昭和二年度豫算額 歳入 四、〇三二、〇〇
 歳出 四、一七、六四
 昭和二年度決算額 歳入 三、四四三、六三
 歳出 五、三六五、〇〇
 昭和三年度豫算額 歳入 五、三六五、〇〇
 歳出 五、三六五、〇〇
 獎勵金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）
 二百五十圓 縣補助金 昭和二年度
 二百五十圓 同 三年度

名稱 鳥取縣神職會

事務所々在地 鳥取縣廳社寺兵事課内

創設年月日 明治四十年一月

經營主體又ハ代表者 代表者 村田正治

沿革概要

本會ノ創立ハ明治四十年一月ニシテ各郡神職會ヲ以テ組織シ總裁ニ本縣知事會頭ニ學務部長ヲ推戴セリ昭和元年ヨリ神宮大麻及曆頒布ノ事業ヲモ加ヘタリ

目的及事業種類

イ、目的 神職奉務上必要ナル事項ヲ講究シ相互ニ氣脈ヲ通シ以テ神社ノ隆盛斯道ノ發展ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、神職養成ノ爲メ名士ノ講演ヲ行フ
- 一、祝詞作文祭式講習ヲ行フ
- 一、神宮大麻及曆ノ頒布
- 一、神社勤勞者表彰
- 一、會報雜誌ノ發行
- 一、其他神社ニ關スル調査研究

會員數及分布狀況

會員數 二百十四名

本會ハ郡市神職會ヨリナル名稱ヲ舉クレハ左ノ如シ

鳥取市神職會 岩美郡神職會 八頭郡神職會
 氣高郡神職會 東伯郡神職會 西伯郡神職會
 日野郡神職會

主ナル役職名並其氏名

總裁 久保豊四郎
 會頭 林田正治
 副會頭 紫關左以治
 幹事 飯田秀穂
 同 永江則實
 同 岡村吉敬
 同 霧林 孝

資産(種目別)

預金 二千四百十四圓
 證券 四百圓

維持方法

會員繳出金 神社寄附金

口、代表者 谷田勝之助

(鳥取地方裁判所檢事正)

沿革概要

大正元年恩赦令ノ發布ト共ニ保護事業ノ必要ヲ感シ縣下各宗寺院住職、官民有志ノ發起ニ因リ創立事務所及寄宿舎ヲ岩美郡美保村大字吉成ニ置キ、鳥取監獄典獄芥川忠藏ヲ理事トナシ各宗寺院監獄及裁判所關係有志ノ義捐並司法省ヨリノ獎勵金ニ依リ專ラ直接保護ニ努ム大正二年十二月事務所及寄宿舎ヲ氣高郡海徳村(現在大正村)大字古海眞宗説教所内ニ移シ鳥取分監ノ教誨師ニ託シ間接保護ヲ創ム、大正四年十一月會員組織ニ改メ同十二月二十七日財團法人輔成會ニ加盟ス大正五年一月以降規模擴張ヲ志シ現在地ヲ購入シ事務所及寄宿舎ヲ移轉ス大正八年二月會則ヲ改メ各郡市ニ支部ヲ設クルコト、ナシ鳥取縣知事ヲ總裁トナス、大正十一年二月鐵道省ヨリ特種旅客運賃低減ノ規程ヲ適用セラル、保護會タル定ヲ受ケ同年

昭和二年度豫算額 歳入 一、七一九、一四
 歳出 一、六二二、八〇
 昭和二年度決算額 歳入 一、六二二、八〇
 歳出 一、六二二、八〇
 昭和三年度豫算額 歳入 二、二二三、九四
 歳出 二、二二三、九四
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
 二百圓 昭和二年度
 三百圓 同 三年度

神職養成事業ヲ縣ヨリ委嘱セラレ前記金額ヲ縣ヨ交附セラル

名稱 財團法人 鳥取縣給産會

事務所所在地 鳥取市西品治六十一番地

創設年月日 大正元年十月

(大正十一年十二月 財團法人認可)

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 財團法人

十二月財團法人トナス、大正十二年紀元節ノ佳展ニトリ
御内帑金御下賜ノ恩命ヲ蒙リ爾來年々鴻恩ニ浴ス同年二
月二十二日假出獄少年ニ付キ少年保護司ノ事務ヲ代行ス
ル保護團體ニ指定セラレン銳意釋放者ノ保護善導ニ努メ
一面保護思想ノ普及徹底ヲ計リツ、今日ニ至ル、

目的及事業種類

- イ、目的 釋放者保護善導スルヲ以テ目的トス
- ロ、事業
 - 一、收容保護 釋放者ニシテ歸住地ナキモノ
ニハ收容保護ヲ加フ
 - 二、間接保護 歸住地アル者ハ歸住地保護會
ニ間接保護ヲ依頼シ保護監督ヲナス
 - 三、一時的保護 停車場迄同伴保護ヲ加フ依
類旅費ナキ者へ給與職業ヲ紹介スルコト
家庭融和ヲ計ル等ナリ
- 四、釋放者保護思想普及ヲ計ル等

會員數及分布狀況

本會ハ縣下各郡市へ左記ノ通り支部ヲ設置ス

鳥取市支部	鳥取市一圓
岩美郡支部	岩見郡一圓
八頭郡支部	八頭郡一圓
氣高郡支部	氣高郡一圓
東伯郡支部	東伯郡一圓
西伯郡、日野郡、支部	西伯、日野、二郡一圓

主ナル役職名並其氏名

會長(常務理事) 谷田勝之助	
副會長(同) 前田政之輔	
理事 篠田嘉一郎 同 寺崎勝治	
同 中井元次	
主事 岸田榮雄 同 前田寬一	
同 木下榮樹	
保護主任 三池法雲	

資産(種目別)

一、基本金(總資金) 二萬八千二十四圓十九錢

二、地所 三百七十一圓九十九錢九厘
三、家屋(事務所、被保護者、收容所等) 八百二十八圓九十三錢四厘
四、什器 五百一十一圓二十四錢
合計 二萬九千七百三十六圓三十六錢三厘

維持方法

寄附金、補助金、及獎勵下附金等ニ依リ維持ス

昭和二年度豫算額	歳入	一〇、一六二、〇〇〇
	歳出	三四、〇六四、六一
昭和二年度決算額	歳入	一一、四〇四、六三
	歳出	一一、二五〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一一、二五〇、〇〇
	歳出	一一、二五〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

二百圓	御内帑御下賜金	昭和二年度
二百圓	釋放者保護事業獎勵費下附金	同
二百五十圓	縣費補助金	同
二百圓	御内帑御下賜金	昭和三年度
二百五十圓	縣費補助金	同

二百五十圓 輔成會助成金 昭和三年度
二百圓 釋放者保護事業獎勵金 同

名稱 鳥取縣由良修養會

事務所々在地 由良町

創設年月日 大正六年二月

經營主體又ハ代表者 代表者 竹 歲 元 太

沿革概要

修養會ハ人ノ一生涯ヲ通シテナスヘキ物事テアル何トナ
レハ品性ヲ陶冶スルト共ニ世ノ移リ行ク事柄ニ對スル智
識ノ擴充ヲ必要トスルカラテアル此意味ニ於テ大正六年
二月設立シ爾後十有餘年開會百數十回ニ及ヒ今日ニ至レ
リ今ヤ其効果現ハレ世相ノ險惡ナルニモ拘ハラズ各地地
方ニ比シテ穩健ナル思想ノ漲ルハ誠ニ喜フヘキノ至リナ

リ今後益々此方面ニ向ヒ努力スル考ヘナリ
目的及事業種類

イ、目的 宗教教育經濟其他ヲ問ハス吾人ノ修養ニ資スルヲ目的トス(成人教育)

ロ、事業ノ種類

- 一、名士ヲ聘シ講演ヲ聴クコト
- 二、會員各自研究會ヲ開クコト
- 三、教化ニ關スル「ハンブレット」ヲ發行シ會員其他ニ配付スルコト

會員數及分布狀況

會員 二百五十名

分布狀況

由良町ヲ中心トシテ附近町村ニ及フ

主ナル役職名並其氏名

會長 竹 歳 元 太
理事 豊 田 太 藏 同 遠 藤 元 右 衛 門

幹事 川崎節藏 同 竹米福吉

資産(種目別)

一、事務所 代表者宅ヲ以テ之ニ充ツ

一、器具其他印刷物 約五十圓

維持方法

一、會員離出 一、寄附金

昭和二年度豫算額 歳入 三五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 三三五、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 三六〇、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 三四八、〇〇

名稱 和 光 會

事務所々在地 米子市角盤町四丁目二十二番地

創設年月日 大正七年二月二十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 本城 月 潭

沿革概要

大正七年二月二十一日創立同年七月十日輔成會ニ加盟同年十二月十五日地方長官ヨリ創立認可ヲ得同十一年ヨリ米子市費補助ヲ受同十二年ヨリ御下賜金毎年度拜受同十二年鐵道割引名簿登錄保護會ノ指定ヲ受ケ同年ヨリ縣費補助ヲ受ク

同十五年七月本館建設從來寺院ノ一隅ニ不便ナル假事務所ヨリ本會館ニ移轉内容外觀稍充實シ執務上遺憾ナキヲ得今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ釋放者保護事業ニシテ釋放者中自活自營ノ途ナキ者ヲ引取收容シ或ヒハ間接保護ト

シテ之ヲ教誡シ保護ヲ加ヘ行狀ヲ矯メテ犯罪

上ノ防遏ヲ圖リ職業ニ就カシメ以テ國家ノ良

民ニ復歸セシムルヲ以テ事業ノ目的トス

ロ、事業ノ分類 一、收容 二、間接 三、一時保護

三種トス

會員數分布狀況

名譽會員 (月額一圓ヲ離出スル者又ハ功勞アリタルモノ) 二六

特別會員 (月額二圓ヲ離出スル者) 一三一

正會員 (月額一圓ヲ離出スル者) 一六二

計 會員數 三一九

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

理事長 本城 月 潭

專務理事 大谷 祖 巖

理事 宮本 峰 雄 同 本田 孝 敬

同 藤野 秀 麿 同 浮田 俊 英

同 前田 德 庵 同 森尾 敦 深

ロ、職員

保護主任 古田 浙 江

資産(種目別)

一、建物(事務所、收容室、及附屬建物) 五千五百五十九圓六錢
 二、器具其他物品 二百八圓
 合計 五千七百六十七圓六錢

維持方法

會費及特種寄附並ニ官公衙ノ補助金ヲ以テ維持ス
 昭和二年度豫算額 歲入 二、一一一、八九
 歲出 二、五九九、七〇
 昭和二年度決算額 歲入 二、九三一、二九
 歲出 二、四二〇、一四
 昭和三年度豫算額 歲入 二、四二〇、一四
 歲出 二、四二〇、一四
 獎勵金並補助金下附ノ有無
 三百圓 御下賜 (昭和二、三年度トモ同額)
 二百圓 司法省獎勵金(同上)

名稱 米子青年團自律支部

事務所所在地 米子市西大谷八番地吉井泰治宅

會員數及分布狀況

- 一、講演會ヲ開ク事
- 二、農業視察ヲナス事
- 三、體育會辯論ヲナス事
- 四、團報ヲ發行スル事
- 五、團報ヲ發行スル事

會員ハ左記ノ各支部ヲ以テ本團ヲ組織ス

口陰田支部 奧陰田支部 西大谷支部 美吉支部
 長田支部

主ナル役職名並其氏名

團長	吉井泰治	副團長	岩本潔
庶務部長	吉井泰治	會計部長	岩本潔
文藝部長	岩岡春壽	辯論部長	遠藤節三
獎勵部長	米田新一	體育部長	足立武男
口陰田支部長	足立武男	奧陰田支部長	岩本壽
西大谷支部長	角田博	美吉支部長	米田新一
長田支部長	松浦令治		

資産(種目別)

器具其他物品 一百圓

維持方法

團員負擔、市會補助、寄附、事業收入、
 昭和二年度豫算額 歲入 九四、八八
 歲出 〃

創設年月日 大正十二年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 吉井泰治

沿革概要

大正十二年四月一日成實青年團ヨリ口陰田、奧陰田、美善、西大谷、長田ノ各支部分離シ自律青年團ト稱シテ同日設立ス
 昭和二年四月米子市青年團ニ加入シ自律支部ト稱ス

目的及事業種類

イ、目的 教育勸語ノ聖旨ヲ奉戴シ修養ニ勉ムル事
 口、事業 一、總會ヲ開キ團員ノ意志ノ疎通ヲ計リ修養ヲナスコト

昭和二年度決算額 歲入 九五、五〇
 歲出 九二、六〇
 昭和三年度豫算額 歲入 八〇、八〇
 歲出 〃

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
 二十四 米子市會ヨリ

名稱 鳥取縣一心會

事務所所在地 鳥取縣廳社會課內

創設年月日 大正十二年十一月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 鳥取縣知事

沿革概要

本會ハ明治維新ノ初メ長クモ 明治天皇ノ下シ給ヘル五ヶ條ノ御誓文及明治四年太政官布告第六十一號ヲ發セラレタルモ依然トシテ國民間ニ舊來ノ陋習ニ捉ハレ融和親善ヲ缺クノ憾アルヲ遺憾トシ大正十二年八月二十八日ノ

内務省訓令ノ趣旨ニ基キ同年十一月三十日同志ノ會員二千有餘名ヲ得テ設立セラレタルモノナリ爾來大正十五年十一月十日及昭和三年十月二十四日ノ二回ニ亙リ會則ヲ改正シ昭和三年十一月三日ニハ御大典事業トシテ會員ノ大募集ヲ行ヒ今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的

- 一、同胞融和觀念ノ宣傳
- 二、修養並生活ノ改善ニ關スルコト
- 三、其ノ他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設

ロ、事業

- 一、講演會
- 二、講習會
- 三、融和日宣傳
- 四、會報發行
- 五、視察員派遣
- 六、産業獎勵補助
- 七、懇談會
- 八、育英獎勵
- 九、支部經營補助
- 一〇、其他

會員數及分布狀況

會員數 二千六百三十六名

各都市内譯

鳥取市	二二八名	岩美郡	二二七名
八頭郡	二七五名	氣高郡	四二五名
東伯郡	六九八名	西伯郡	五六七名
日野郡	二一六名		

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	久保豊四郎	中井光次
副會長	吉田康太郎	岩本松梅
同	林田正治	
常務理事	江草四郎	
同	細川隆	
理事	山口享	石竹秀延
同	佐藤一郎	米澤安吉
同	楠城嘉一	山本猪之藏
同	下田勘次	森田富教

同	本城藤造	近池利勝
同	西尾常彦	近藤專一郎
同	澤田覺照	井上光美
同	山根豐藏	木島可眞
同	三谷富藏	中田玉平
同	八雲龍雲	青木央
同	三好庄太郎	

職員

囑託 松尾謙次郎 外三名
主事 内山賢次

資産(種目別)

預金 三千二十五圓十一錢

維持方法

寄附金、補助金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額

歳入 六、八三三、〇〇

昭和二年度決算額

歳入 七、二〇四、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 六、八四八、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

二百圓	國庫補助金	昭和二年度
五百圓	鳥取縣補助金	同 二年度
二千圓	國庫補助金	同 三年度
五百圓	鳥取縣補助金	同 三年度

名稱 眞報園社會館

事務所所在地 米子市角盤町一丁目

創設年月日 大正十五年二月

經營主體又ハ代表者 代表者 石田哲明

沿革概要

大正十一年石田哲明社會事業ノ一端トシテ無料宿泊所ヲ個人經營トシテ創設セシカ爾來數年間苦心經營ノ結果遂

ニ今日ノ隣保事業ニマテ發展セシム

目的及事業種類

イ、目的 隣保事業

會員數及分布狀況

維持會員 三百名

米子市ヲ中心トシテ 縣下一圓ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

理事 五名

館長 一名

主事 一名

保母 三名

資産(種目別)

建築物 一萬二千圓

維持方法

會員餘金、寄附金、助成金

昭和二年度豫算額

歳入 一、一〇〇、〇〇〇
歳出 一、一〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一〇、四一五、〇〇〇
歳出 一〇、四一五、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 四、七三〇、〇〇〇
歳出 四、七三〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

一千五百圓 慶福會ヨリ 昭和二年度

六百圓 米子市ヨリ 同 二年度

三百圓 鳥取縣ヨリ 同 二年度

五百圓 米子市ヨリ 同 三年度

七十圓 鳥取縣ヨリ 同 三年度

名稱 財團法人修養園鳥取縣立農學校支部

事務所々在 東伯郡社村鳥取縣立農學校寄宿舎

創設年月日 昭和三年三月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 大森政重

沿革概要

大正十四年八月第二十三回修養園本部講習會カ比叡山ニ

於テ開カレタトキ當時ノ生徒木南喜代治君出席参加感激

ヲ受ケ入團者募集ニ勉メ次テ第二十六回ノ講習會ニ佐藤

長男君参加後三十八名ノ團員ヲ得大正十五年十二月二十

三日本部ハ支部設立ノ認可申請ヲナシ昭和二年一月十九

日付ヲ以テ支部設立ノ認可ヲ得三月五日愈々山陰地方ニ

於テ初メテ支部發會式ヲ舉行セリ次テ龜井光延君ノ熱烈

ナル宣傳ニヨリ會員百名餘トナリ陣容愈々整ヒ支部講習

會モ既ニ二回開キ來ル昭和四年三月二十五日ヨリ廿八日

迄第三回ノ中堅男女子ノ修養講習會ヲ開キ山陰ノ天地ニ

明キ世界ノ建設ヲ叫ハントシテ居マス

目的及事業種類

イ、目的 修養園ノ本旨流汗鍛鍊同胞相愛ノ二大主義ヲ

標榜シ國民精神ノ作興ヲ圖リ明キ世界ノ建設

ヲ目的トス

ロ、事業 一、修養團員ノ相互扶助

一、毎月向上日ニハ美化作業ノ實施

三、毎年支部講習會開催

四、公共事業ニ對スル奉仕

五、其他支部ノ目的ヲ達スルニ必要大事業

會員數及分布狀況

會員數 二百十五名

縣外 一五名

縣内 二〇〇名

主ナル役職名並其氏名

四年度役員

總 裁 大森政重

支部長 淀川與喜藏

副支部長 田中徳藏

幹事長 上原英雄

幹 事 野田勉 同

同 中田梗 同

二若武夫

澤田武男

幹事 桑田 明 同 織 直美
同 田中吉温 同 衣笠正秀

維持方法

寄宿舎及校友會ヨリノ寄附及講習會其他ノ收入

昭和二年度豫算額 歳入 五八一、一六
歳出 五八一、一六
昭和二年度決算額 歳入 五八一、一六
歳出 五八一、一六
昭和三年度豫算額 歳入 六三九、八八
歳出 六三九、八八

名稱 國本社鳥取支部

事務所所在地 鳥取市東町一番地鳥取縣廳内

創設年月日 昭和二年十一月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 山田玄太郎

沿革概要

國本社設立ノ趣旨ニ賛同シ支部設立ノ必要ヲ認メ昭和二

年十月七日發起人會ヲ開催シ同年十月二十日會員募集ニ
着手シ同年十一月五日設立發會式ヲ舉行シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 國本社ノ趣旨ニ從ヒ國本ヲ固クシ國體ノ精華

ヲ顯揚スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、講演會、講習會、懇談會

二、印刷物ノ刊行頒布

三、其他必要ト認ムル事業

會員數及分布狀況

官公吏、學校職員、軍人、銀行會社員、國縣市町村會議員、神官僧
侶、宗教家其他各種團體員 七百五十名

鳥取縣下一圓ニ分布

主ナル役職名並其氏名

名譽支部長 侯爵 池田 仲博

支部長 山田玄太郎

顧問 西谷 金藏 同 谷田勝之助

顧問 船橋芳藏 同 久保豊四郎
同 木下六藏 同 篠田嘉一郎

評議員 三十三名

幹事長 林田正治

幹事 七名

資産(種目別)

現金(預金) 千八百四十一圓八十四錢

維持方法

本部ヨリノ交附金、寄附金、其他ノ收入ニヨル

名稱 岩美郡婦人會

事務所所在地 岩美郡宇倍野尋常高等小學校

創設年月日 昭和三年五月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 日比英俊

沿革概要

最近町村婦人會ノ設置普及ニ伴ヒソノ聯絡ヲ圖リ會ノ發

展ヲ圖ランカ爲昭和二年十二月十五日日本縣當局ノ斡旋ニ

ヨリ婦人會代表者會ヲ開キ協議ノ結果設立委員ヲ定メ昭

和三年四月十七日同委員會ヲ開キ更ニ郡内學校長會並ニ

女教員會ノ斡旋ヲ受クルコト、ナリ同年五月五日縣會議

事堂ニ於テ發會式ヲ舉ケ會則ノ決定役員ノ選舉ヲ行ヒ豫

算及事業ヲ決シ爾來年次會務ノ進展ヲ圖リツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 郡内婦人會ノ聯絡統一ヲ圖リ其向上發展ヲ期

スルヲ以テ目的トナス

ロ、事業 一、講演會講習會ヲ開催スルコト

二、品評會展覽會ヲ開設スルコト

三、視察旅行ヲナスコト

四、公共事業ヲ幫助スルコト

五、研究調査ヲ行フコト

會員數及分布狀況

會員數 未測

分布狀況

岩美郡内各町村婦人會ニシテ名稱左ノ如シ

- 美保村婦人會 倉田村婦人會 米田村婦人會
- 津井村婦人會 面影村婦人會 中郷村婦人會
- 稻葉村婦人會 宇倍野村婦人會 成器村婦人會
- 大谷村婦人會 福部村婦人會 大谷村婦人會
- 岩本村婦人會 網代村婦人會 田後村婦人會
- 浦富町婦人會 東村婦人會 本庄村婦人會
- 小田村婦人會 岩井町婦人會 蒲生村婦人會

主ナル役職名並其氏名

1、役員

- 會長 日比英俊
- 副會長 澤田いつ子 同 林田萬龜子
- 評議員 二十二名
- 顧問 難波信義 同 森原貞治
- 理事 小畑はる 同 近藤龜子

理事 野田きぬ 同 永井 薫

同 岩本よし子 同 小畑とよ子

同 山本むめ 同 松田竹枝

口、職員

理事 岩本よし子 同 野田きぬ

資産(種目別)

器具 三圓

維持方法

町村婦人會ノ年餘金及郡自治體縣費ノ補助寄附金

昭和三年年度豫算額 歲入) 七〇、〇〇 歲出)

名稱 東伯郡聯合婦人會

事務所々在地 東伯郡倉吉町鳥取縣立倉吉高等女學校内

創設年月日 昭和三年十一月二十八日

幹事 原田 耕

維持方法

各町村婦人會ノ負擔金ニ依ル

名稱 西伯聯合婦人會

事務所々在地 米子市角盤町二丁目

創設年月日 昭和三年十二月十六日

經營全體又ハ代表者 代表者 長本實治

沿革概要

昭和三年十二月十六日創立總會ヲ開キタルノミニテ別ニ

沿革ナシ

目的及事業種類

目的 各市町村婦人會ノ聯絡統一ヲ圖リ婦德ノ涵養ト家

庭及社會ノ改善發達ニ盡スヲ以テ目的トス

會員數及分布狀況

經營全體又ハ代表者 代表者 眞田 三六

沿革概要

昭和三年十一月二十八日倉吉婦人會ノ發起ニテ御大典紀

念ノ事業トシテ創設セルモノナリ

目的及事業種類

目的 會員相互ノ親睦ヲ圖リ婦德ノ向上ニ努メ家庭及

ヒ社會ノ改善發達ニ盡スヲ以テ目的トス

會員數及分布狀況

何分創設セルノミニテ會員數確定セス分布狀況ハ郡内四十五ヶ

村ノ内三十九ヶ村ノ聯合ニテ殘ル十一ヶ村ノ未設村ハ遠カラス

創設ノ上聯合會ニ加入ノ豫定

主ナル役職名並其氏名

- 會長 眞田 三六
- 副會長 幸田 正子 同 小川たね
- 幹事 近池 久子 同 大森 春子
- 同 矢田 よき 同 高橋 さく

西伯聯合婦人會ハ米子市西伯郡内ノ町村婦人會ヲ以テ組織ス其ノ會名左ノ如シ

米子婦人會	所子婦人會	福米婦人會
餘子婦人會	尙徳村婦人會	東長田婦人會
大山村婦人會	車尾婦人會	高麗報徳婦人會
大高婦人會	御來屋婦人會	賀野村婦人會
大幡村婦人會	淀仁婦人會	日吉津婦人會
夜見村婦人會	成實村婦人會	彦名婦人會
大和婦人會	住吉婦人會	上道村婦人會
手間婦人會	上長田婦人會	和田婦人會
大篠津婦人會	中濱婦人會	加茂婦人會
法勝寺婦人會	幡郷婦人會	外江婦人會
庄内婦人會	光徳婦人會	富益婦人會
大國婦人會	春日婦人會	宇田川婦人會

主ナル役職名並其氏名

會長	長本實治
副會長	中島篤麿
評議員	竹下茂
	梅田時尾
	石田富江

維持方法

本會ノ會費ハ各婦人會ノ負擔トシ必要ニ應ジ徵收ス

名稱 島根縣教育會

事務所々在地 松江市殿町八

創設年月日 明治十七年十月十六日

經營全體又ハ代表者 代表者 瀬谷 蕪

沿革概要

明治十七年十月十六日創立當時會員三十三名假事事務所

ヲ松江市殿町ニ置ク、翌年二月ヨリ雜誌ヲ發行ス、同年八月第一回總會開催明治三十一年十二月七日社團法人ノ認可ヲ受ク、昭和三年九月三十日本會々館落成ス

目的及事業種類

イ、目的 島根縣教育ノ普及上進ヲ圖ルニ在リ

ロ、事業 雜誌發行、圖書縱覽所設置、展覽會講演會講習

會開催、教育上必要ナル調査、教育功績者ノ

表彰、諮問ノ答申並ニ建議視察員派遣、其他教

育上必要ナル事項

會員數及分布狀況

會員數 三千二百名

主トシテ島根縣全圓縣外各地ニモ少數アリ

主ナル役職名並其氏名

理事會長	瀬谷 蕪
同副會長	山口泰平
同同	岡本 茂

理事常務幹事 田村稔夫

同 幹事 谷口爲次

同 並河 亮

同 藤永 進

同 錦織瀧次郎

資産(種目別)

約五千圓

維持方法

會員ノ會費及補助金並寄附金

昭和二年度豫算額 歳入 八、一六七、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 八、一六七、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 九、八四〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

千五百圓宛 縣費補助金 昭和二、三年度

名稱 島根縣神職會

事務所所在地 島根縣廳社寺兵事課

創設年月日 明治四十二年七月

經營主體又ハ代表者 代表者 瀨谷 薰

沿革概要

明治四十二年七月縣下神職並神社事務關係者ヲ以テ組織シ各島郡市ニ之カ支會ヲ置ク爾來年々總會ヲ開催シ神職ノ修養向上ヲ圖ルト共ニ社會教化ノ任ニ當ル

目的及事業種類

イ、目的 國體ヲ闡明シ神社ノ隆盛神職ノ向上ヲ圖リ兼テ社會教化ニ資ス

ロ、事業

- 一、神職ヲ養成スルコト
- 一、講習會講演會ヲ開催スルコト
- 一、篤志功勞者ヲ表彰スルコト
- 一、官廳ノ諮問ニ應シ又ハ意見ヲ開申スルコト

- 一、神社及神職ニ關シ必要ナル事項ヲ調査スルコト
- 一、機關雜誌ヲ發行スルコト
- 一、其他必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

支會總數十四 支會名稱左ノ如シ

松江支會	八東郡支會	能義郡支會
仁多郡支會	大原郡支會	飯石郡支會
簸川郡支會	安濃郡支會	通摩郡支會
邑智郡支會	那賀郡支會	美濃郡支會
鹿足郡支會	隱岐島支會	

主ナル役職名並其氏名

イ、役員	
總裁	八木 林 作
副總裁	千家 尊 統
會長	瀨谷 薰
副會長	古屋 助 武 同 大關 春 雄

ロ、職員

幹事 橋本隆義 同 河島 敏
同 山本久助

資産(種目別)

基本財産 千八百圓
器具其他備品 三百圓

維持方法

支會課當金寄附金ニ依ル

昭和二年度決算額	歳入	四、三一四、四〇〇
	歳出	三、五七二、八八八
昭和二年度決算額	歳入	三、四三八、八七〇
	歳出	四、二七四、九五〇
奨勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		二百圓 縣補助金年々

名稱 帝國在郷軍人會松江支部

事務所所在地 八東郡津田村

創設年月日 明治四十三年十一月三日

經營主體又ハ代表者

代表者 岩田 義 信

目的及事業種類

目的 軍人會ノ目的及事業、共通事項ナルヲ以テ記

載セス

會員數及分布狀況

松江市聯合分會	一、五八八	隱岐島前聯合分會	八七二
八東郡聯合分會	四、六九〇	日野郡聯合分會	一、八七二
能義郡聯合分會	二、二七二	米子市聯合分會	九三〇
仁多郡聯合分會	一、二〇六	西伯郡聯合分會	五、二八八
大原郡聯合分會	一、七〇二	東伯郡聯合分會	五、二七五
隱岐島後聯合分會	一、〇二八	氣高郡聯合分會	二、六五三
會員數合計	二九、五五七名		

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

支部長 岩田義信
 支部副長 岡崎徳熊
 同 勝田正
 理事 長尾寛二郎
 同 益田政愛
 同 小松潔

資産(種目別)

基本金 六百五十四十一錢

維持方法

補助金及事業ヨリノ収入ニヨル
 昭和二年度決算額 歳入 五、三二八、〇〇
 歳出 五、一二七、〇〇〇
 昭和二年度決算額 歳入 四、四二七、〇〇〇
 歳出 五、二七六、〇〇〇
 昭和三年度決算額 歳入 五、二七六、〇〇〇
 歳出

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

三百二十五圓 國庫補助金 昭和二年度
 三百二十五圓 同上 同 三年度

名稱 帝國在郷軍人會濱田支部

事務所所在地 那賀郡濱田町濱田聯隊區司令部
 創設年月日 明治四十年十一月三日
 經營主體又ハ代表者

代表者 本山友吉

沿革概要

在郷軍人ノ融和ヲ計ルタメ軍人會ナルモノ日露戰爭後ニ於テ各地ニ起リツ、アリシカ明治四十三年帝國在郷軍人會ナルモノヲ設立セラレ全國ヲ統一セラル、ニ及ヒ各町村ニ分會ヲ設立セリ

目的及事業種類

イ、目的 帝國在郷軍人會規約第八條九條ニ依ル

マ、布帛及布帛狀況

會員 二二、四九一名

篠川郡聯合分會	四六	飯西郡聯合分會	一七
安濃郡聯合分會	一〇	通摩郡聯合分會	二〇
邑知郡聯合分會	三〇	那賀郡聯合分會	三九
美濃郡聯合分會	二一	鹿足郡聯合分會	一一

主ナル役職名並其氏名

支部長 本山友吉
 支部副長 石上 磊
 同 金本康久
 同 能美精一
 理事 戸技丑徳
 同 池上克馬
 同 金川朝重
 同 佐々木韓一
 監事 米原恭三

資産(種目別)

一、器具其他物品 約三十圓

維持方法

會員ノ離田金、國庫補助金、寄附金
 昭和二年度決算額 歳入 五、九四二、〇〇
 歳出 五、九八二、〇〇
 昭和二年度決算額 歳入 五、八一六、〇〇
 歳出
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
 三百二十五圓 國庫補助金 昭和二年度
 三百二十五圓 同上 同 三年度

名稱 財團法人 島根授産會

事務所所在地 松江市奥谷町三〇六番地一
 創設年月日 明治四十四年二月六日
 經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 財團法人
 ロ、代表者 若林健之助

沿革概要

明治四十三年十二月島根縣下官民有志發企者トナリ本會ノ設立ヲ計畫シ諸般ノ準備ニ着手セリ、翌四十四年二月六日事務ヲ開始セリ創立當初ハ會費制度ニ依リ經費ヲ支辨セシカ大正二年度ヨリ基金制度ニ改メ同年五月八日財團法人ノ許可ヲ得タリ、大正十一年更ニ組織ヲ改メ本會監督ノ下ニ十四個ノ地方保護會ヲ設ケ爾來保護上多大ノ便宜ヲ得我縣保護事業ニ一段ノ進歩ヲ見ルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 主トシテ釋放者ヲ保護善導シ自立自營ノ途ヲ開キ良民ニ復歸セシムルヲ目的トス

ロ、事業

- 一、各種ノ司法保護事業ヲ執行スルコト
- 二、島根縣下ノ各地方保護會ノ指導監督ヲ爲スコト

三、他ノ司法保護團體ト聯絡ヲ取り保護ノ周到ヲ圖ルコト

四、會報ヲ發行スルコト

五、短期講習會ヲ開催スルコト

六、其他保護上必要ナリト認ムル事項

會員數及分布狀況

本會ノ別働隊トシテ本會監督ノ下ニ十四箇ノ地方保護團體アリ其ノ名稱ヲ舉クレハ左ノ如シ

松江保護會	八東保護會	能義保護會
大原保護會	仁多保護會	飯石保護會
簸川保護會	安濃保護會	通摩保護會
邑智保護會	那賀保護會	美濃保護會
鹿足保護會	隱岐保護會	

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

總裁 八木林作
 會長理事 若林健之助

副會長理事 佐野佳雄
 同 同 谷龍之助
 口、職員
 主事 吉田萬吉
 同 松原善雄
 專任主事 津森百太郎
 外ニ評議員三十名

資産(種目別)

- 一、基金 一萬七千二百十圓
- 二、土地 三千四十四圓
- 三、建物 千五百五十四圓
- 四、什器 六百二十四圓
- 計 二萬二千四百二十八圓

維持方法

基本金ノ利子、公衙ノ補助金等ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額

歳入 三、四六六、〇〇〇

昭和二年度決算額

歳入 四、二九九、五五九
 歳出 二、四〇四、九一二

昭和三年度豫算額

歳入 三、七六〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金三百圓	御下賜金	
金五百圓	司法省獎勵金	昭和二年度
金五百圓	島根縣補助金	同 二年度
金千三百圓	同上	同 三年度

名稱 島根縣和敬會

事務所所在地 松江市殿町一番地

創設年月日 大正十四年二月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 恒松於菟二

沿革概要

大正十三年十月簸川郡今市町ニ於テ開催サレタル社會改

良講演大會ニ於テ融和機關設置ノ件ヲ決議セシヲ動機トシテ
 篠川郡長馬場愷輔、篠川郡今市町會田達圓、安濃郡波根東村菅本精覺其他藤澤熊市、土江喜代一郎、井戸内平藏氏ノ起ツ所トナリ同氏等屢々縣當局ト折衝ヲ重ネシカ縣ニ於テモ夙ニ融和機關ノ缺如セルヲ遺憾トシ之カ設置ノ必要ヲ認メツ、アリシ關係上茲ニ機ハ熟シ大正十四年二月二十五日ヲ以テ島根縣會議事堂ニ創立總會ヲ開催スルニ至レリ

爾來今日ニ至ル四星霜其ノ間講演會、講習會、懇談會、會報發行、印刷物發行等ニ力ヲ致シ本會ノ目的達成ニ邁進シツ、アリ

目的及事業種類

- イ、目的 同胞相愛ノ大義ニ則リ徹底的ニ差別的因襲ヲ排除シ融和親善ノ美風ヲ作興シ以テ社會ノ福祉ヲ増進シ國運ノ振張ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- ロ、事業 一、共存和敬ノ觀念ノ普及宣傳

- 二、本會ノ目的ニ合致スル事業ノ援助
- 三、爭議ノ解決
- 四、先進地方ノ視察
- 五、功勞者ノ表彰
- 六、其他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項

會員數及分布狀況
 本會ハ縣下一圓ヲ區域トシ現在會員數約一千名

主ナル役職名並其氏名

會長	恒松於菟二	副會長	山田美治	幹事	馬場愷輔	菅本精覺	土江喜代一郎	山田巖	生松詮一
			中谷昌左		會田達圓	藤澤熊市	井戸内平藏	竹内義勸	高見治夫

幹事 中村秀徳

維持方法

寄附金補助金獎勵金及其他ノ收入ニ依ル

昭和二年年度豫算額	歳入	二、九九〇、〇〇
	歳出	四
昭和二年年度決算額	歳入	二、九一七、九五
	歳出	二、六〇二、七一
昭和三年年度豫算額	歳入	五、一一五、〇〇
	歳出	
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
金千七百圓	國庫獎勵金	昭和二年度
金千七百圓	同上	三年度
金五百圓	縣費補助金	二年度
金千圓	同上	三年度

備考
 會員組織ナルモ會費徴收セズ

四
國
・
九
州

沖鹿熊長佐香德
繩兒本崎賀川島
縣縣縣縣縣縣縣

六一七一九三四
團團團團團團團
體體體體體體體

名 稱 德島縣阿波郡進德會

事務所所在地 阿波郡市場町阿波郡公會堂内

創設年月日 大正二年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 友 成 照 榮

沿革概要

本會ハ元阿波郡佛教俱樂部ト稱シ郡内各宗寺院住職ヲ以テ組織セシカ明治三十七八年戰役ノ際出征軍人留守宅ノ慰問ニ救済ニ努力シ名稱モ同時ニ阿波郡各宗奉公會ト改稱セシカ平和克復後其効績ヲ認メラレ褒賞ノ光榮ニ浴セリ其後一進一退ナリシカ時代ノ進運ニ世態ノ變遷ハ本會ノ奮起ヲ要シ大正二年四月一日ヲ以テ名稱ヲ現在ノ如ク改メ社會教化ニ從事シツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ本義ヲ體シ以テ皇運ヲ扶翼シ益國民道

德ノ振興ヲ圖ル

ロ、事業 一、時々講演會ヲ開キ民心ヲ指導シ風教ヲ振

興スルニ努ムルコト

二、自治ノ發達ヲ促シ風ヲ遷シ俗ヲ易ヘ地方

ノ幸福ヲ増進スルニ努ムルコト

三、貯蓄勤儉、教育衛生思想ノ向上産業ノ發

達慈惠救済ノ普及ニ努ムルコト

會員數及分布狀況

會員ハ阿波郡一圓ニ分布シ其人員三百人

主ナル役職名並其氏名

會長	友成照榮
副會長	橋 德雄
幹事	住友眞善 同 西村心城
同	稻井隨道 同 高島誠應
常務	稻井 馨
評議員	巽 隆旭 同 藤井 貢
同	榎原貫一 同 笠井九十九